

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 施工は必ず専門の工事業者の方が行なってください。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味

-  **警告** ●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
-  **注意** ●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号

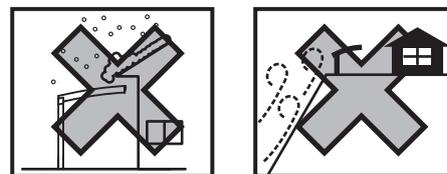
-  **ポイント**
 - 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
 - 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
- ※
 - 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
 - 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
-  **補足** ●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<施工の前に>

注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 当製品は簡易型車庫です。物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的として、みだりに改造・変更をしないでください。
- 積雪(新雪)20cmを超えない地域に設置してください。
- 建物の屋根から雪の落雪を直接受けない位置に設置してください。
- 強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上等の施工は避けてください。
- 施工場所に寸法的に正しく納まるかどうか確認してください。
- 給湯器や暖房機等の熱排気が製品内にこもるような場所に施工しないでください。排気による中毒のおそれがあります。
- 傾斜地に設置する場合は、低い場所の埋込み深さを確保してください。



ポイント

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 給湯器や暖房機等の熱排気が製品に当たらないように施工してください。排気による塗装劣化・剥離(はくり)のおそれがあります。

<基礎工事について>

⚠ 注意

- 基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めています。現場によって（軟弱な地盤等）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分配慮してください。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- 柱内の水抜きができるよう、基礎には必ず碎石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴（φ6）をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
- モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。シミやムラ等の外観不良の原因になります。

🔑ポイント

- モルタルやコンクリートには、塩分を含む砂（海砂）および塩素系強アルカリのコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤等）は使用しないでください。使用するとアルミ等の金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- 「使用上の注意」ラベルを貼っている柱に堅樋を取付けると、表示が見えなくなります。堅樋を取付けない側に表示ラベルを向けてください。
- ボルト、ネジは当社指定品を指定本数使用し、ゆるまないように締付け固定してください。
- アルミ製品が垂鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造や、指定箇所以外の穴加工はしないでください。
- 水濡れのおそれがありますので、指定の箇所にシーリングをしてください。
- シリコンシーリング材を使用する場合は、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがありますので、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ	トスシール380
東レ・ダウコーニング	SE960

🔑ポイント

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 製品についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。

<施工の後に>

⚠ 注意

- ボルト、ネジを増し締めしてください。

🔑ポイント

- 取扱説明書は施主様にお渡しください。

INDEX

1	梱包明細表	4
2	基本寸法と各部名称	11
	1. 各部名称	11
	2. 基本寸法	15
3	基本納まり図	20
	1. 間口方向(ワイド、プレミアムワイド、ワイド奥行き連棟)	20
	2. 出幅方向(ワイド、プレミアムワイド)	22
	3. 間口方向(ワイド延長梁、プレミアムワイド延長梁)	24
	4. 奥行き連棟	26
4	基本の施工方法	28
	1. 基礎の施工	28
	2. 柱の建込み	30
	3. 梁とアーチ固定金具の取付け	31
	4. 柱と梁の固定、端部アーチの取付け	32
	5. 前枠・後枠の取付け	34
	6. 中間アーチの取付け	38
	7. 前枠コーナーキャップの差込み	40
	8. 中骨の取付け	41
	9. 屋根材の取付け	42
	10. 端部アーチ側枠、コーナーキャップの取付け	44
	11. 縦樋の取付け	51
5	ワイド延長梁の施工方法	52
	1. 基礎の施工	52
	2. 延長梁の取付け	54
	3. 縦樋の取付け	58
6	縦連棟の施工方法	60
	1. 基礎の施工	60
	2. 本体の組立て	61
7	シャッターひさしの取付け	64

1 梱包明細表

【1】 主柱セット

名 称	略 図	員 数	
		L50	L57
柱A 50型 L=2988		2	-
柱A 57型 L=2988		-	2
柱B 50型 L=3218		2	-
柱B 57型 L=3218		-	2
柱C L=3477		1	1
柱D L=3707		1	1

【2】 延長梁用柱セット

名 称	略 図	員 数		
		H23	H25	H28
延長梁用柱・H23 L=2750		2	-	-
延長梁用柱・H25 L=2970		-	2	-
延長梁用柱・H28 L=3239		-	-	1

【3】 梁セット

名 称	略 図	員 数	
		W54	W60
梁 54型 L=5054		1	-
梁 60型 L=5644		-	1

【4】 延長梁セット(中間用)

名 称	略 図	員 数	
		W70	W80
延長梁(中間)／70・80用 L=4800		1	-
梁化粧カバー(中間) L=4798		2	-

【5】 延長梁セット(端部用)

名 称	略 図	員 数	
		W70	W80
延長梁(端部) 70用 L=1275		1	-
延長梁(端部) 80用 L=1740		-	1
梁化粧カバー(端部) 70用 L=1274		2	-
梁化粧カバー(端部) 80用 L=1739		-	2
延長梁スリーブ L=1000		1	1

【6】 延長梁スペーサーセット

名 称	略 図	員 数	
		W54	W60
延長梁スペーサー(受け材) 54用 L=5329		1	-
延長梁スペーサー(受け材) 60用 L=5919		-	1
延長梁スペーサー(上) 54用 L=5329		1	-
延長梁スペーサー(上) 60用 L=5919		-	1

【7】 中間アーチセット

名 称	略 図	員 数			
		2本入		3本入	
		L50	L57	L50	L57
中間アーチカバー 50用		2	-	3	-
中間アーチカバー 57用		-	2	-	3
中間アーチ 50用		2	-	3	-
中間アーチ 57用		-	2	-	3

【8】 端部アーチセット (ワイド用)

名 称	略 図	員 数	
		L50	L57
端部アーチ 50用右		1	-
端部アーチ 50用左		1	-
端部アーチ 57用右		-	1
端部アーチ 57用左		-	1
端部アーチカバー 50用		2	-
端部アーチカバー 57用		-	2
端部アーチ側枠 50用 (ワイド)		2	-
端部アーチ側枠 57用 (ワイド)		-	2

【9】 端部アーチセット (プレミアムワイド用)

名 称	略 図	員 数	
		L50	L57
端部アーチ 50用右		1	-
端部アーチ 50用左		1	-
端部アーチ 57用右		-	1
端部アーチ 57用左		-	1
端部アーチカバー 50用		2	-
端部アーチカバー 57用		-	2
側枠受け材 (プレミアムワイド用) 50用		2	-
側枠受け材 (プレミアムワイド用) 57用		-	2

【10】 端部アーチ化粧枠セット (プレミアムワイド用)

名 称	略 図	員 数	
		L50	L57
端部アーチ側枠 50用右 (プレミアムワイド)		1	-
端部アーチ側枠 50用左 (プレミアムワイド)		1	-
端部アーチ側枠 57用右 (プレミアムワイド)		-	1
端部アーチ側枠 57用左 (プレミアムワイド)		-	1

【11】 中骨セット

名 称	略 図	員 数	
		L50 6本入り	L57 7本入り
中骨		6	7

【12】幅セット(ワイド用)

名 称	略 図	員 数	
		W54	W60
後枠 54用(ワイド)		1	-
後枠 60用(ワイド)		-	1
前枠 54用(ワイド)		1	-
前枠 60用(ワイド)		-	1
縦樋 (L=3500) φ40		2	2

【13】幅セット 前枠(プレミアムワイド用)

名 称	略 図	員 数	
		W54	W60
前枠 54用(プレミアムワイド)		1	-
前枠 60用(プレミアムワイド)		-	1
縦樋 (L=3500) φ40		2	2

【14】幅セット 後枠(プレミアムワイド用)

名 称	略 図	員 数	
		W54	W60
後枠 54用(プレミアムワイド)		1	-
後枠 60用(プレミアムワイド)		-	1
後枠屋根材押さえ54用(プレミアムワイド)		1	-
後枠屋根材押さえ60用(プレミアムワイド)		-	1

【15】アーチ固定金具セット(標準)

名 称	略 図	員 数	
		W54	W60
アーチスペーサー(端部用)		2	2
アーチスペーサー(中間用)		8	9
前後枠取付金具(端部アーチ用)右		1	1
前後枠取付金具(端部アーチ用)左		1	1
前後枠取付金具(中間アーチ用)		8	9
端部アーチ固定金具		2	2
中間アーチ固定金具		8	9
【15-1】φ4×13ナベドリルネジ		45	49
【15-2】φ5×13ナベドリルネジ		39	43
【15-3】φ5×16ナベタッピンネジ 3種		4	4

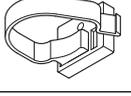
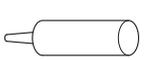
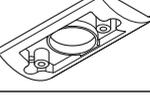
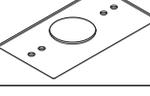
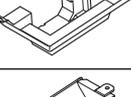
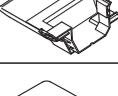
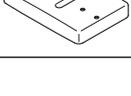
【16】アーチ固定金具セット(延長梁用)

名 称	略 図	員 数	
		W54	W60
アーチスペーサー(端部用)		2	2
アーチスペーサー(中間用)		8	9
延長梁スペーサー止水パッキン		2	2
延長梁スペーサー端部キャップ		2	2
延長梁端部キャップ		2	2
延長梁連結カバー		2	2
前後枠取付金具(端部アーチ用)右		1	1
前後枠取付金具(端部アーチ用)左		1	1
前後枠取付金具(中間アーチ用)		8	9
端部アーチ固定金具		2	2
中間アーチ固定金具(延長梁用)		8	9
樋受け金具(小)		1	1
樋受け金具(大)		1	1
梁スペーサー下		4	4

【16】アーチ固定金具セット(延長梁用) つづき

名 称	略 図	員 数	
		W54	W60
梁スペーサー上		4	4
柱梁固定金具		2	2
梁固定金具裏板		4	4
【16-1】 M10×25六角ボルトPW+SW		24	24
【16-2】 M10×35六角ボルトPW+SW		8	8
【16-3】 M10バネ座金		8	8
【16-4】 M10平座金		8	8
【16-5】 M10六角ナット		8	8
【16-6】 φ4×10ナベタッピンネジ 3種		4	4
【16-7】 φ4×12トラスタッピンネジ 3種		13	13
【16-8】 φ4×13ナベドリルネジ		48	52
【16-9】 φ4×16ナベドリルネジ		4	4
【16-10】 φ5×12トラスタッピンネジ 3種		6	6
【16-11】 φ5×13ナベドリルネジ		87	96
【16-12】 φ5×16ナベドリルネジ		4	4

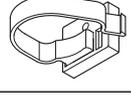
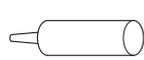
【17】 部品セット(ワイド用)

名 称	略 図	員 数	
		L50	L57
ドレンエルボφ40用		2	2
92°エルボφ40用		4	4
でんでん		6	6
接着剤		1	1
ブチルシーリング材		2	2
雨樋アタッチメント		2	2
雨樋アタッチメントパッキン		2	2
雨樋アタッチメント台座		2	2
雨樋アタッチメント台座パッキン		2	2
後枠コーナーキャップ 右		1	1
後枠コーナーキャップ 左		1	1
前枠コーナーキャップ 右		1	1
前枠コーナーキャップ 左		1	1
柱キャップ		4	4

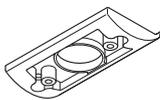
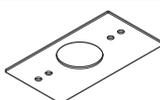
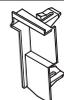
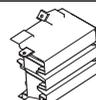
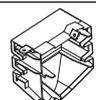
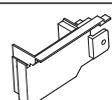
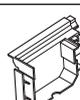
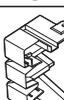
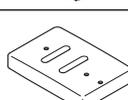
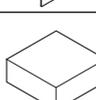
【17】 部品セット(ワイド用) つづき

名 称	略 図	員 数	
		L50	L57
柱梁カバー(ワイド用)		4	4
アンカー棒 φ8×200		4	4
【17-1】 M8×20六角ボルト (平座金・緩み止め付)		24	24
【17-2】 φ4×10 ワッシャーヘッドタッピンネジ (PW+ゴム座金)		384	439
【17-3】 φ4×12 トラスタッピンネジ 3種		130	150
【17-4】 φ4×12 ナベタッピンネジ 3種		8	8
【17-5】 φ4×13ナベドリルネジ		19	21
【17-6】 φ4×25 トラスタッピンネジ3種		4	4
【17-7】 φ5×16ナベタッピンネジ 3種		4	4
取付説明書〈D498〉	—	1	1
取扱説明書〈UD095〉	—	1	1

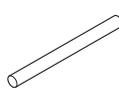
【18】 部品セット(プレミアムワイド用)

名 称	略 図	員 数	
		L50	L57
ドレンエルボφ40用		2	2
92°エルボφ40用		4	4
でんでん		6	6
接着剤		1	1
ブチルシーリング材		2	2
雨樋アタッチメント		2	2
雨樋アタッチメントパッキン		2	2

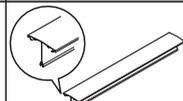
【18】 部品セット (プレミアムワイド用)

名 称	略 図	員 数	
		L50	L57
雨樋アタッチメント台座		2	2
雨樋アタッチメント台座パッキン		2	2
後枠コーナーキャップカバー 右		1	1
後枠コーナーキャップカバー 左		1	1
後枠コーナーキャップ 右		1	1
後枠コーナーキャップ 左		1	1
前枠 (樋) 端部キャップ 右		1	1
前枠 (樋) 端部キャップ 左		1	1
前枠コーナーキャップ 右		1	1
前枠コーナーキャップ 左		1	1
前枠下面カバー 右		1	1
前枠下面カバー 左		1	1
柱キャップ		4	4
柱梁カバー (ワイド用)		4	4
前枠コーナー用止水パッキン		2	2

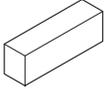
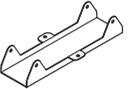
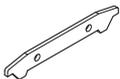
【18】 部品セット (プレミアムワイド用) つづき

名 称	略 図	員 数	
		L50	L57
アンカー棒		4	4
【18-1】 M8×20六角ボルト (平座金・緩み止め付)		24	24
【18-2】 φ4×10 ワッシャーヘッドタッピンネジ (PW+ゴム座金)		384	439
【18-3】 φ4×12 トラスタッピンネジ 3種		130	150
【18-4】 φ4×12 ナベタッピンネジ 3種		13	13
【18-5】 φ4×13ナベドリルネジ		45	47
【18-6】 φ4×20 トラスタッピンネジ3種		2	2
【18-7】 φ5×16ナベタッピンネジ 3種		4	4
【18-8】 φ4×25 トラスタッピンネジ 3種		4	4
取付説明書 <D498>	—	1	1
取扱説明書 <UD095>	—	1	1

【19】 奥行き連結材セット

名 称	略 図	員 数	
		W54	W60
縦連棟棟木		1	1

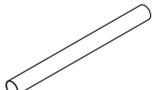
【20】縦連棟（奥行き連棟）部品セット

名 称	略 図	員 数
ブチルシーリング材		1
奥行き連棟 端部用 止水パッキン		4
合掌取付材		4
端部キャップ		2
端部キャップカバー		2
端部キャップパッキン		2
【20-1】 M6×90六角ボルト		8
【20-2】 M6バネ座金		26
【20-3】 M6平座金		26
【20-4】 M6六角ナット 3種		8
【20-5】 M6六角袋ナット		8
【20-6】 φ4×12トラスタッピンネジ 3種		10
【20-7】 φ6×14トラス小ネジ		8

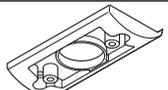
【21】ブラケットセット

名 称	略 図	員 数	
		W54	W60
ブラケット 54用 90°		2	-
ブラケット 60用 90°		-	2

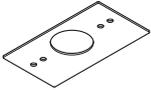
【22】 縦樋セット

名 称	略 図	員 数
縦樋 (L=3500) φ40		1

【23】 アタッチメントセット

名 称	略 図	員 数
雨樋アタッチメント		1
雨樋アタッチメントパッキン		1
雨樋アタッチメント台座		1

【23】 アタッチメントセット (つづき)

名 称	略 図	員 数
雨樋アタッチメント台座パッキン		1
【23-1】 φ4×12ナベタッピンネジ 3種		2
【23-2】 φ4×25トラスタッピンネジ 3種		2

【24】 屋根材セット (ポリカーボネート)

名 称	略 図	員 数			
		1枚入		2枚入	
		L50	L57	L50	L57
屋根材 (ポリカーボネート) 50用		1	-	2	-
屋根材 (ポリカーボネート) 57用		-	1	-	2

【25】 屋根材セット (熱線吸収ポリカーボネート)

名 称	略 図	員 数			
		1枚入		2枚入	
		L50	L57	L50	L57
屋根材 (熱線吸収ポリカーボネート) 50用		1	-	2	-
屋根材 (熱線吸収ポリカーボネート) 57用		-	1	-	2

【26】 ドレンエルボセット

オプション

名 称	略 図	員 数
ドレンエルボ φ40用		1

【27】 エルボセット

オプション

名 称	略 図	員 数
92° エルボ φ40用		1

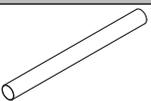
【28】 でんでんセット

オプション

名 称	略 図	員 数
でんでん		2
【28-1】 φ4×13ナベドリルネジ		2

【29】 縦樋セット

オプション

名 称	略 図	員 数
縦樋 (L=3100) φ40		1
縦樋 (L=1000) φ40		1

2 基本寸法と各部名称

1. 各部名称

1-1 ワイド

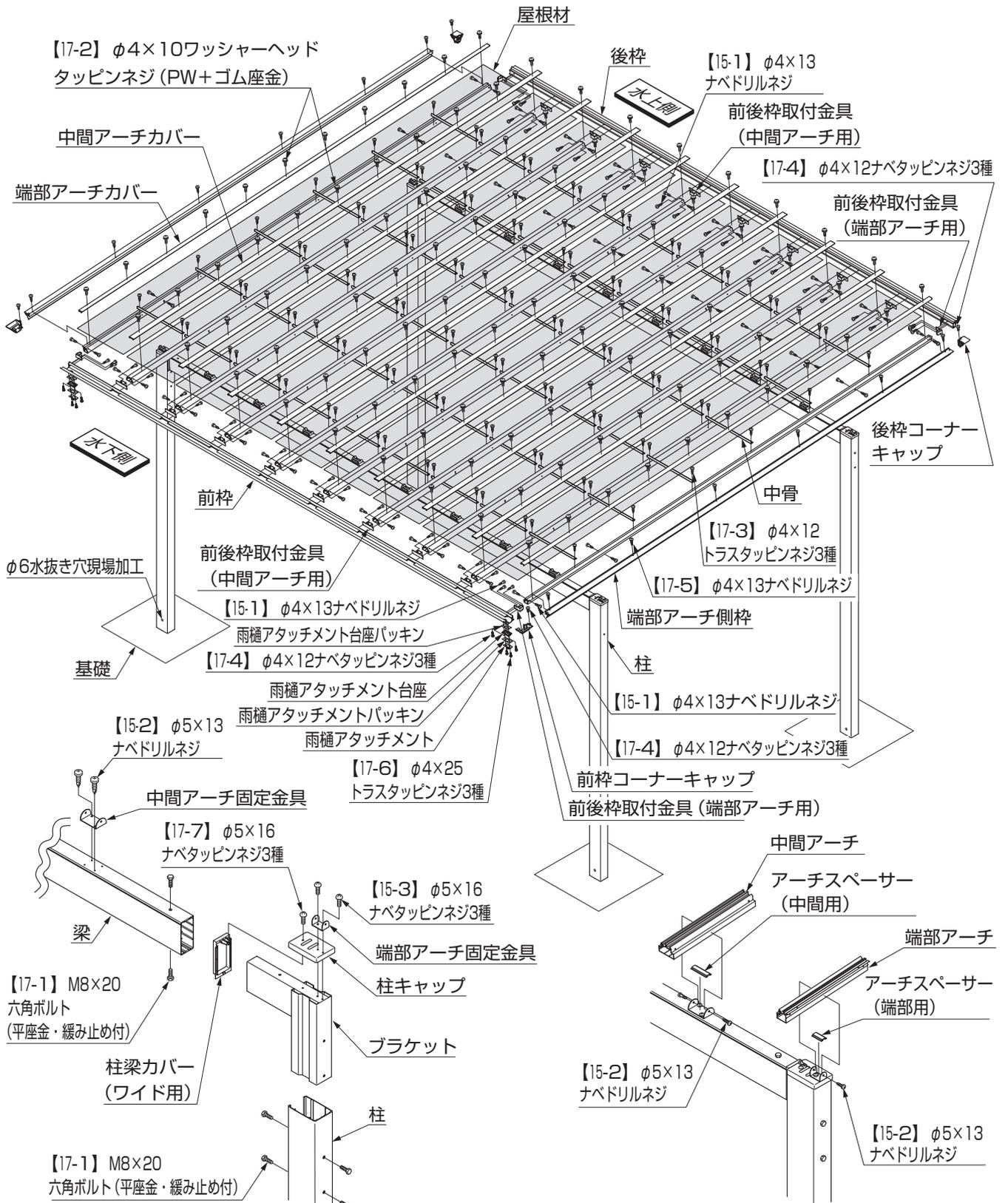


図1-1 柱梁取付詳細

図1-2 アーチ接続部

1-3 ワイド延長梁 ※図は水下延長の場合です。水上延長の場合も同様です。

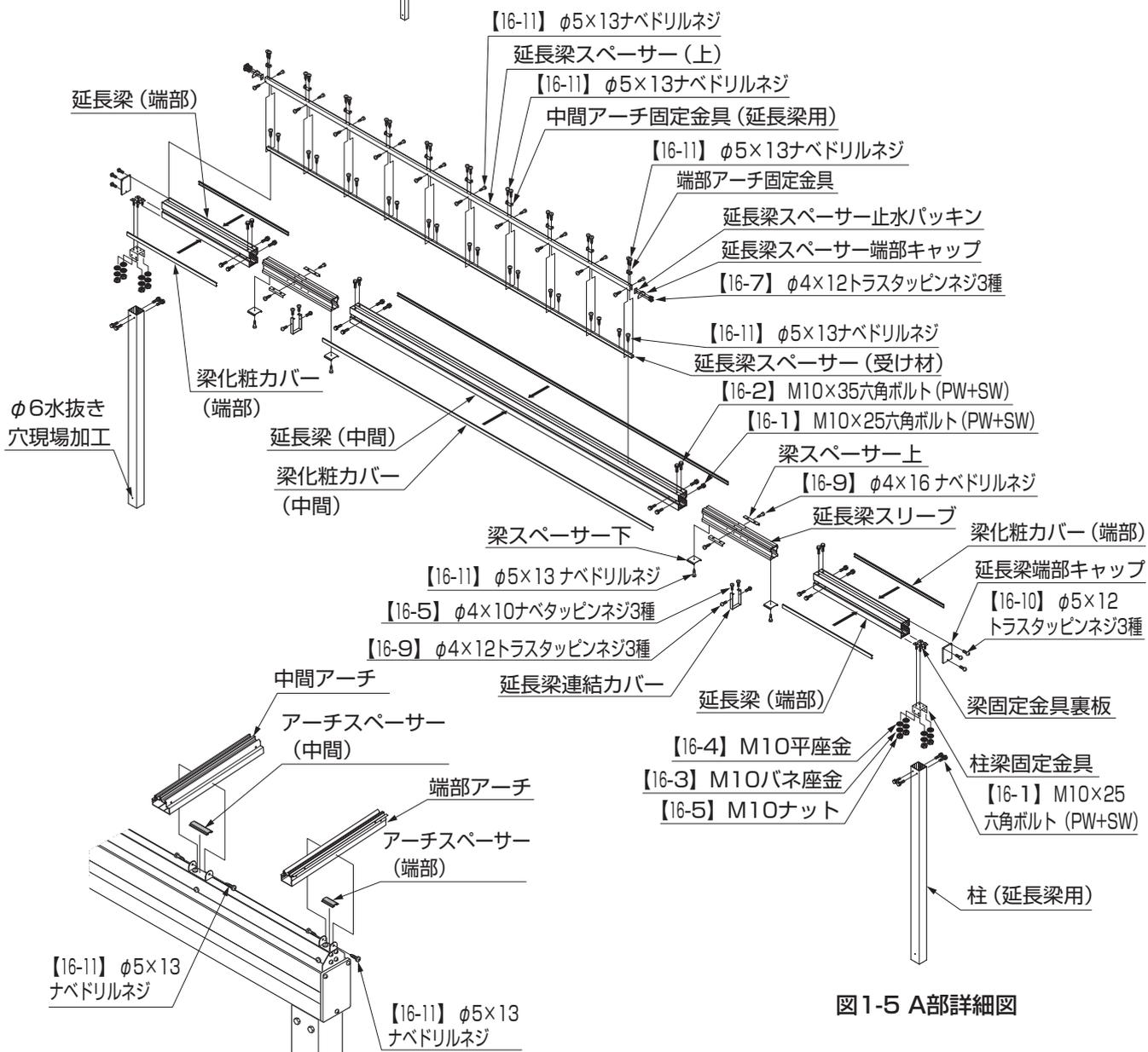
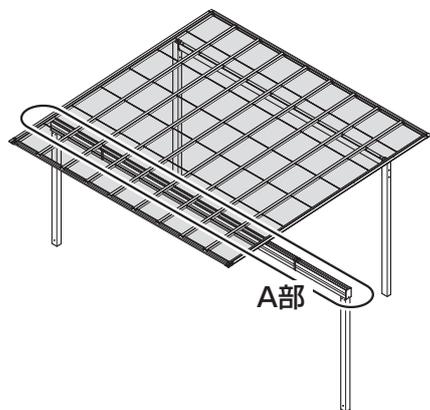


図1-5 A部詳細図

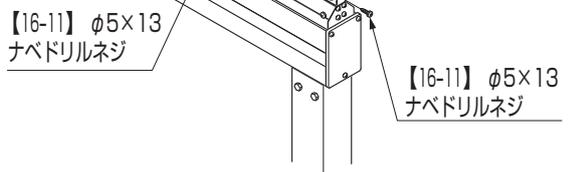
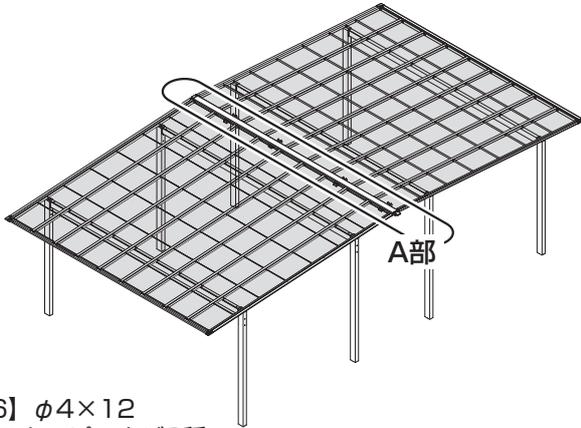


図1-6 アーチ接続部

1. (つづき)

1-4 ワイド縦連棟



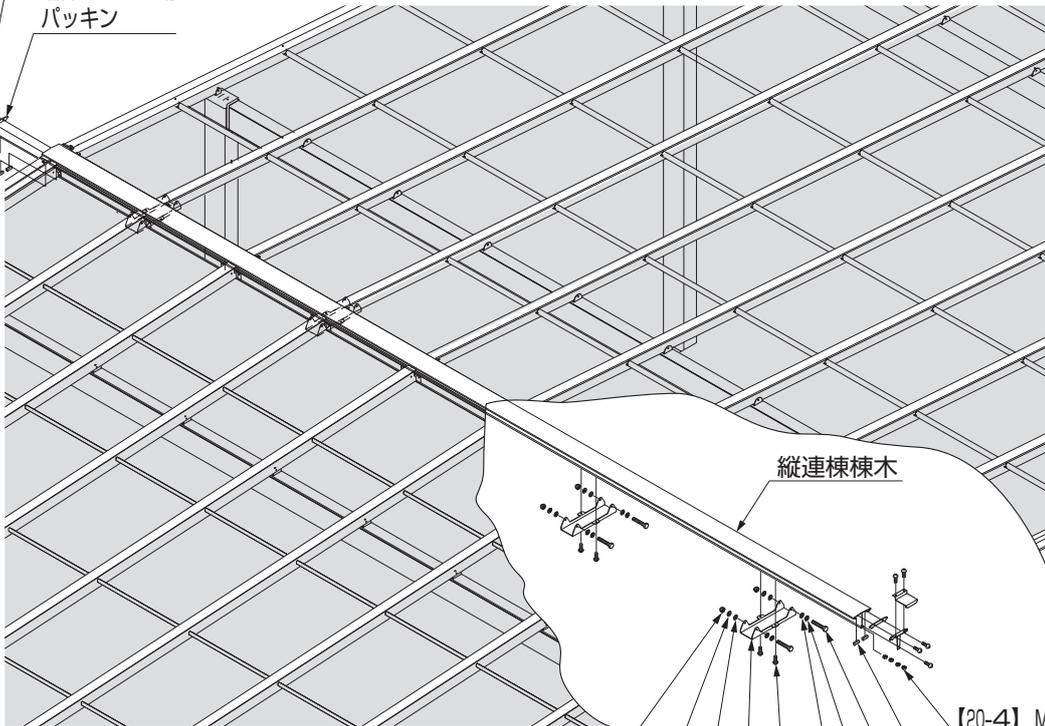
【20-6】φ4×12
トラスタッピンネジ3種

端部キャップカバー

【20-6】φ4×12
トラスタッピンネジ3種

端部キャップ

端部キャップ用
パッキン



縦連棟棟木

【20-5】M6袋ナット

【20-2】M6バネ座金

【20-3】M6平座金

合掌取付材

【20-4】M6六角ナット3種

奥行き連棟 端部用 止水パッキン

【20-1】M6×90六角ボルト

【20-2】M6バネ座金

【20-3】M6平座金

【20-7】M6×14トラス小ネジ

図1-7 A部詳細図

2. 基本寸法

2-1 奥行方向

(1) ワイドタイプ ※柱芯々寸法は±100mm以内にしてください。
※基礎寸法の〈 〉は57型を示します。

H0：梁下高さ（水上）
H1：梁下高さ（水下）
H2：92°エルボ内角高さ
H3：ドレンエルボ下端高さ
H4：前枠下端高さ
H5：後枠上端高さ

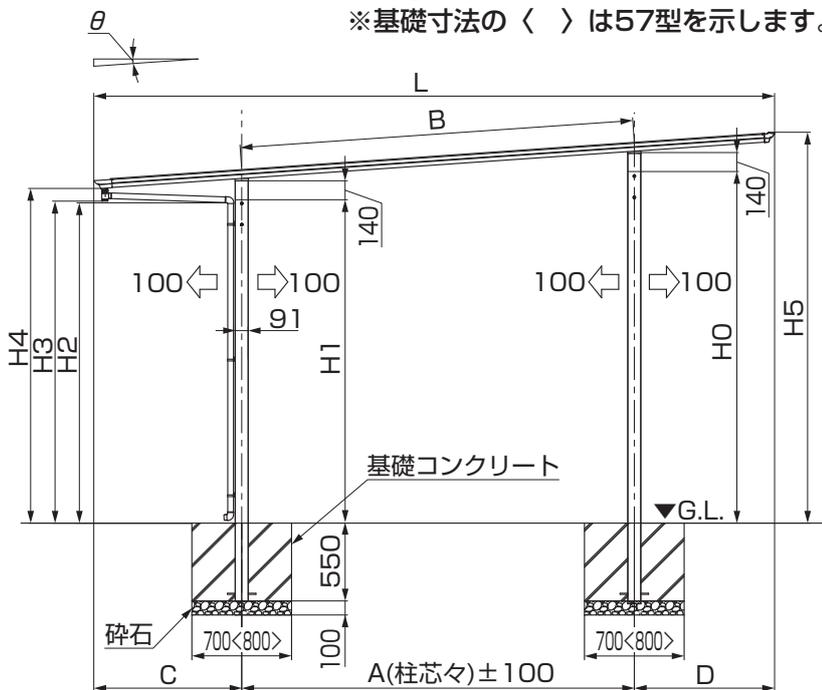


図2-1 標準

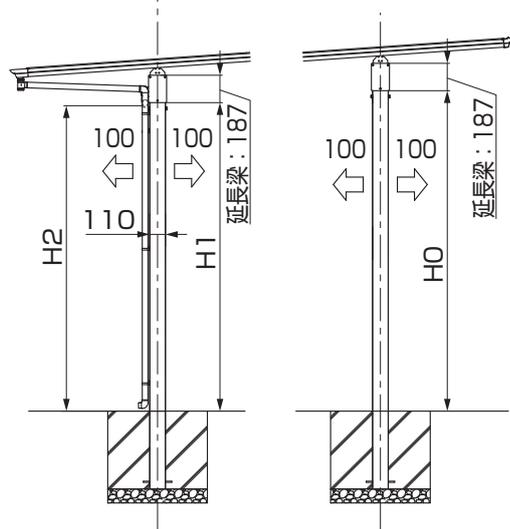


図2-2
水下延長の場合

図2-3
水上延長の場合

表2-1

サイズ	θ	L	A	B	C	D	H0		H1		H2		H3	H4	H5
							標準	延長梁	標準	延長梁	標準	延長梁			
L50	4°	5019	3000	3007	1036	983	2510	2405	2300	2195	2267	表2-2 参照	2279	2370	2782
	5°	5012		3011	1031	981			2247	2142	2198		2210	2301	2798
	6°	5004		3016	1025	979			2194	2089	2129		2140	2231	2815
	7°	4994		3022	1018	976			2141	2036	2060		2071	2162	2831
	8°	4982		3029	1009	973			2088	1983	1992		2003	2093	2848
L57	4°	5723	3300	3308	1238	1185	2531	2426	2300	2195	2246	表2-2 参照	2265	2356	2817
	5°	5715		3313	1233	1183			2242	2137	2168		2187	2278	2837
	6°	5706		3318	1226	1180			2184	2079	2090		2109	2200	2857
	7°	5694		3325	1217	1177			2126	2021	2013		2031	2122	2877
	8°	5681		3332	1208	1174			2067	1962	1936		1954	2044	2897

表2-2

サイズ	θ	H2				サイズ	θ	H2			
		W70		W80				W70		W80	
		W54	W60	W54	W60			W54	W60	W54	W60
L50	4°	2198	2219	2166	2187	L57	4°	2177	2198	2145	2165
	5°	2129	2150	2097	2118		5°	2100	2120	2067	2088
	6°	2061	2081	2028	2049		6°	2022	2043	1990	2010
	7°	1992	2013	1959	1980		7°	1950	1971	1918	1938
	8°	1923	1944	1891	1912		8°	1891	1912	1859	1880

ポイント

- ロング柱（H25）の場合は+220mm、H28柱の場合は+489mmをH0～H5の寸法に追加してください。
- 延長梁H2のおさえ位置は「2-2 間口寸法（3）延長梁・間口方向（ワイドタイプ・プレミアムワイドタイプ）」を参照してください。
- 構造計算書を添付して建築確認申請をおこなっている場合、構造計算書の基礎寸法で施工してください。

2.(つづき)

2-1 つづき

(2) プレミアムワイドタイプ

※柱芯々寸法は±100mm以内にして
ください。

※基礎寸法の〈 〉は57型を示します。

H0：梁下高さ(水上)

H1：梁下高さ(水下)

H2：92°エルボ内角高さ

H3：ドレンエルボ下端高さ

H4：前枠下端高さ

H5：後枠上端高さ

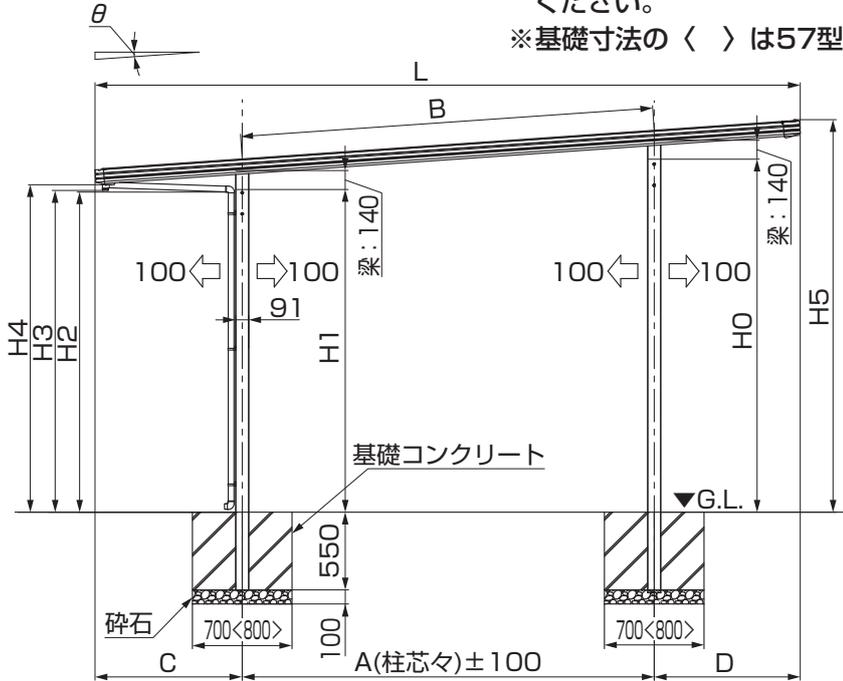


図2-4 標準

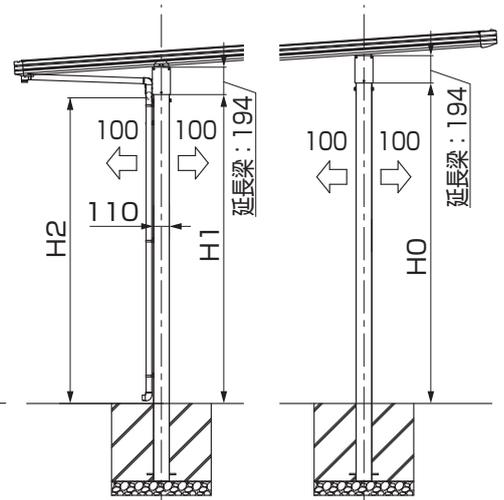


図2-5
水下延長の場合

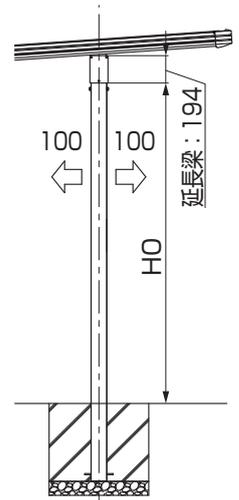


図2-6
水上延長の場合

表2-3

サイズ	θ	L	A	B	C	D	H0		H1		H2		H3	H4	H5
							標準	延長梁	標準	延長梁	標準	延長梁			
L50	4°	5058	3000	3007	1033	1025	2510	2405	2300	2195	2267	表2-4 参照	2279	2321	2785
	5°	5053		3011	1028	1025			2247	2142	2198		2210	2253	2802
	6°	5046		3016	1022	1024			2194	2089	2129		2140	2185	2819
	7°	5037		3022	1014	1023			2141	2036	2060		2071	2117	2836
	8°	5027		3029	1006	1021			2088	1983	1992		2003	2048	2854
L57	4°	5762	3300	3308	1235	1227	2531	2426	2300	2195	2246	表2-4 参照	2265	2307	2820
	5°	5756		3313	1230	1226			2242	2137	2168		2187	2230	2841
	6°	5748		3318	1223	1225			2184	2079	2090		2109	2153	2862
	7°	5738		3325	1214	1224			2126	2021	2013		2031	2077	2882
	8°	5726		3332	1204	1122			2067	1962	1936		1954	1999	2904

表2-4

サイズ	θ	H2				サイズ	θ	H2			
		W70		W80				W70		W80	
		W54	W60	W54	W60			W54	W60	W54	W60
L50	4°	2198	2219	2166	2187	L57	4°	2177	2198	2145	2165
	5°	2129	2150	2097	2118		5°	2100	2120	2067	2088
	6°	2061	2081	2028	2049		6°	2022	2043	1990	2010
	7°	1992	2013	1959	1980		7°	1950	1971	1918	1938
	8°	1923	1944	1891	1912		8°	1891	1912	1859	1880

ポイント

- ロング柱(H25)の場合は+220mm、H28柱の場合は+489mmをH0~H5の寸法に追加してください。
- 延長梁H2のおさえ位置は「2-2 間口寸法(3) 延長梁-間口方向(ワイドタイプ・プレミアムワイドタイプ)および3 基本納まり図 3. 間口方向(ワイド延長梁、プレミアムワイド延長梁)」を参照してください。
- 構造計算書を添付して建築確認申請をおこなっている場合、構造計算書の基礎寸法で施工してください。

(3) ワイドタイプ縦連棟

※柱芯々寸法は±100mm以内にしてください。

※本頁表示寸法以外の各寸法は「2-1 奥行方向 (1) ワイドタイプ」を参照してください。

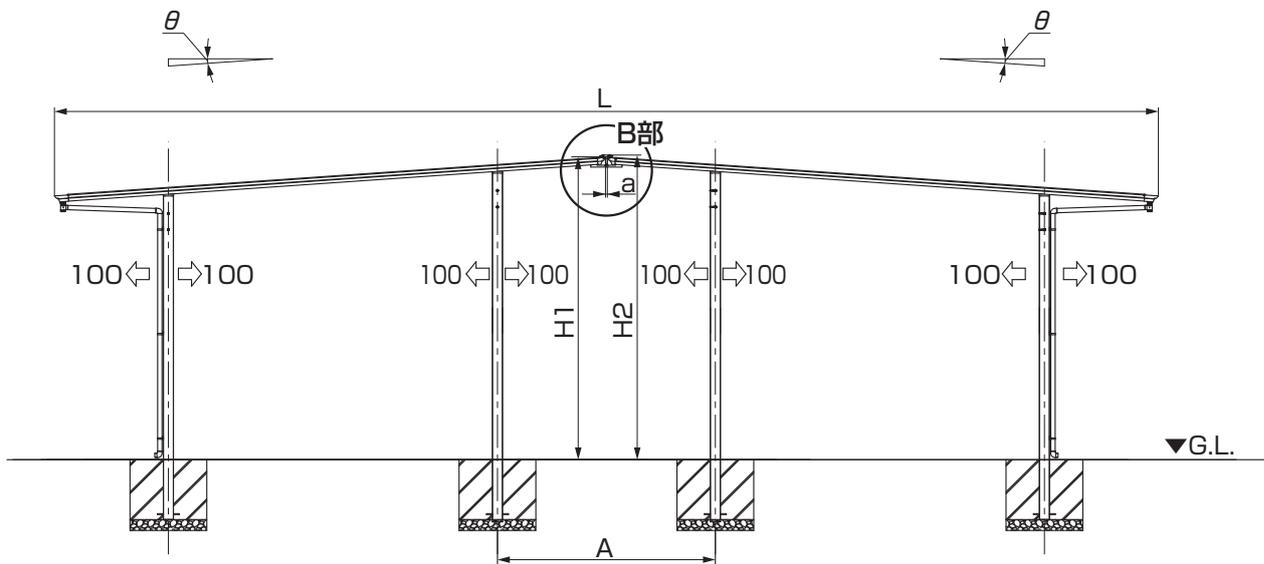


図2-7 縦連棟

H1：縦連棟棟木上端高さ
H2：端部キャップカバー上端高さ
a：後枠先端間寸法

表2-5

サイズ	θ	L	A	a	H1	H2
L50	4°	10059	1987	21	2793	2799
	5°	10047	1984	23	2809	2814
	6°	10031	1981	24	2824	2829
	7°	10013	1978	26	2839	2844
	8°	9992	1974	28	2854	2859
L57	4°	11468	2391	21	2828	2834
	5°	11453	2388	23	2847	2853
	6°	11436	2384	24	2866	2871
	7°	11414	2380	26	2885	2890
	8°	11390	2375	28	2904	2909

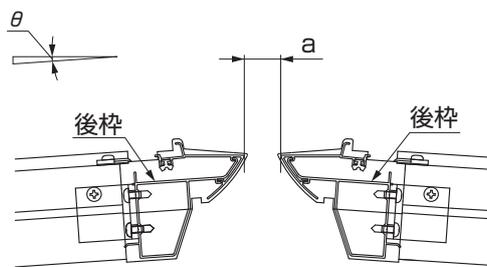


図2-8 B部詳細図

ポイント

- ロング柱 (H25) の場合は+220mm、H28柱の場合は+489mmをH1～H2の寸法に追加してください。
- 構造計算書を添付して建築確認申請をおこなっている場合、構造計算書の基礎寸法で施工してください。

2.(つづき)

2-2 間口寸法

(1) ワイドタイプ

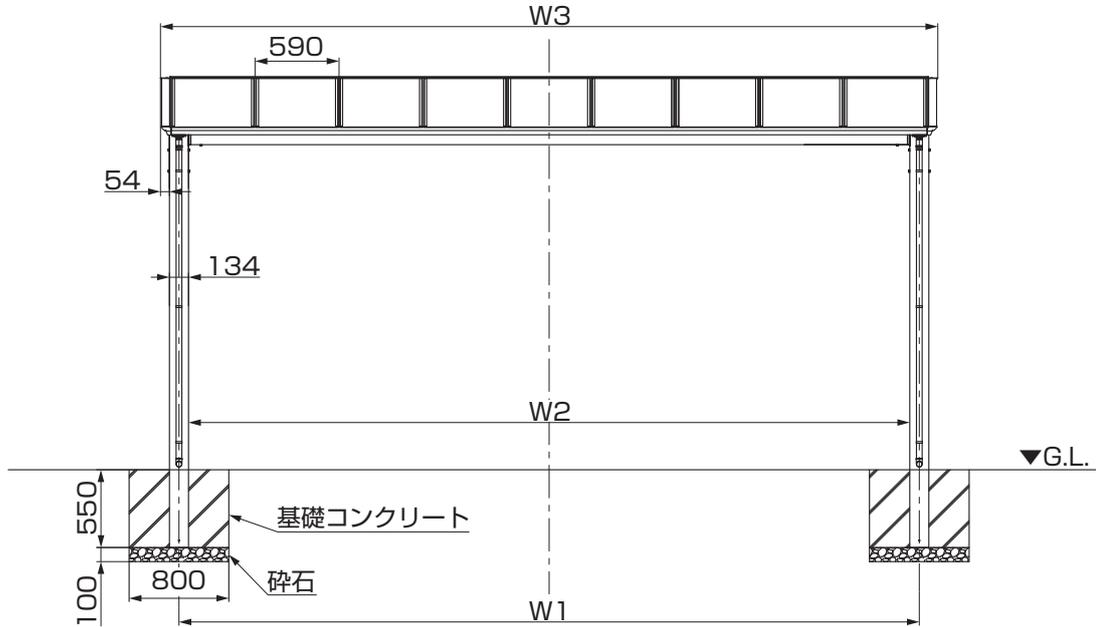


図2-9

表2-6

サイズ	W1	W2	W3
W54	5198	5064	5441
W60	5788	5654	6031

ポイント

- 構造計算書を添付して建築確認申請をおこなっている場合、構造計算書の基礎寸法で施工してください。

(2) プレミアムワイドタイプ

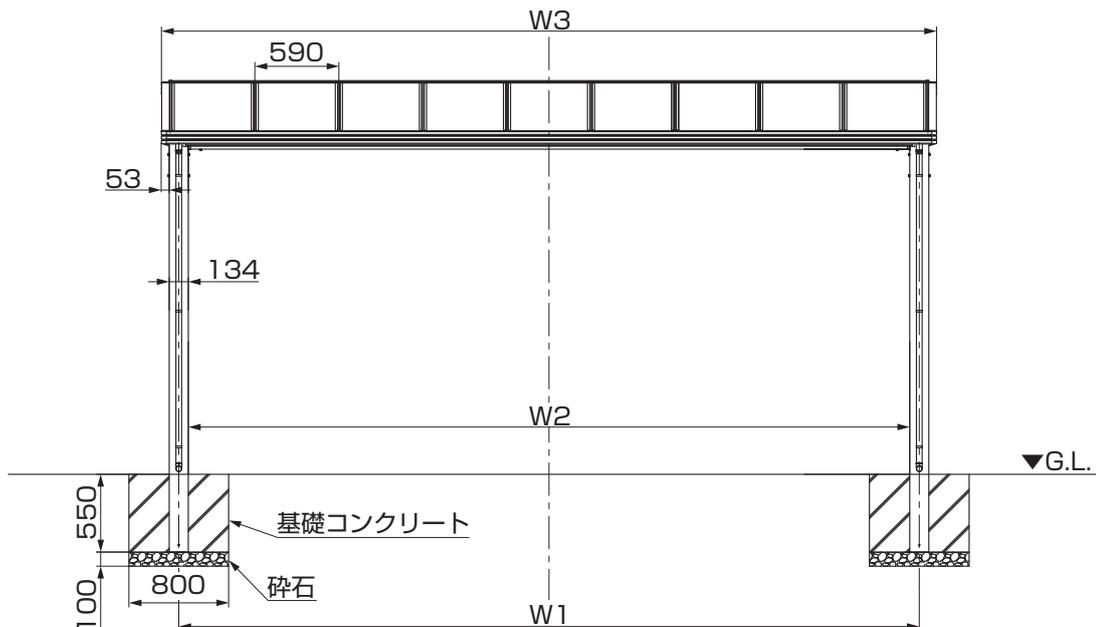


図2-10

表2-7

サイズ	W1	W2	W3
W54	5198	5064	5438
W60	5788	5654	6028

ポイント

- 構造計算書を添付して建築確認申請をおこなっている場合、構造計算書の基礎寸法で施工してください。

(3) 延長梁-間口方向 (ワイドタイプ・プレミアムワイドタイプ)

※図は水下延長を示します。

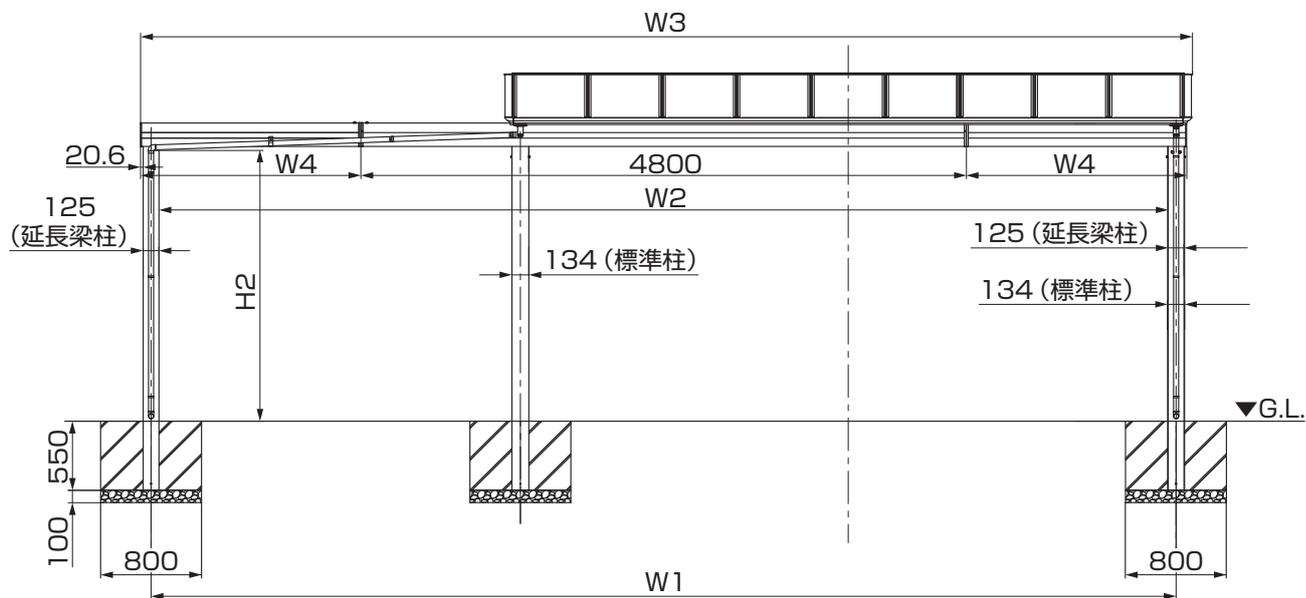


図2-11

表2-8

サイズ	W1	W2	W3		W4
			ワイド	プレミアムワイド	
W70	7196	7071	7400	7399	1275
W80	8126	8001	8330	8329	1740

表2-9 H2 : 92°エルボ内角高さ

サイズ	θ	H2			
		W70		W80	
		W54	W60	W54	W60
L50	4°	2198	2219	2166	2187
	5°	2129	2150	2097	2118
	6°	2061	2081	2028	2049
	7°	1992	2013	1959	1980
	8°	1923	1944	1891	1912
L57	4°	2177	2198	2145	2165
	5°	2100	2120	2067	2088
	6°	2022	2043	1990	2010
	7°	1950	1971	1918	1938
	8°	1891	1912	1859	1880

ポイント

- 延長梁H2のおさえ位置は「3 基本納まり図 3. 間口方向(ワイド延長梁、プレミアムワイド延長梁)」を参照してください。
- 構造計算書を添付して建築確認申請をおこなっている場合、構造計算書の基礎寸法で施工してください。

3 基本納まり図

1. 間口方向 (ワイド、プレミアムワイド、ワイド縦連棟)

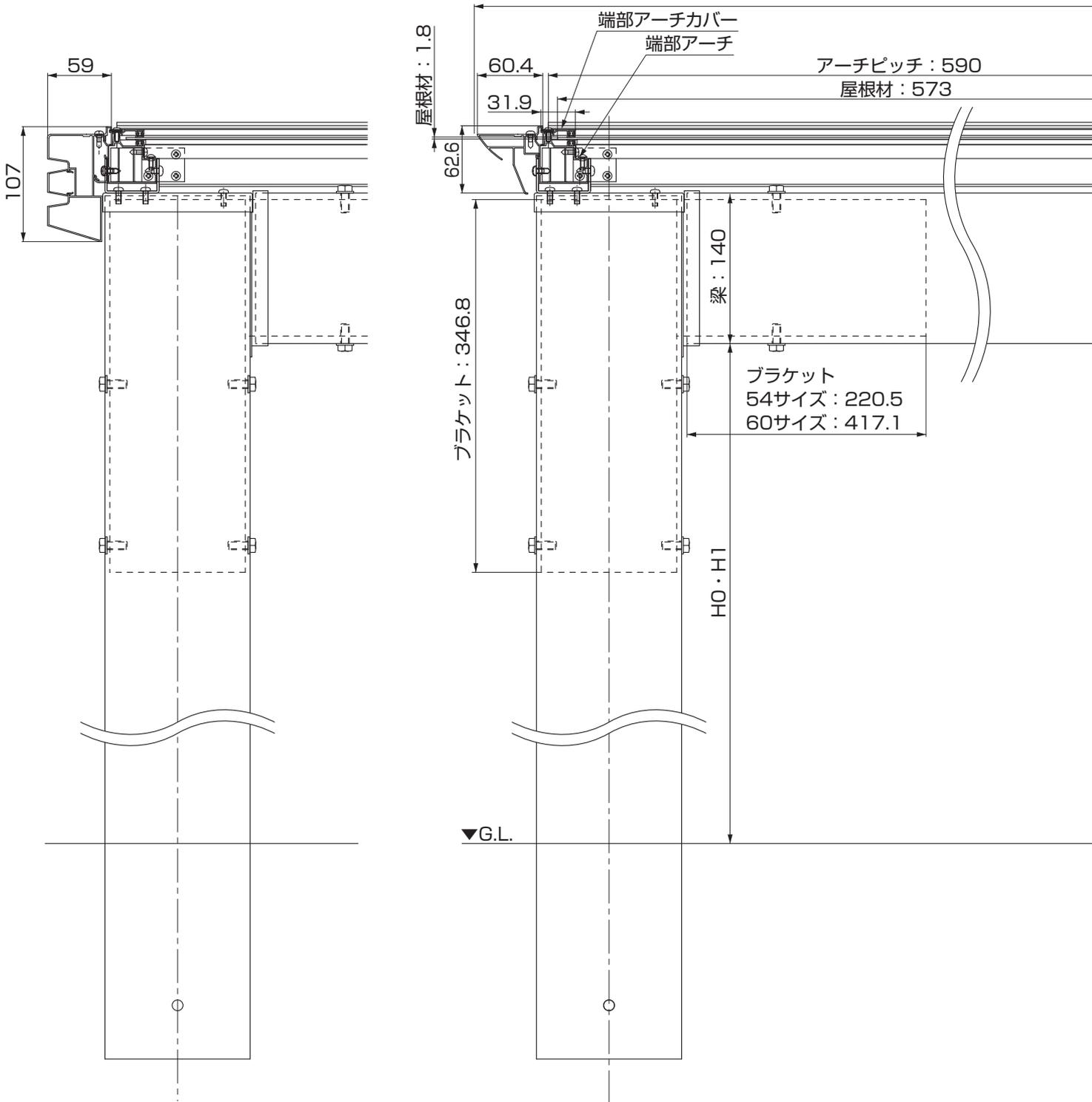
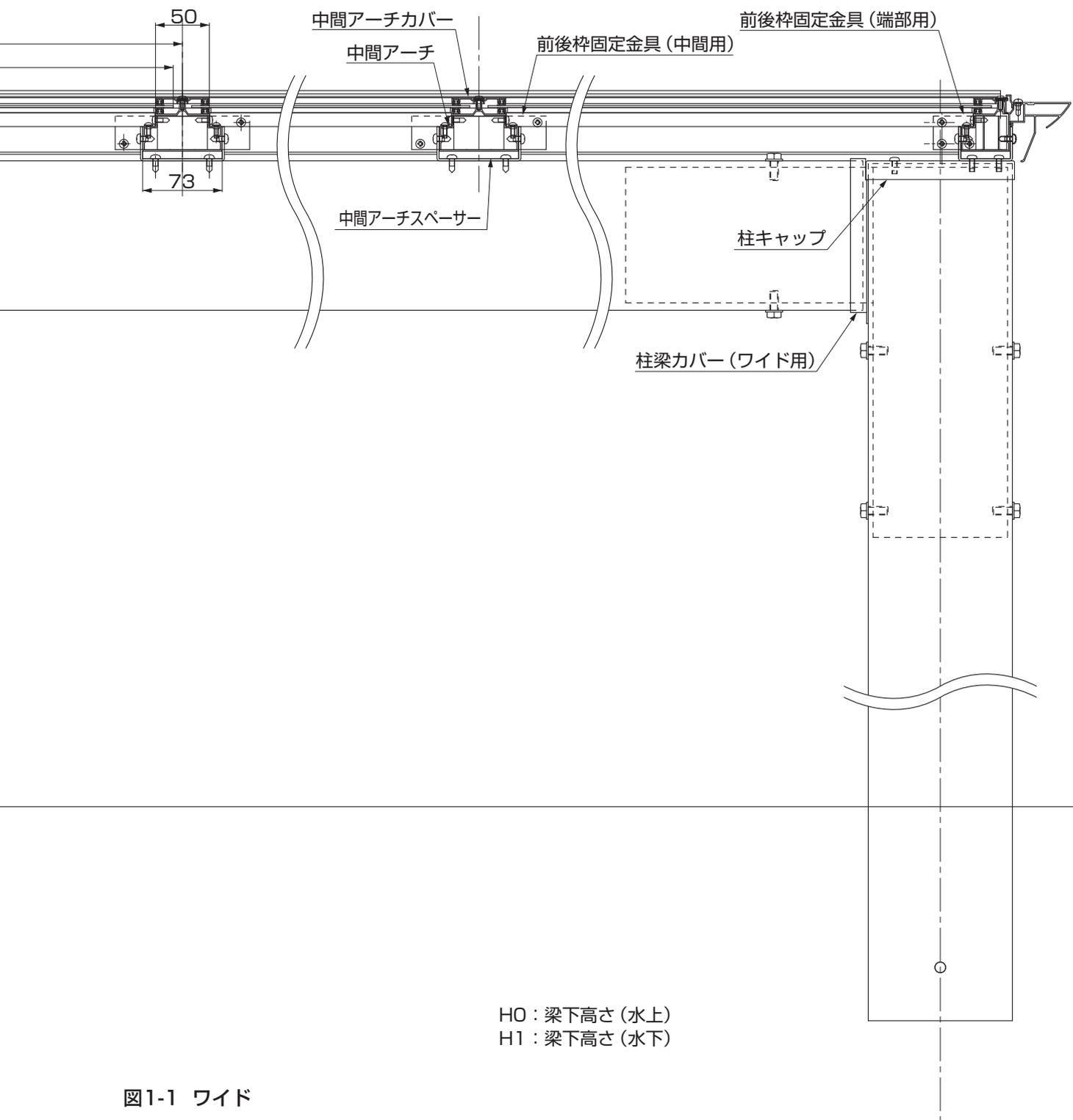


図1-2 プレミアムワイド

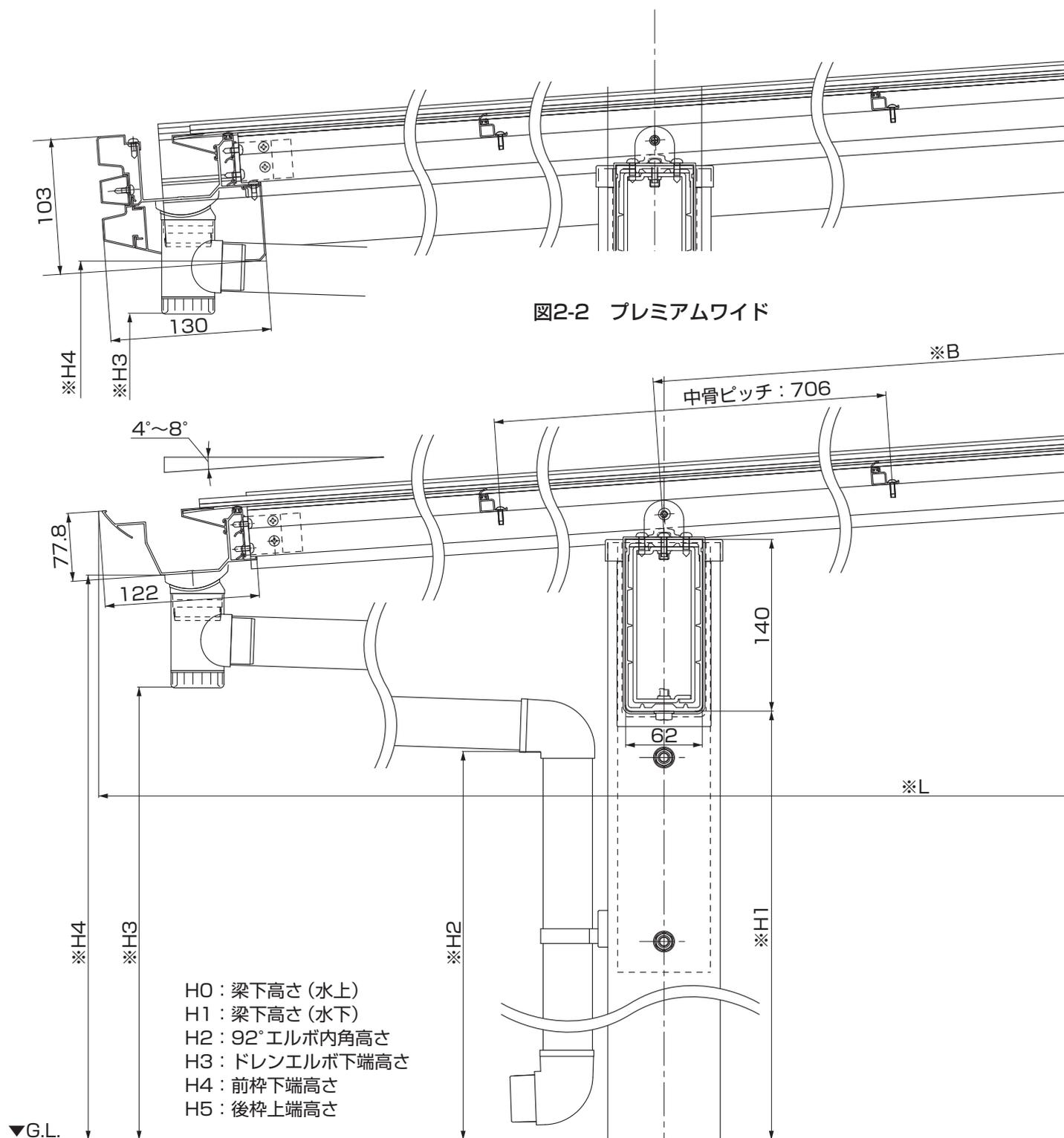
W (ワイド54サイズ : 5440.9、60サイズ : 6030.9 プレミアムワイド54サイズ : 5438、60サイズ : 6028)



H0 : 梁下高さ (水上)
H1 : 梁下高さ (水下)

図1-1 ワイド

2. 出幅方向 (ワイド、プレミアムワイド)



ポイント

- 延長梁の場合のH2の寸法は押え位置は「3 基本納まり図 3. 間口方向 (ワイド延長、プレミアムワイド延長)」を参照してください。

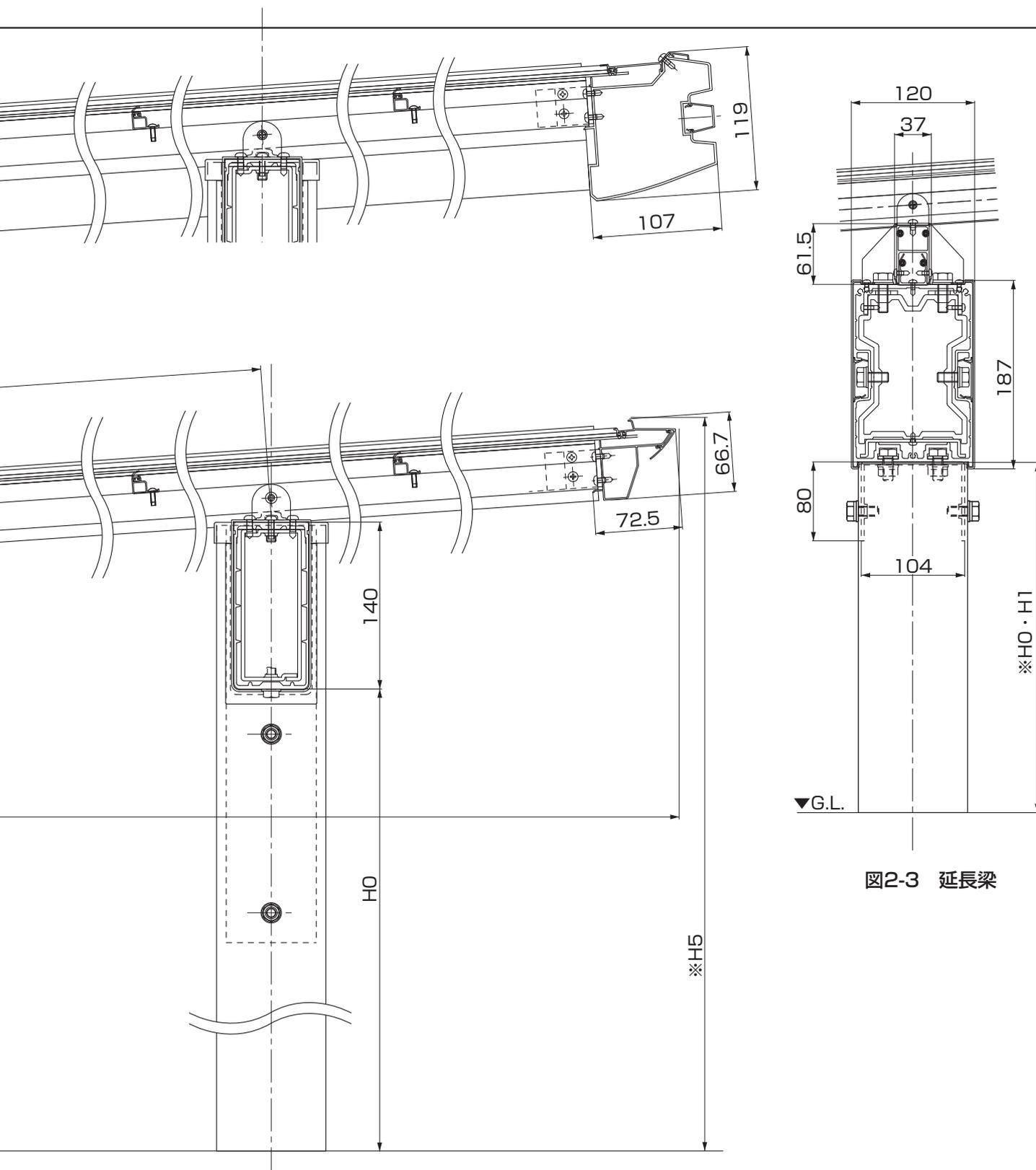
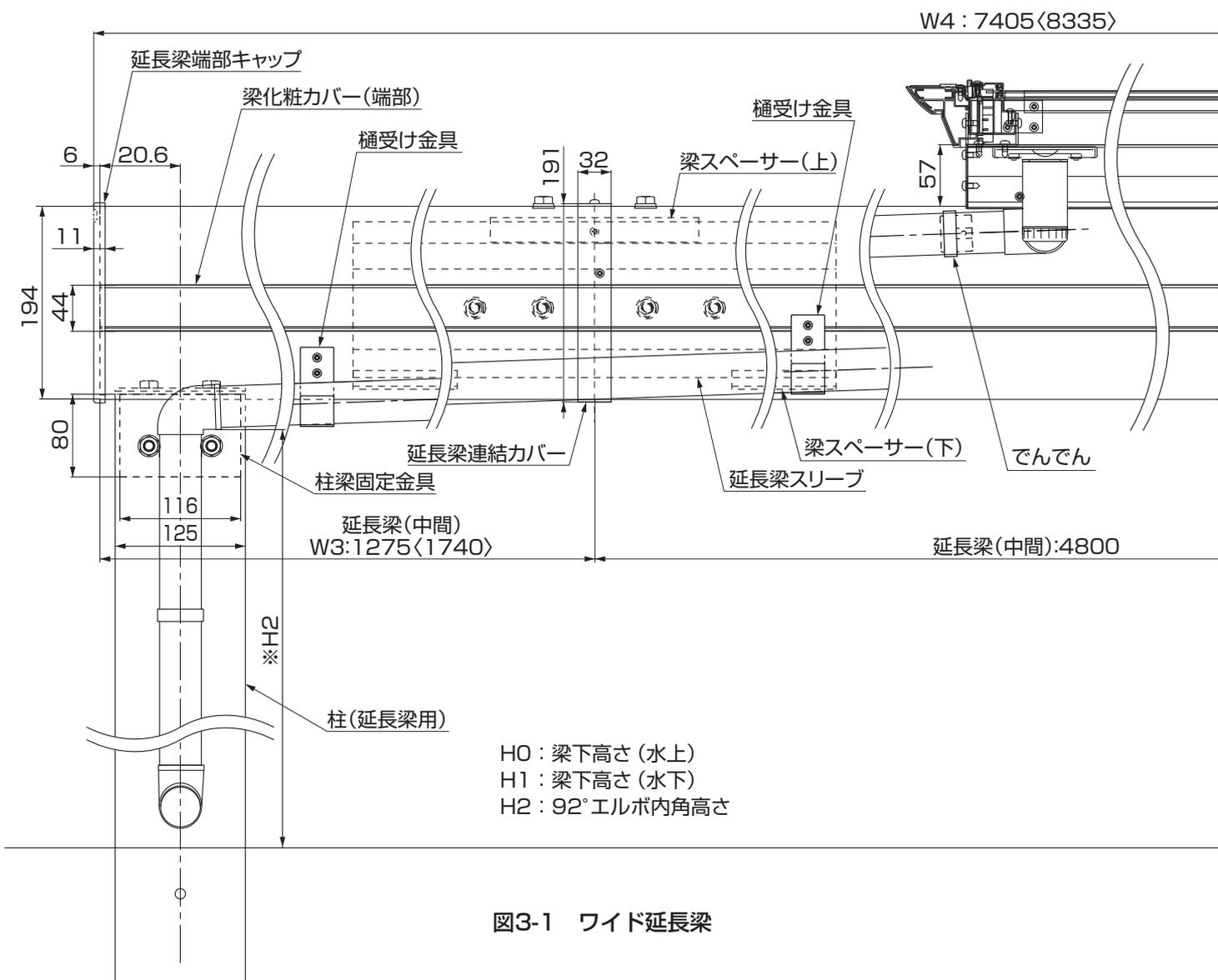


図2-3 延長梁

ポイント

●※寸法は「2 基本寸法と各部名称 2.基本寸法」を参照してください。

3. 間口方向 (ワイド延長梁、プレミアムワイド延長梁)



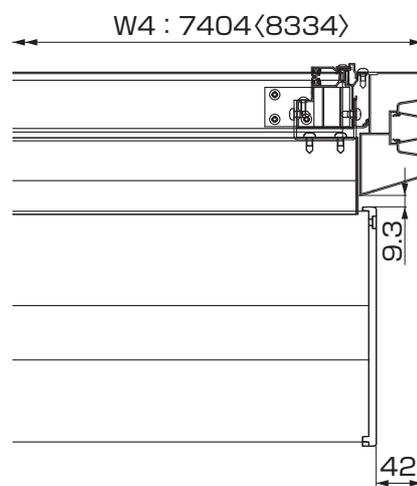
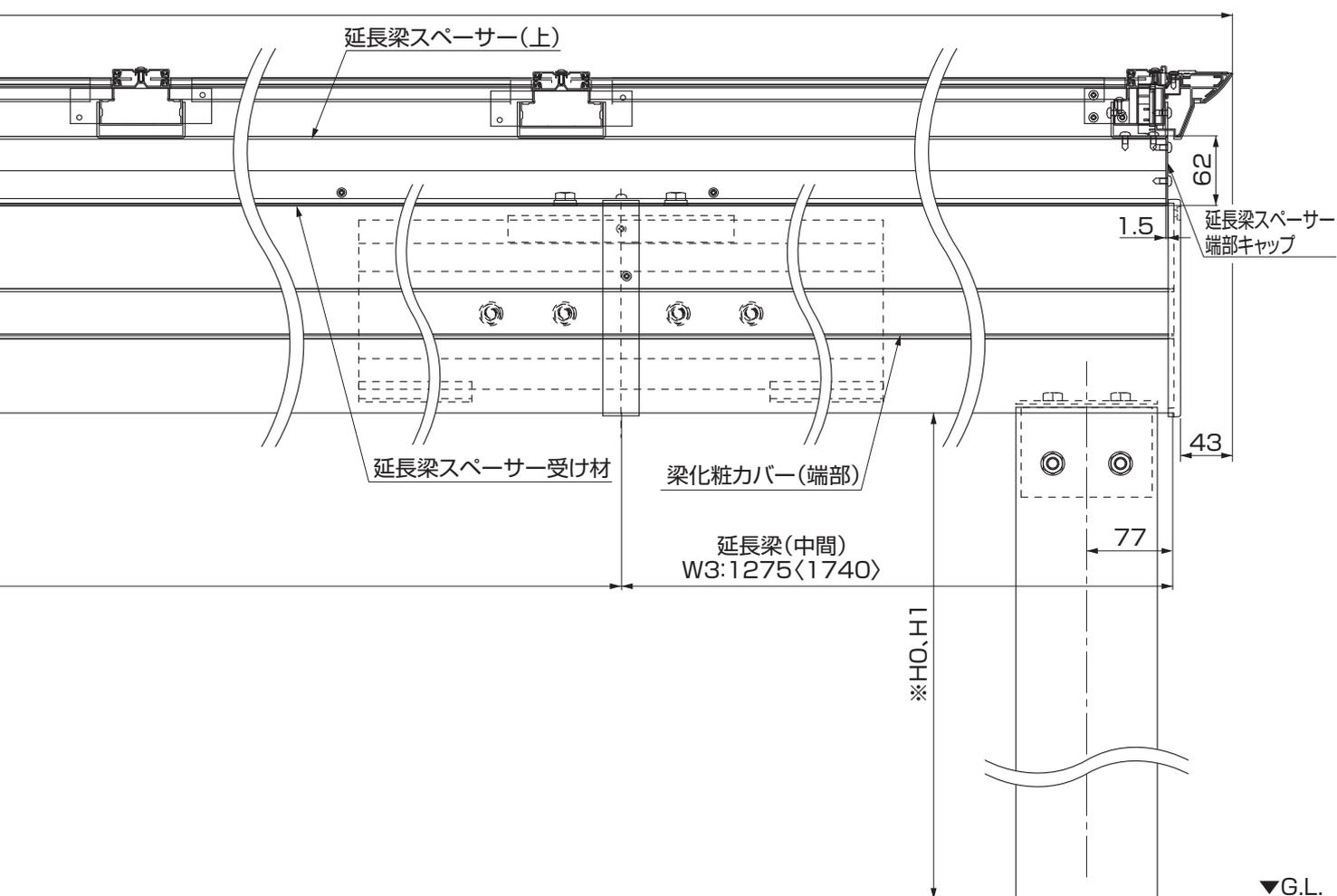


図3-2 プレミアムワイド延長梁

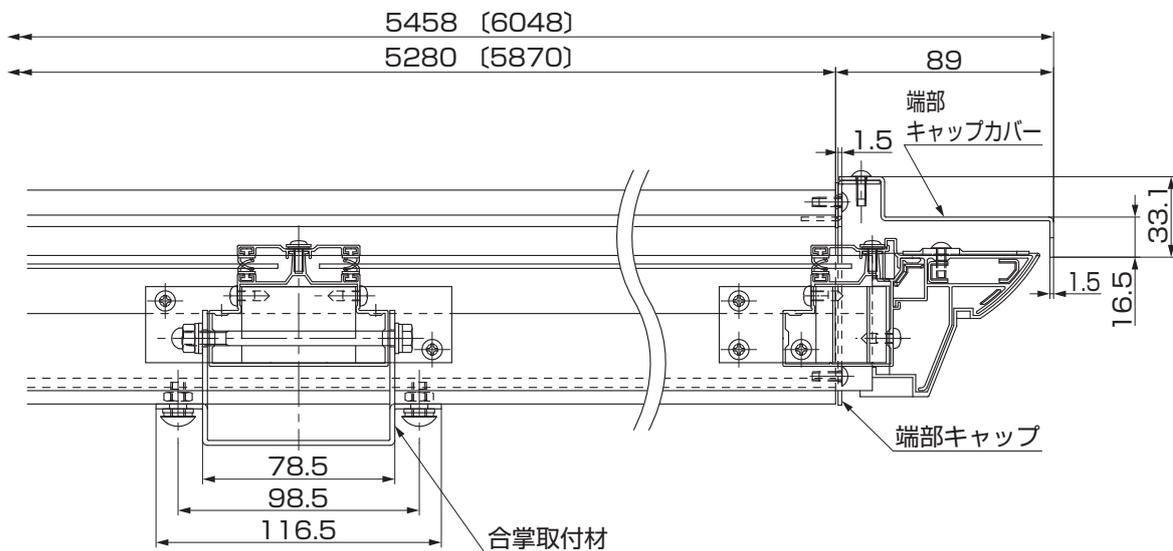


ポイント

●※寸法は「2 基本寸法と各部名称 2.基本寸法」を参照してください。

4. 縦連棟

4-1 間口方向 ※〔 〕は60型を示します。

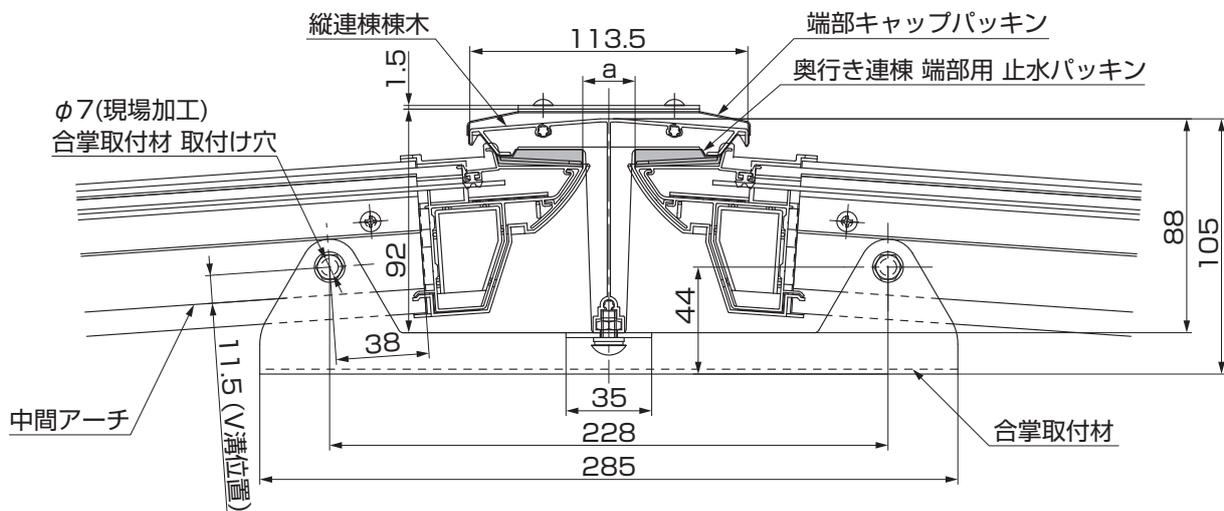


4-2 出幅方向



寸法表

θ	4°	5°	6°	7°	8°
a	21	23	24	26	28



メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

4 基本の施工方法

1. 基礎の施工

1-1 基礎位置の墨出し

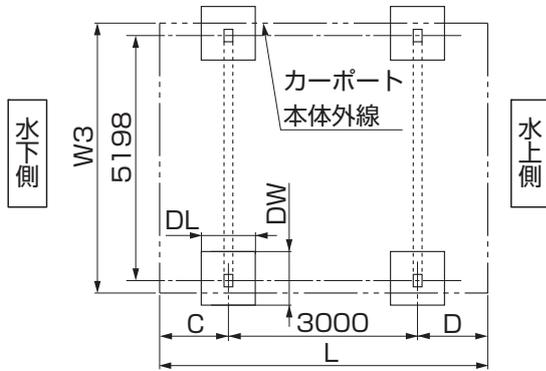


図1-1 54-50サイズ

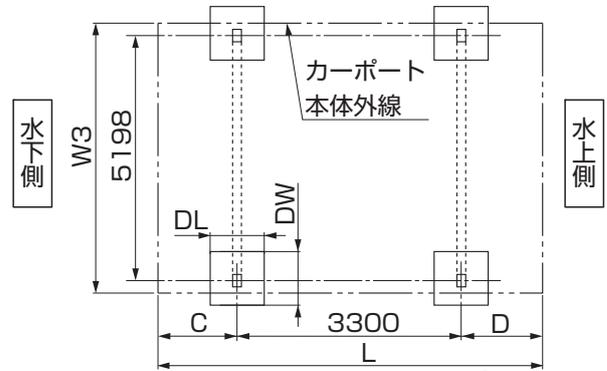


図1-2 54-57サイズ

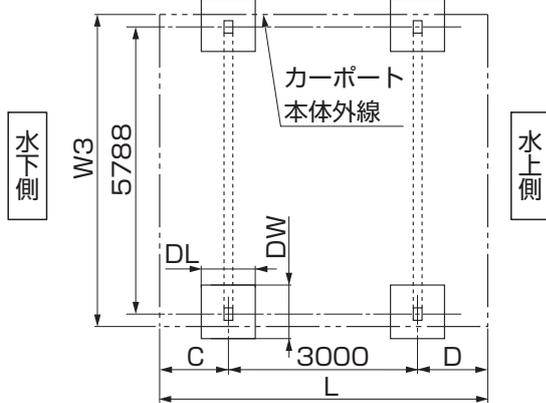


図1-3 60-50サイズ

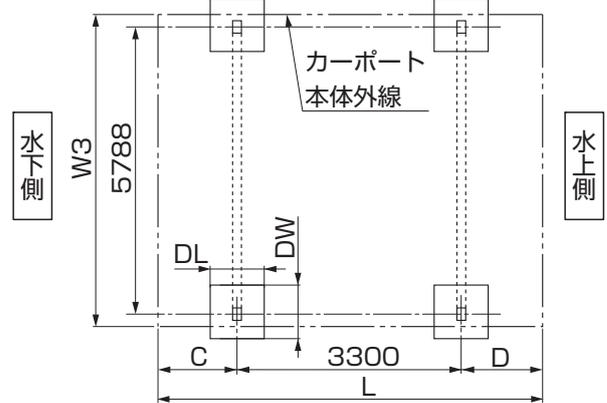


図1-4 60-57サイズ

表1-1 ワイドタイプ

サイズ	θ	W3		L	C	D	DW	DL
		W54	W60					
L50	4°			5019	1036	983		
	5°			5012	1031	981		
	6°	5441	6031	5004	1025	979	800	700
	7°			4994	1018	976		
	8°			4982	1009	973		
L57	4°			5723	1238	1185		
	5°			5715	1233	1183		
	6°	5441	6031	5706	1226	1180	800	800
	7°			5694	1217	1177		
	8°			5681	1208	1174		

表1-2 プレミアムワイドタイプ

サイズ	θ	W3		L	C	D	DW	DL
		W54	W60					
L50	4°			5058	1033	1025		
	5°			5053	1028	1025		
	6°	5438	6028	5046	1022	1024	800	700
	7°			5037	1014	1023		
	8°			5027	1006	1021		
L57	4°			5762	1235	1227		
	5°			5756	1230	1226		
	6°	5438	6028	5748	1223	1225	800	800
	7°			5738	1214	1224		
	8°			5726	1204	1122		

①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

⚠ 注意

- 柱の移動は当社指定範囲内にしてください。

🔑 ポイント

- 構造計算書を添付して建築確認申請をおこなっている場合、構造計算書の基礎寸法で施工してください。

📝 補足

- 柱の移動は±100mm以内ですが柱芯々寸法が±100mm以内になるようにしてください。

1-2 基礎寸法

(1) 偏芯基礎部材を使用の場合

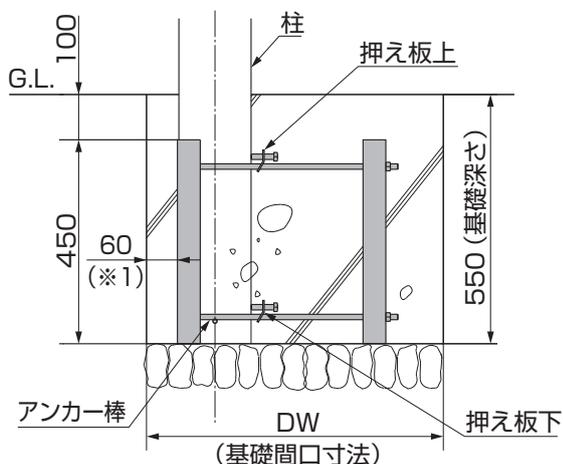


図1-5

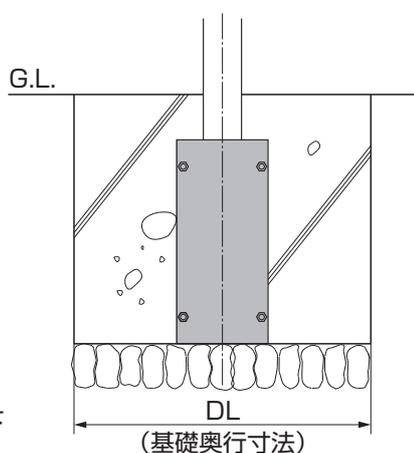


図1-6

表1-3

サイズ 呼称	DW	DL
50	800	700
57	800	800

ポイント

- タテ材Aの外側から基礎端面の寸法です。(※1)

(2) 土間コンクリート併用基礎を使用の場合

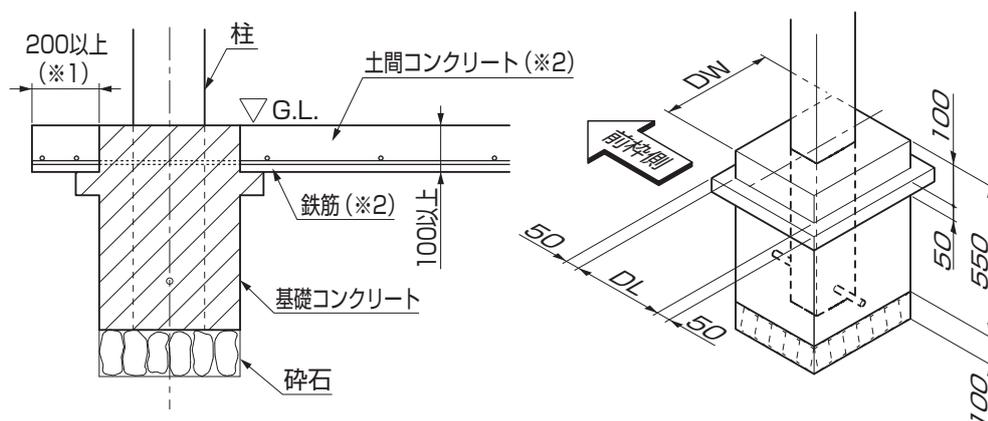


図1-7 土間コンクリート併用基礎の納まり

表1-4

サイズ 呼称	DW	DL
57.57	450	300

ポイント

- 基礎上面と土間コンクリートの縁端距離は200mm以上になるようにしてください。(※1)
- 土間コンクリートには、鉄筋を敷設してください。(※2)
- 構造計算書を添付して建築確認申請をおこなっている場合、構造計算書の基礎寸法で施工してください。

2. 柱の建込み

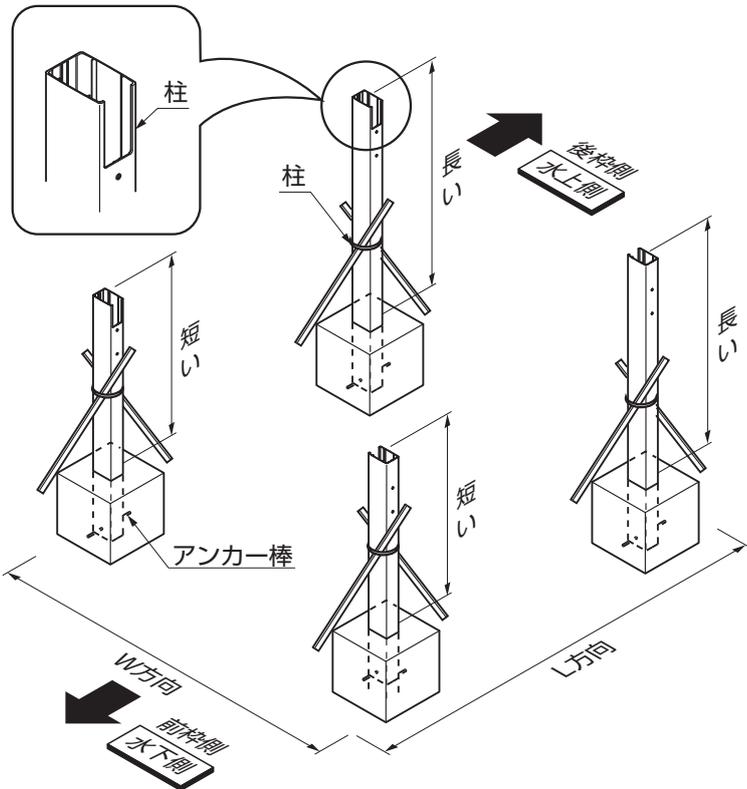


図2-1

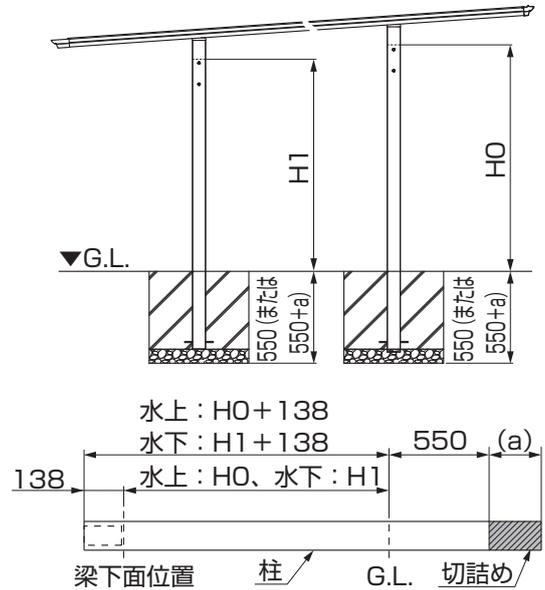


図2-2 柱の基礎埋込み寸法

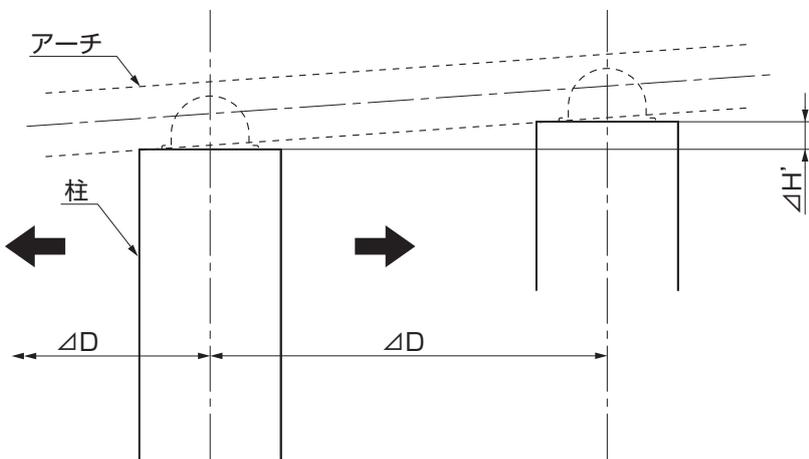


図2-3 柱を移動する場合

$$\begin{aligned} H_0 \text{ (水下移動)} &= H_0 - \Delta H' \\ H_0 \text{ (水上移動)} &= H_0 + \Delta H' \\ H_1 \text{ (水下移動)} &= H_1 - \Delta H' \\ H_1 \text{ (水上移動)} &= H_1 + \Delta H' \end{aligned}$$

$\Delta H'$ = 柱高さ変更寸法

$$= \Delta D \times \tan \theta$$

ΔD : 柱移動距離

$\tan \theta$: 表2-1参照

表2-1

	屋根角度	数値
tan θ	4°	0.0699
	5°	0.0875
	6°	0.1051
	7°	0.1228
	8°	0.1405

① 柱にアンカー棒を差込み、柱を建込んでください。(図2-1参照)

ポイント

- 柱に切欠きがある方を内側にしてください。
- 柱が短い方が水下側、柱が長い方が水上側になるようにしてください。
- aは、柱の全長から必要な長さをひいた余り長さです。
- 柱のG.L.下の寸法が550を超える場合はa寸法を切詰めるか、柱の埋込み寸法aの値を加算してください。本体サイズ、屋根角度、柱の移動距離により550をこえる場合があります。(図2-2、図2-3、表2-1参照)
- H₀、H₁の寸法は「2 基本寸法と各部の名称 2.基本寸法 2-1 奥行方向 (1) ワイドタイプ」を参照してください。

3. 梁とアーチ固定金具の取付け

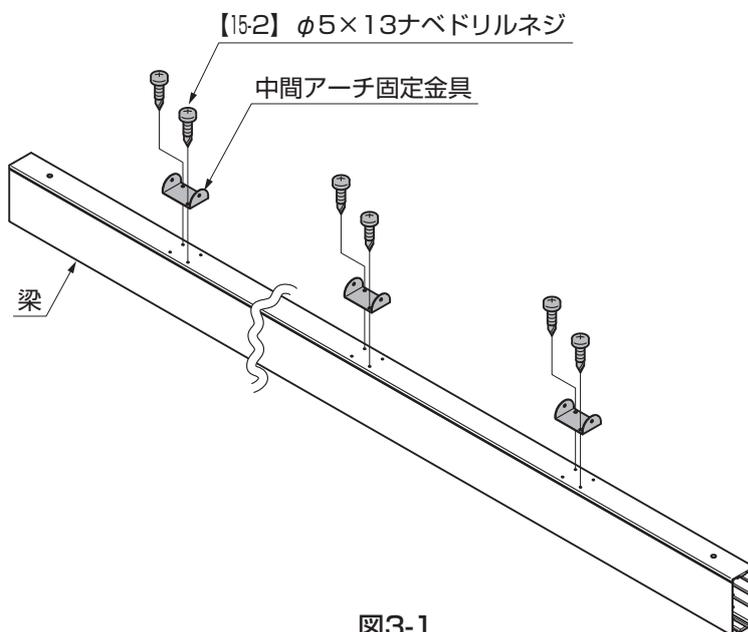


図3-1

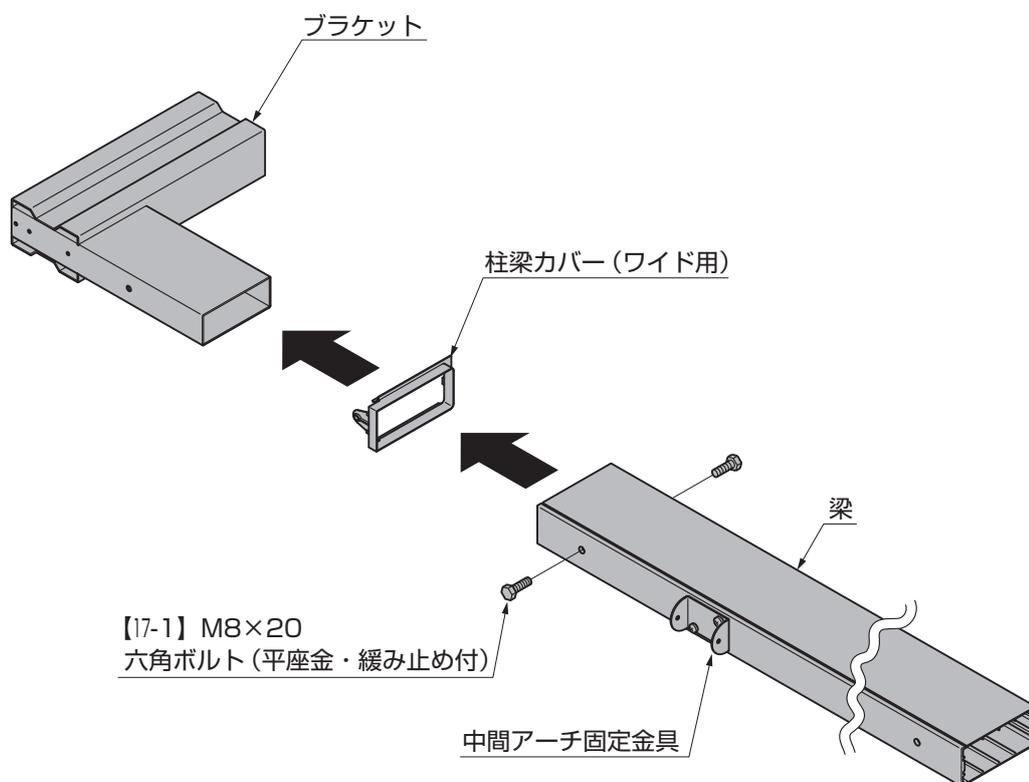


図3-2

- ① 中間アーチ固定金具を梁に【15-2】で固定してください。
- ② 柱梁カバー (ワイド用) をブラケットに差込んでください。
- ③ 梁をブラケットに【17-1】で仮固定してください。

4. 柱と梁の固定、端部アーチの取付け

4-1 梁の固定

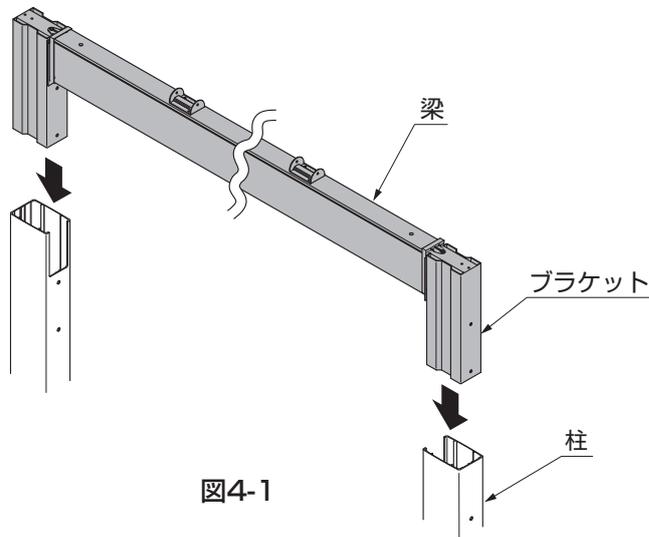


図4-1

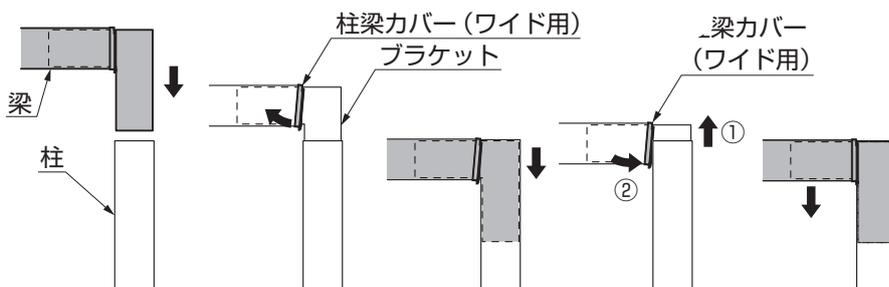


図4-2

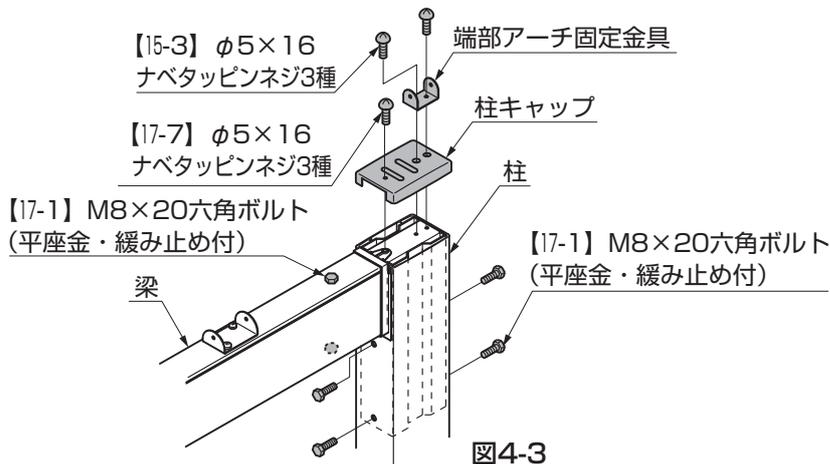


図4-3

① ブラケットを柱に差込んでください。(図4-1参照)

ポイント

● 1度柱梁カバー (ワイド用) を逃した状態で仮置きし、梁を持ち上げて柱梁カバー (ワイド用) を柱内に寄せてください。(図4-2参照)

② 柱キャップを柱梁カバー (ワイド用) とブラケットに【17-7】で取付けてください。(図4-3参照)

③ 端部アーチ固定金具を【15-3】で柱キャップに取付けてください。(図4-3参照)

④ 柱とブラケットを【17-1】で固定してください。(図4-3参照)

⑤ 梁とブラケットを仮固定している【17-1】を本締めしてください。(図4-3参照)

4-2 端部アーチの取付け

(1) 下穴加工

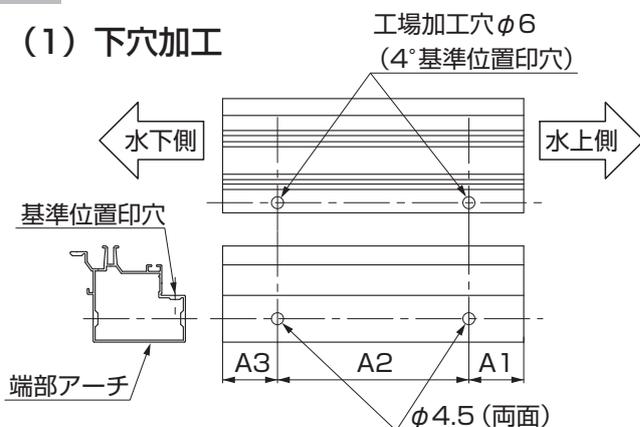
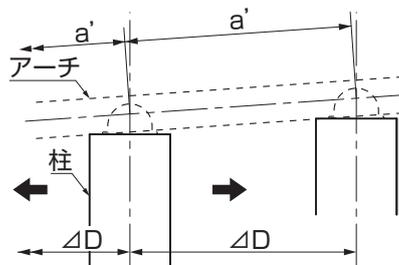


図4-4 端部アーチの下穴加工

表4-1 下穴加工

	屋根角度	A1	A2	A3
L50	4°	919.5	3007	919.5
	5°	919.5	3011	915.5
	6°	919.5	3016	910.5
	7°	919.5	3022	904.5
	8°	919.5	3029	897.5
L57	4°	1122	3308	1122
	5°	1122	3312.5	1117.5
	6°	1122	3318	1112
	7°	1122	3324.5	1105.5
	8°	1122	3332.5	1097.5



a' : 金具下穴位置
変更寸法
 $a' = \Delta D \div \cos \theta$
 ΔD : 柱移動距離

表4-2

	屋根角度	数値
$\cos \theta$	4°	0.9976
	5°	0.9962
	6°	0.9945
	7°	0.9925
	8°	0.9903

図4-5 柱を移動する場合

①端部アーチにφ4.5の穴加工を行なってください。(図4-4、表4-1参照)

ポイント

- 4°の場合の端部アーチ側面の加工穴位置は、基準位置穴と同位置になります。
- 柱移動した場合の穴あけ位置は図4-5、表4-2を参照してください。

(2) 取付け

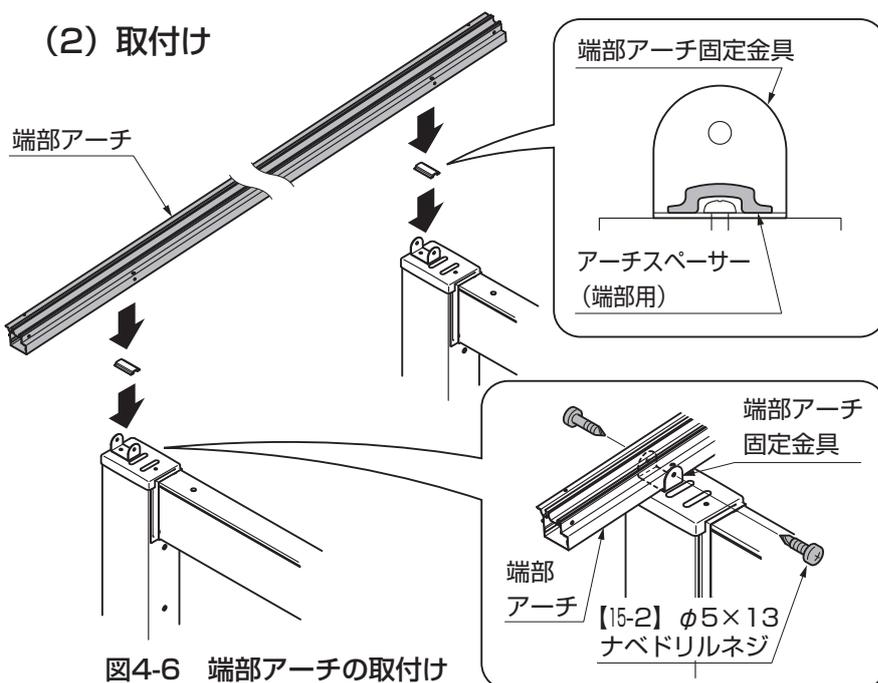


図4-6 端部アーチの取付け

①アーチスペーサー(端部用)を端部アーチ固定金具に置いてください。

ポイント

- アーチスペーサー(端部用)は必ずアーチ固定金具の上に置いてください。
- ②端部アーチを端部アーチ固定金具に【15-2】で取付けてください。

5. 前枠・後枠の取付け

5-1 前後枠取付金具（端部アーチ用）の取付け

(1) 前枠側

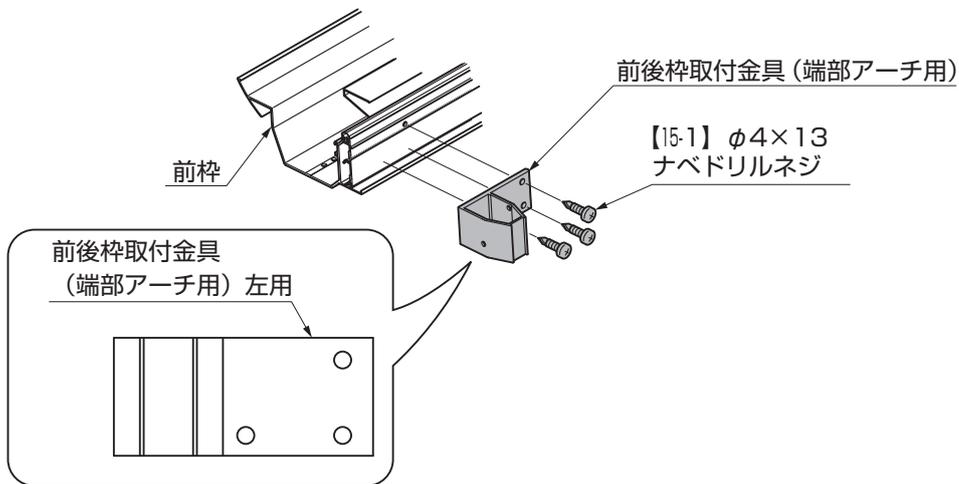


図5-1

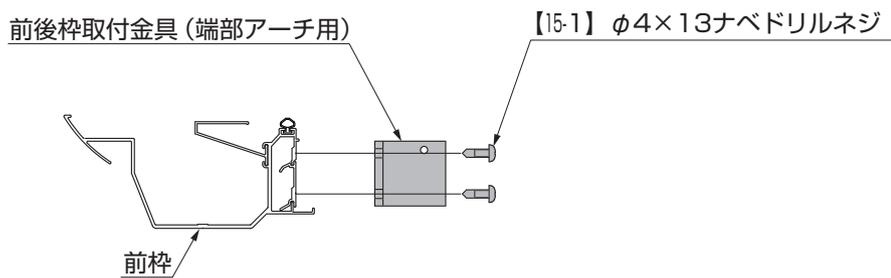


図5-2 ワイド用

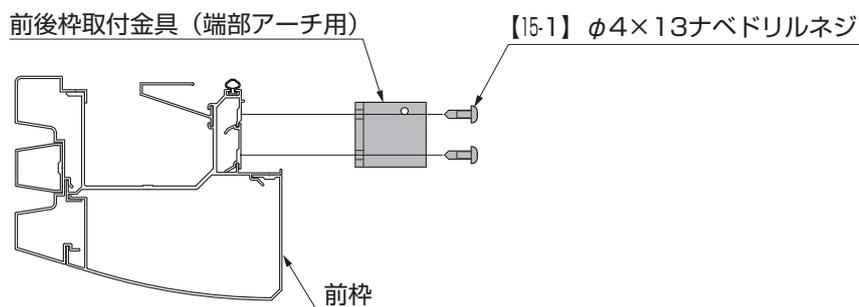


図5-3 プレミアムワイド用

①前枠に前後枠取付金具（端部アーチ用）を【15-1】でV溝に合わせて取付けてください。

ポイント

●図5-1の前後枠取付金具（端部アーチ用）は左用を示します。右用は穴位置が左右対称です。

(2) 後枠側 (ワイド)

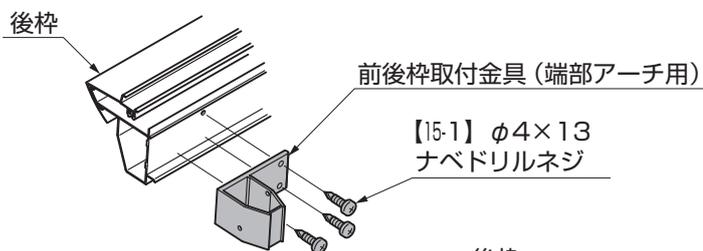


図5-4

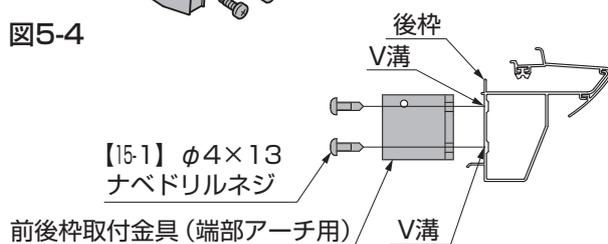


図5-5

- ①後枠に前後枠取付金具 (端部アーチ用) を【15-1】でV溝に合わせて取付けてください。

(3) 後枠側 (プレミアムワイド)

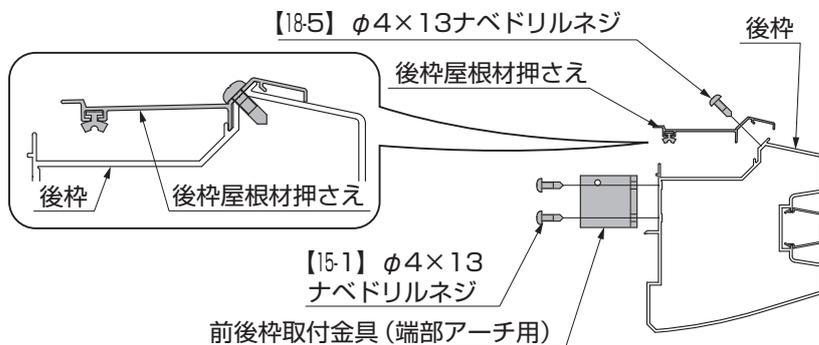


図5-6

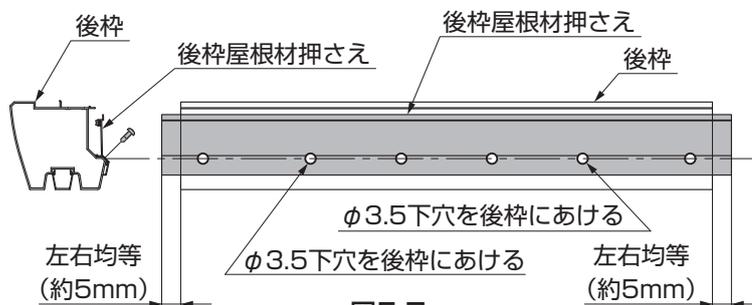


図5-7

- ①後枠に前後枠取付金具 (端部アーチ用) を【15-1】でV溝に合わせて取付けてください。
 ②後枠屋根材押さえを後枠にのせ、左右の出が均等になるよう合わせてください。
 ③均等な位置になったら、後枠屋根材押さえの両端部の穴に、写し穴でφ3.5の下穴を後枠 (V溝位置) にあけ、【185】で取付けてください。
 ④後枠屋根材押さえの残りの穴に【185】で固定してください。

5. (つづき)

5-2 前枠・後枠の取付け

(1) 前枠・後枠の取付け (ワイド、プレミアムワイドの場合)

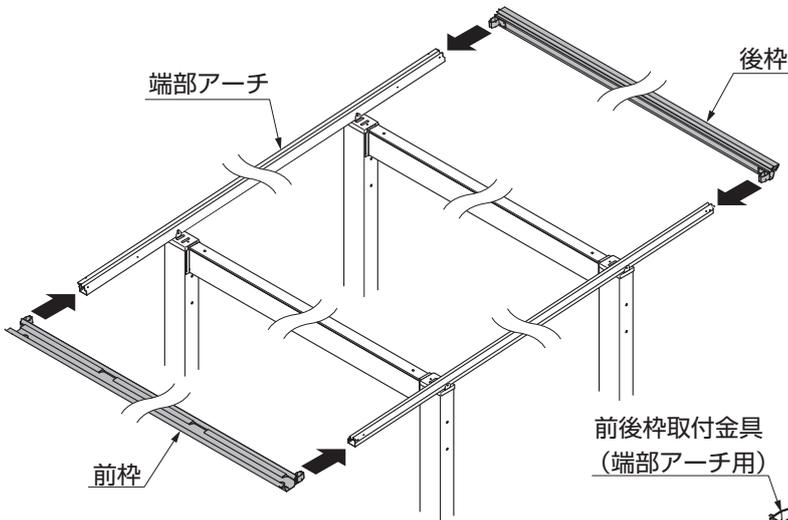


図5-8

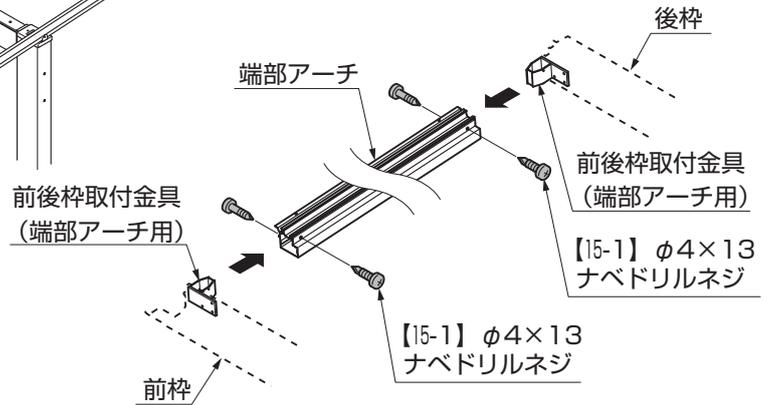


図5-9

- ①前枠を端部アーチに差込み、【15-1】で固定してください。(図5-8、図5-9参照)
- ②後枠を端部アーチに差込み、【15-1】で固定してください。(図5-8、図5-9参照)

(2) 前枠樋端部キャップの取付け (プレミアムワイドの場合)

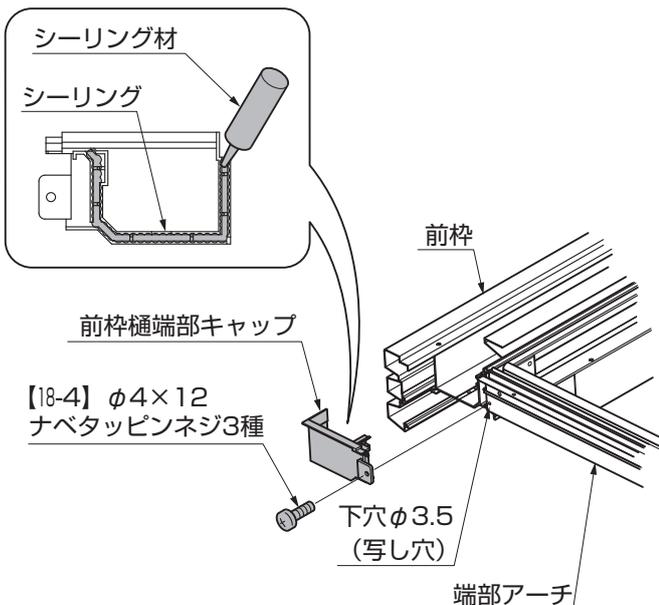


図5-10 前枠樋端部キャップの取付け

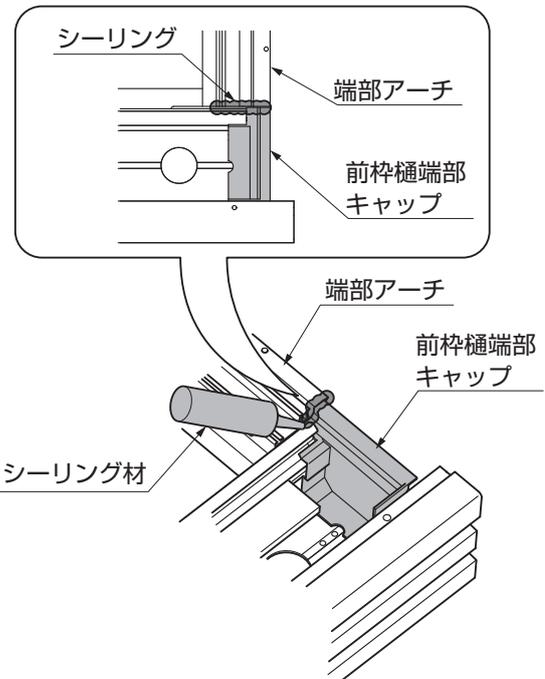


図5-11 シーリング箇所

- ①前枠樋端部キャップにシーリングをしてください。(図5-10参照)
- ②端部アーチにφ3.5の写し穴をあけて、前枠樋端部キャップを【18-4】で取付けてください。(図5-10参照)
- ③前枠樋端部キャップと前枠・端部アーチの連結部にシーリングをしてください。(図5-11参照)

メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

6. 中間アーチの取付け

6-1 前後枠取付金具（中間アーチ用）の取付け

(1) 下穴加工

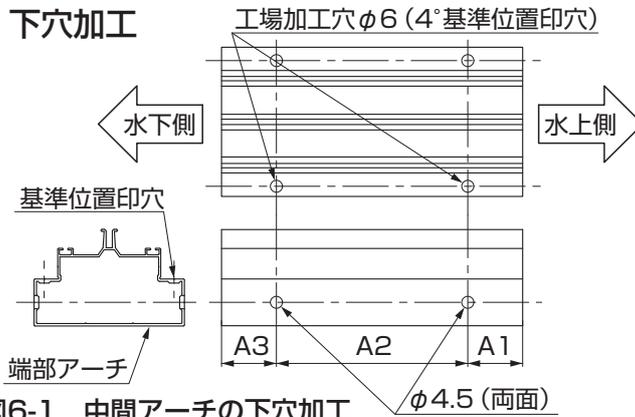


図6-1 中間アーチの下穴加工

表6-1 下穴加工

	屋根角度	A1	A2	A3
L50	4°	919.5	3007	919.5
	5°	919.5	3011	915.5
	6°	919.5	3016	910.5
	7°	919.5	3022	904.5
	8°	919.5	3029	897.5
L57	4°	1122	3308	1122
	5°	1122	3312.5	1117.5
	6°	1122	3318	1112
	7°	1122	3324.5	1105.5
	8°	1122	3332.5	1097.5

① 中間アーチにφ4.5の穴加工をしてください。(図6-1、表6-1参照)

ポイント

- 4°の場合の端部アーチ側面の加工穴位置は、基準位置穴と同位置になります。
- 柱移動した場合の穴あけ位置は「4 基本の施工 4 端部アーチの取付け」を参照してください。

(2) 取付け

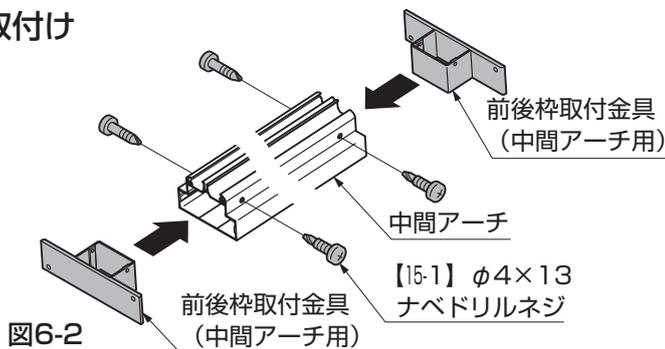


図6-2

① 前後枠取付金具（中間アーチ用）を中間アーチの両端に【15-1】で取付けてください。

6-2 アーチスペーサー（中間用）の取付け

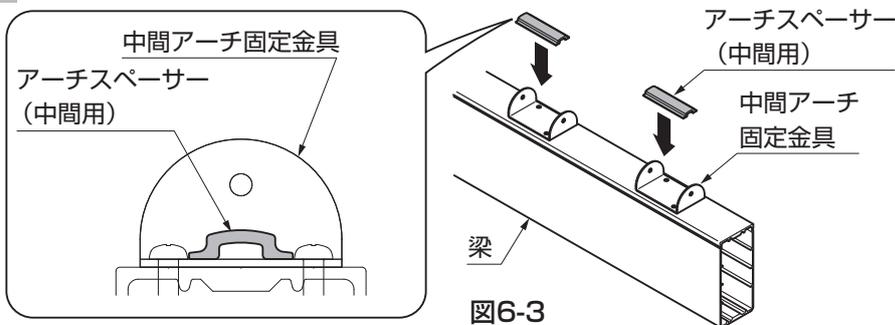


図6-3

① 中間アーチ固定金具にアーチスペーサー（中間用）を置いてください。

ポイント

- アーチスペーサー（中間用）は必ず中間アーチ固定金具の上に置いてください。

6-3 中間アーチの取付け

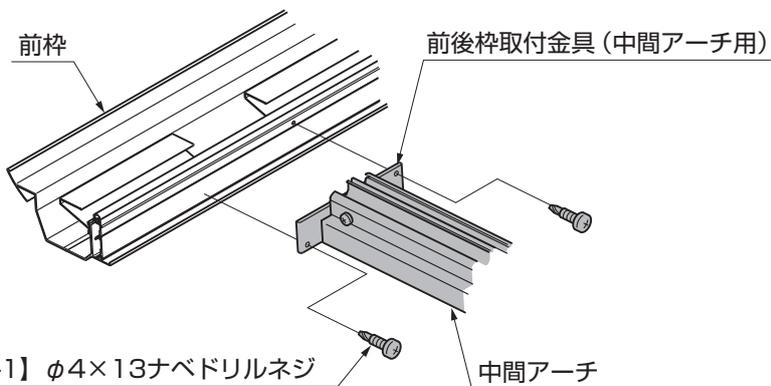


図6-4

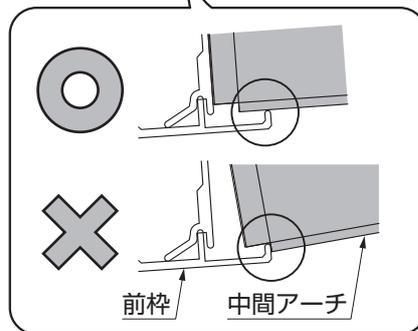
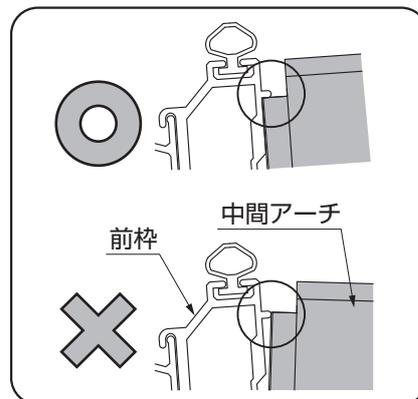
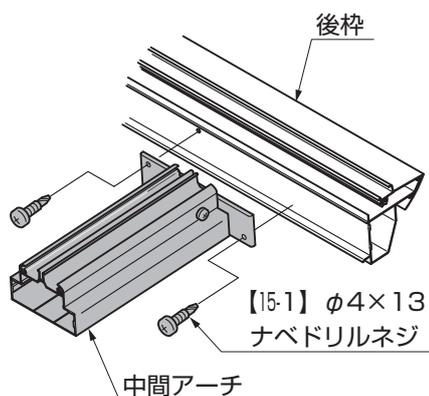


図6-5

【15-1】 φ4×13 ナベドリルネジ

中間アーチ

中間アーチ(※1)



後枠

【15-1】 φ4×13
ナベドリルネジ

中間アーチ

① 中間アーチを、前枠・後枠に【15-1】で取付けてください。

ポイント

- 中間アーチの取付けは中央部から取付けてください。(※1)
- 前枠・後枠の下穴は片側(上段の穴)のみあいています。
- 前後枠取付金具(中間アーチ用)取付ける際は、前枠のフィンに乗り上げないようにしてください。(図6-5参照)
- 中間アーチの小口が前枠のフィンに引っ掛からないようにしてください。(図6-5参照)

6-4 中間アーチの固定

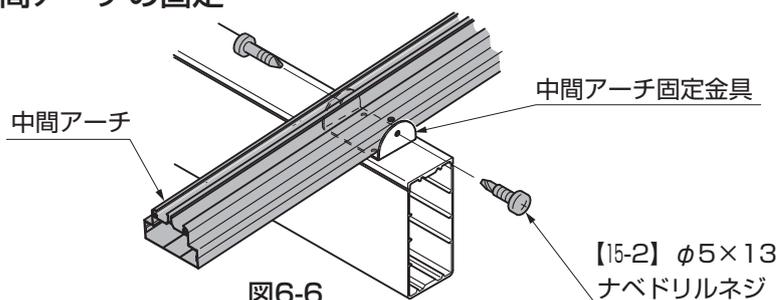


図6-6

① 中間アーチを中間アーチ固定金具に【15-2】で固定してください。

7. 前枠コーナーキャップの差込み ※ワイドタイプの場合の作業です。

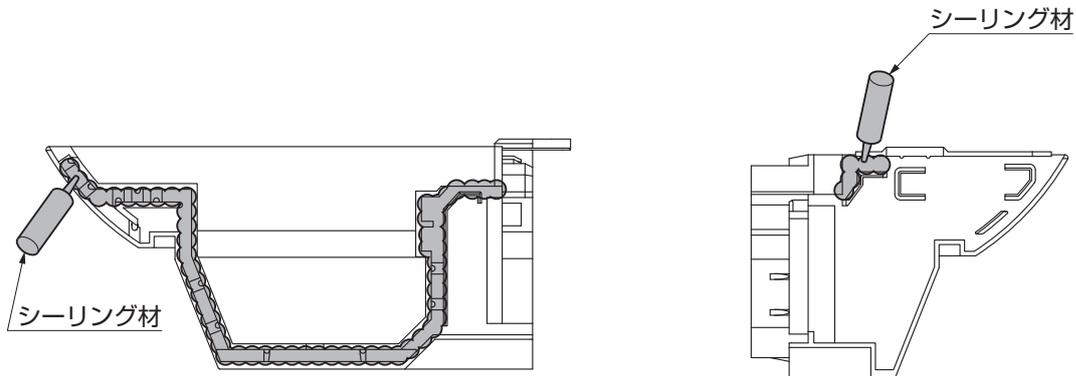


図7-1 前枠コーナーキャップのシーリング箇所

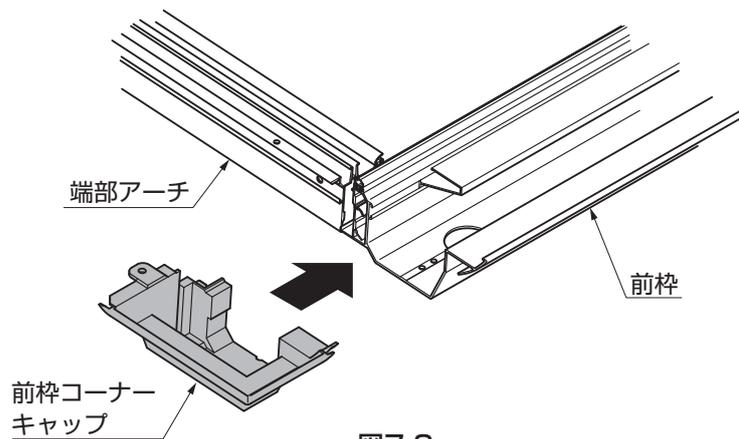


図7-2

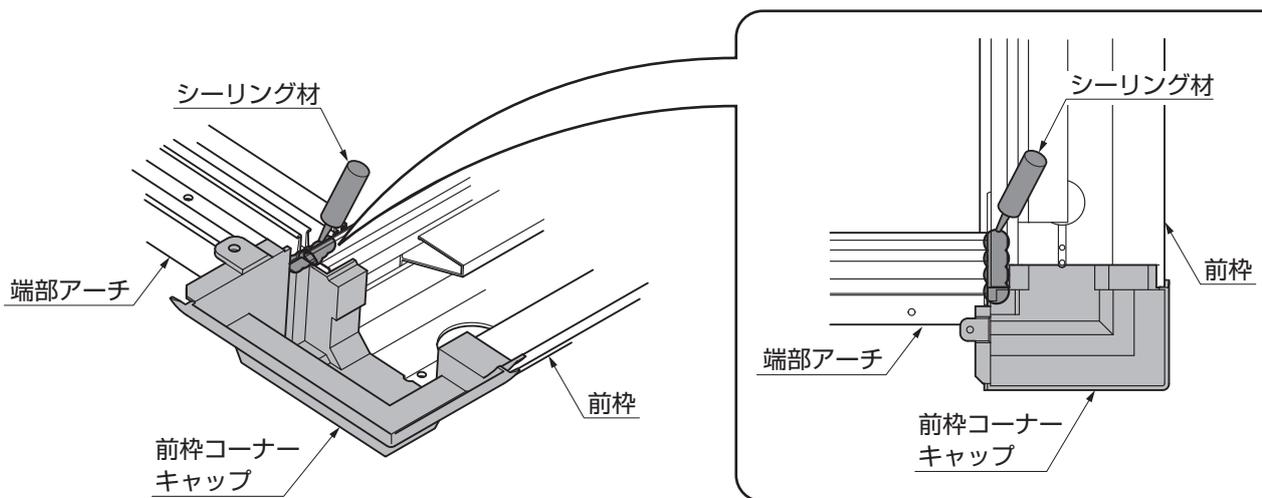


図7-3 シーリング箇所

- ①前枠コーナーキャップにシーリングをしてください。(図7-1参照)
- ②前枠コーナーキャップを前枠に挿入してください。(図7-2参照)
- ③前枠コーナーキャップにシーリングをしてください。(図7-3参照)

8. 中骨の取付け

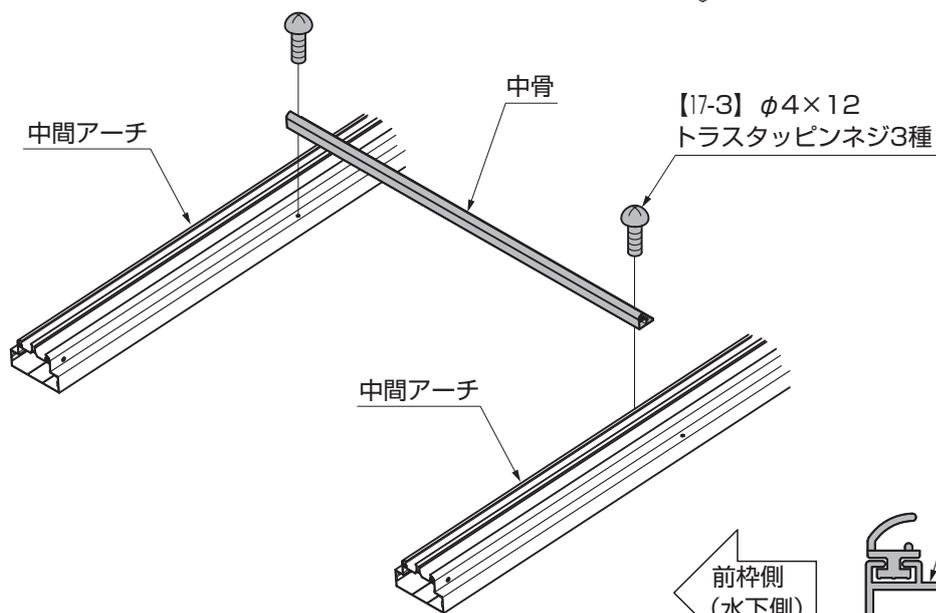
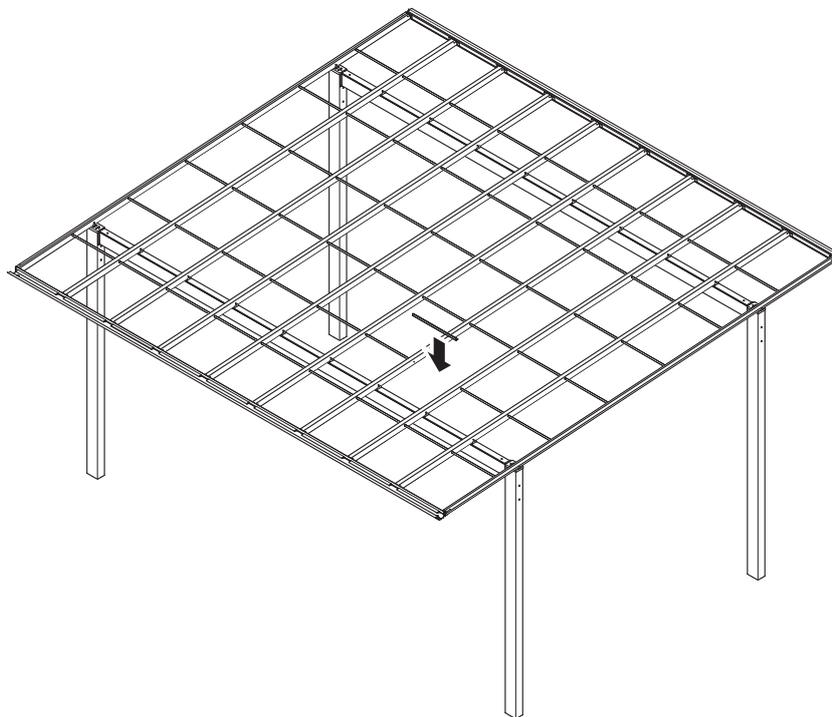


図8-1

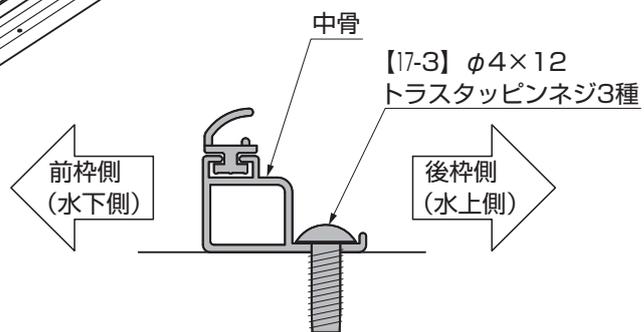


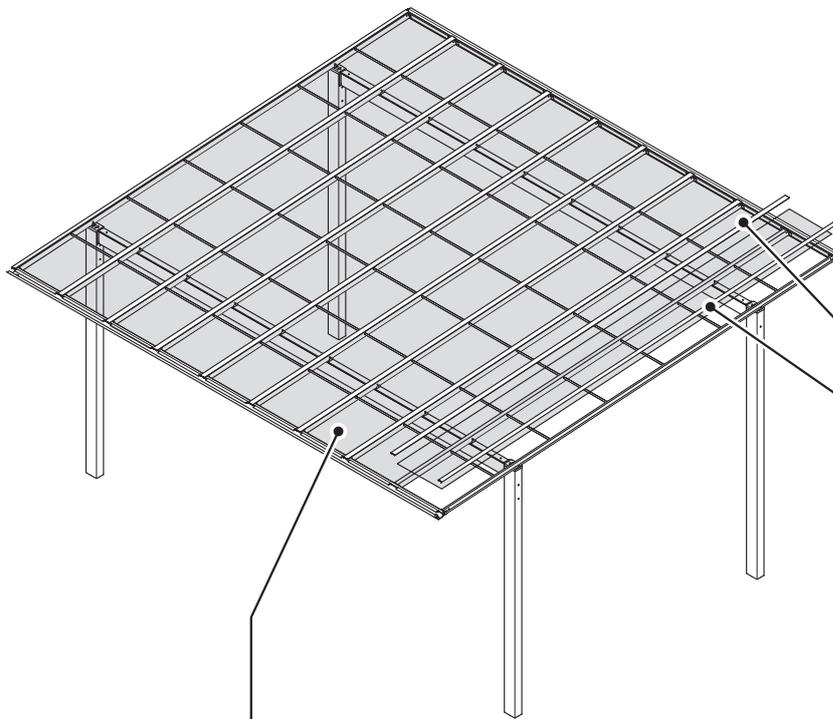
図8-2 中骨の向き

①中骨を中間アーチ、端部アーチに【17-3】で取付けてください。

 補足

●中骨は取付け向きがありますので、向きを確認してください。

9. 屋根材の取付け



9-1 屋根材の取付け

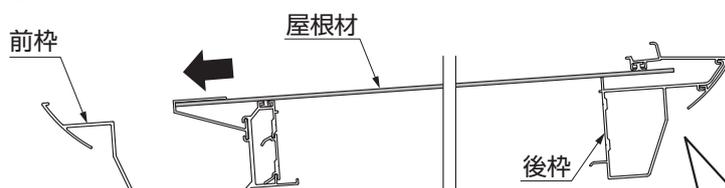


図9-1

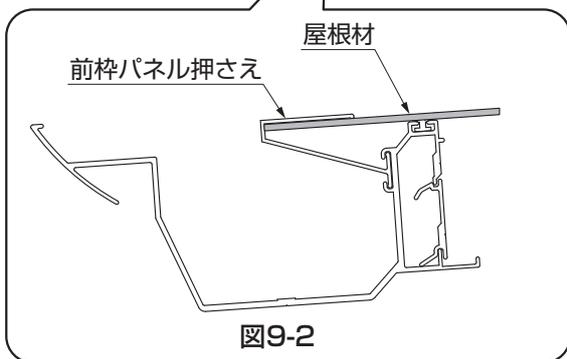


図9-2

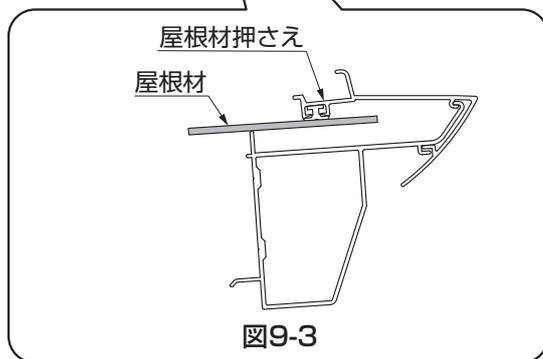


図9-3

① 屋根材を後枠の屋根材押さえに差込み、前枠パネル押さえに差込んでください。

ポイント

- 屋根材は前枠パネル押さえに突き当ててください。
- アーチ部ののみ込み寸法は、左右均等にしてください。
- 屋根材は必ず裏表を確認し、保護シートをはがしてから取付けてください。
- 屋根材押さえの端部が、後枠の端部から外側にはみ出ないようにしてください。

9-2 アーチカバーの取付け

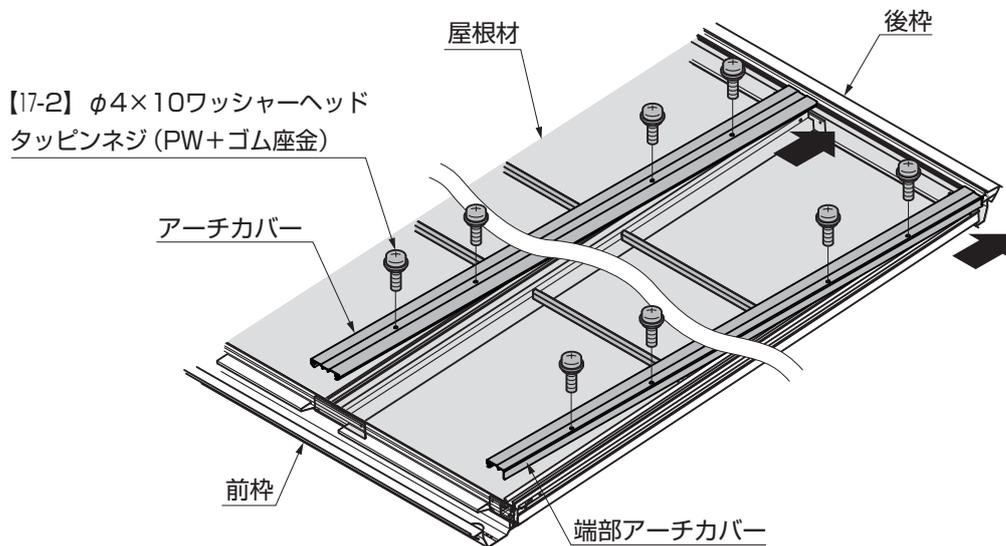


図9-4 アーチカバーの取付け

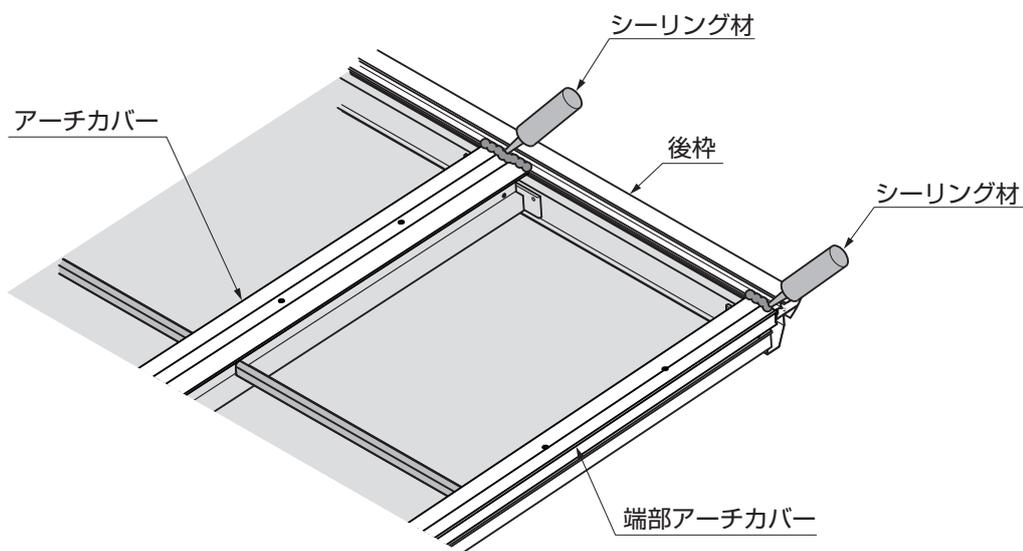


図9-5 シーリング箇所

②アーチカバー、端部アーチカバーを後枠に突き当てて、後枠側からアーチ、端部アーチに【17-2】で取付けてください。(図9-4参照)

ポイント

●アーチがかみ合っていることを確認してください。

③後枠と中間アーチカバーの間、端部アーチカバーの間にシーリング材を充てんしてください。(図9-5参照)

10. 端部アーチ側枠、コーナーキャップの取付け

10-1 ワイドタイプの場合

(1) 端部アーチ側枠の仮置き

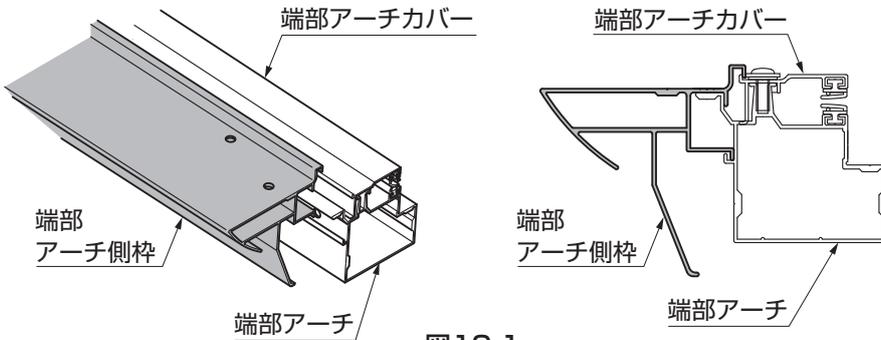


図10-1

①端部アーチに端部アーチ側枠を仮置きします。

(2) 前枠コーナーキャップのシーリング

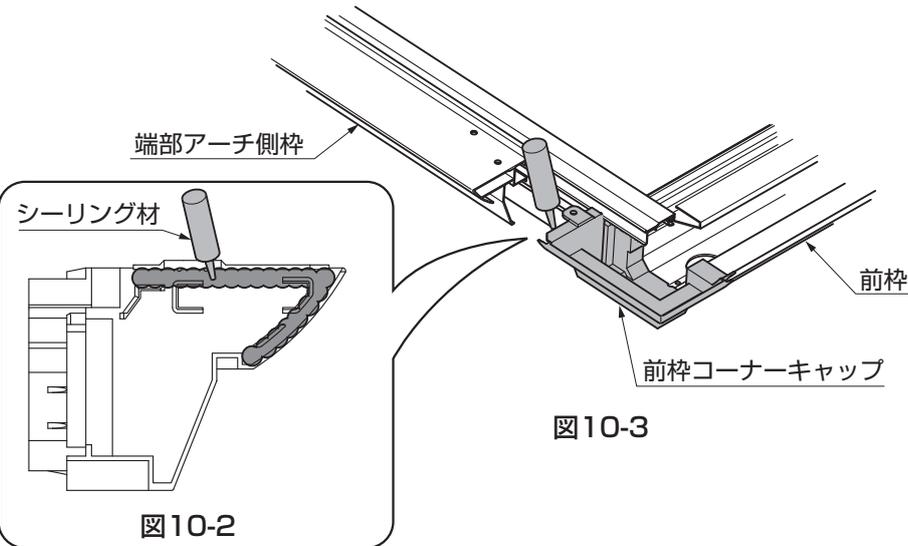


図10-3

①前枠コーナーキャップにシーリングをしてください。

(3) 端部アーチ側枠の固定

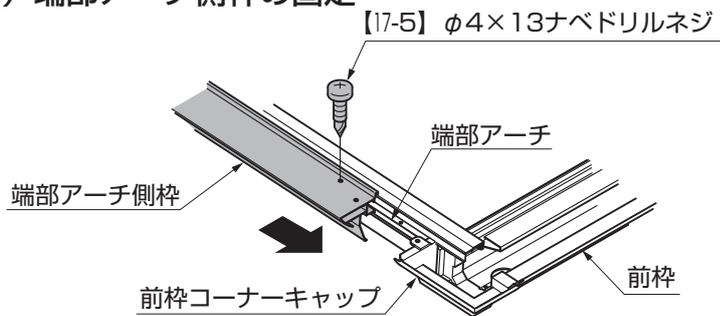
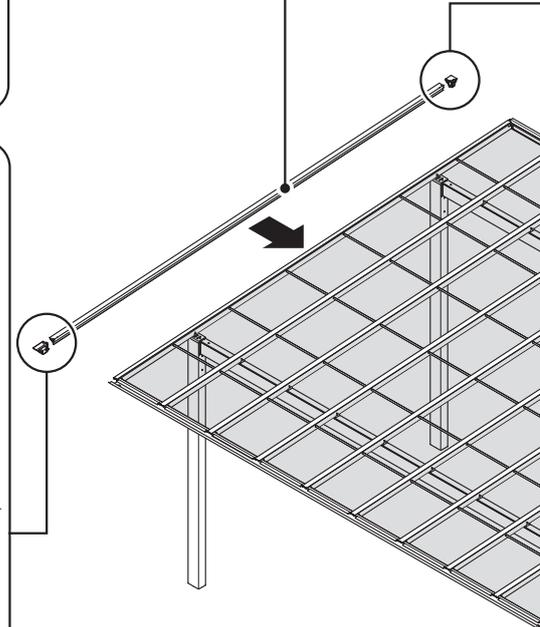


図10-4

①端部アーチ側枠をずらして前枠コーナーキャップに突き当ててください。

②端部アーチ側枠を端部アーチに【17-5】で取付けてください。



(4) 前枠コーナーキャップの固定

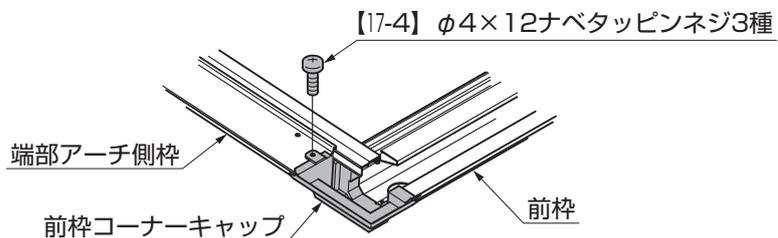


図10-5

①前枠コーナーキャップを端部アーチ側枠に【17-4】で固定してください。

(5) 後枠コーナーキャップの取付け



図10-6 後枠コーナーキャップのシーリング箇所

【17-4】 φ4×12ナベタッピンネジ3種

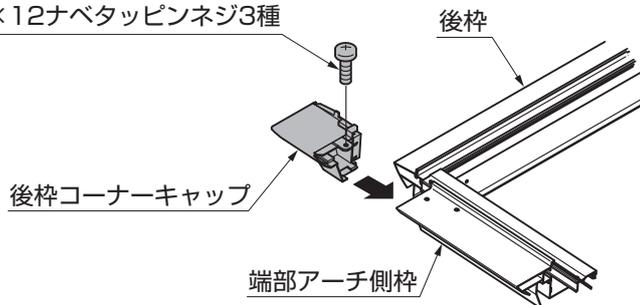


図10-7

- ①後枠コーナーキャップにシーリングをしてください。(図10-6参照)
- ②後枠コーナーキャップを後枠に差込み、端部アーチ側枠に【17-4】で固定してください。

(6) 前枠・後枠コーナーキャップのシーリング

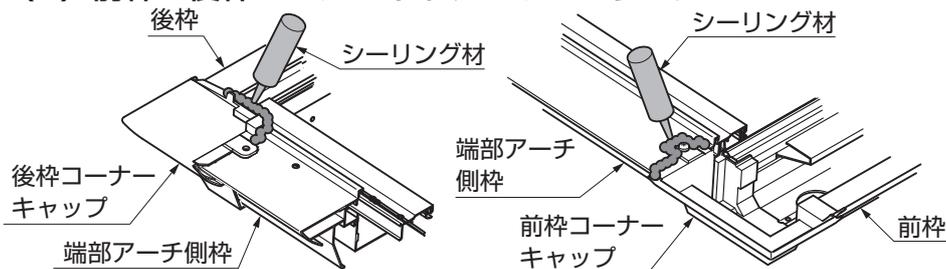


図10-8 後枠側

図10-9 前枠側

①前枠コーナーキャップ、後枠コーナーキャップにシーリングをしてください。

10. (つづき)

10-2 プレミアムワイドの場合

(1) 側枠受け材の加工

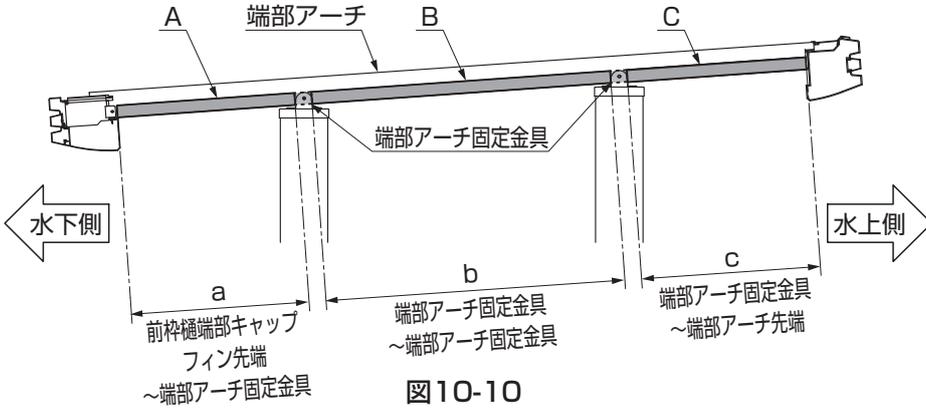


図10-10

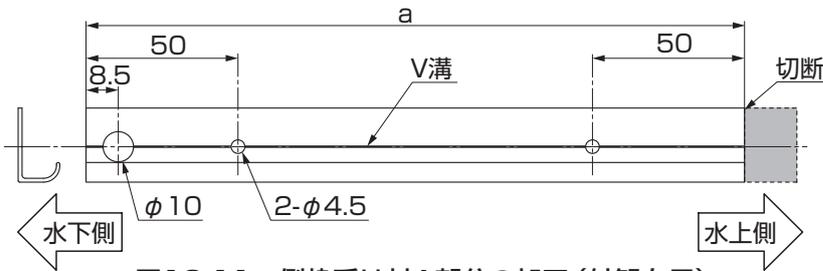


図10-11 側枠受け材A部分の加工 (外観右用)

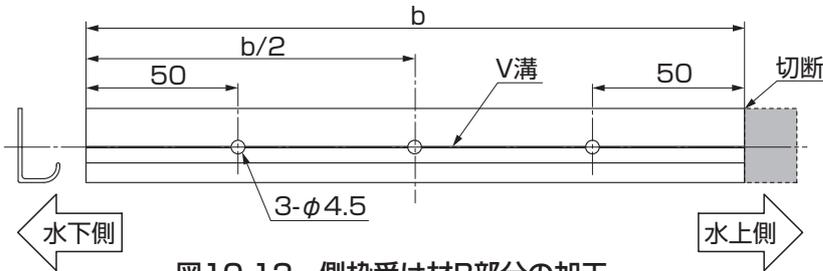


図10-12 側枠受け材B部分の加工

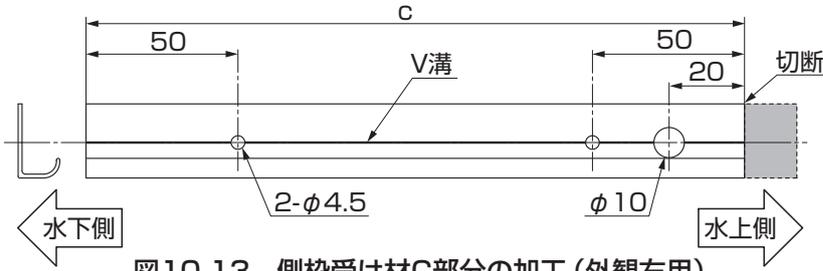
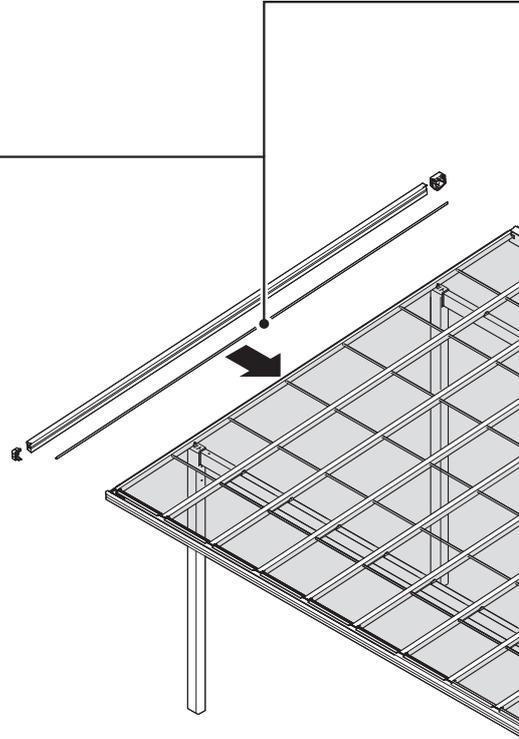


図10-13 側枠受け材C部分の加工 (外観右用)

- ①側枠受け材を端部アーチ固定金具の位置に合わせて切断、加工してください。
(図10-10、図10-11、図10-12、図10-13参照)

ポイント

- 図10-11、図10-13は右用です。左用は左右対称となります。
- 図10-12は左右共通です。



(2) 側枠受け材の取付け

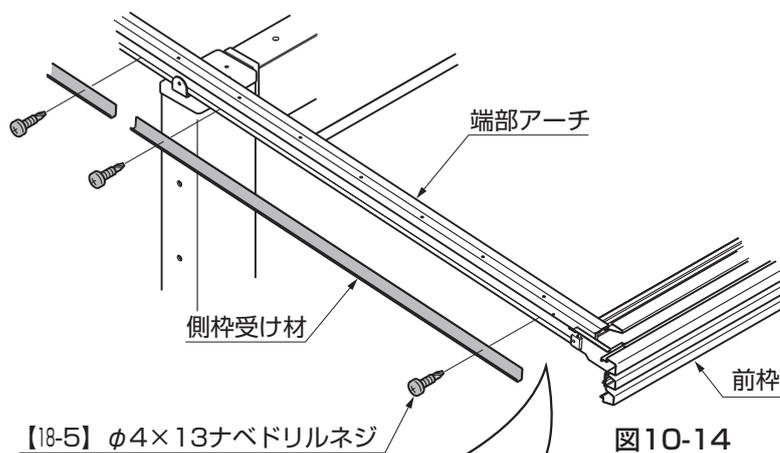


図10-14

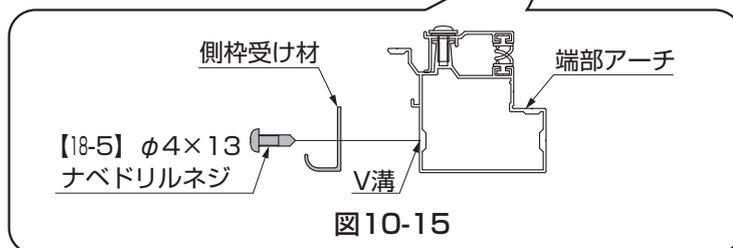


図10-15

②側枠受け材を端部アーチに【18-5】で固定してください。

ポイント

- 端部アーチのV溝をねらって【18-5】を取付けてください。(図10-15参照)

(3) 端部アーチ側枠の取付け

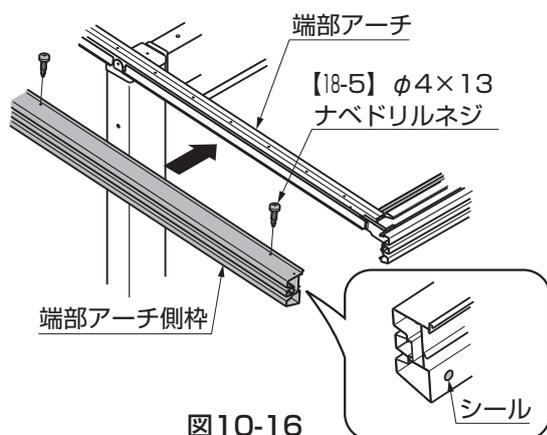


図10-16

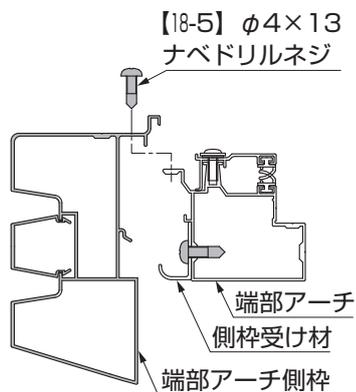


図10-17

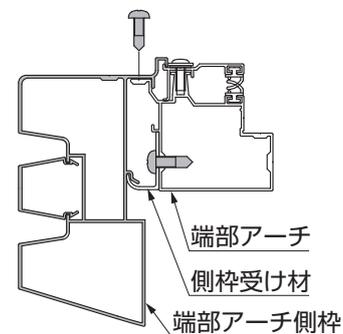


図10-18

①端部アーチ側枠を端部アーチに【18-5】で取付けてください。(図10-16、図10-17参照)

ポイント

- 端部アーチ側枠には左右があります。丸いシールの張ってある方を水下側にして取付けてください。(図10-16参照)
- 端部アーチ側枠を側枠受け材に引っ掛かるようにして取付けてください。(図10-18参照)

10. (つづき)

10-2 つづき

(4) 前枠コーナーキャップ・後枠コーナーキャップの取付け

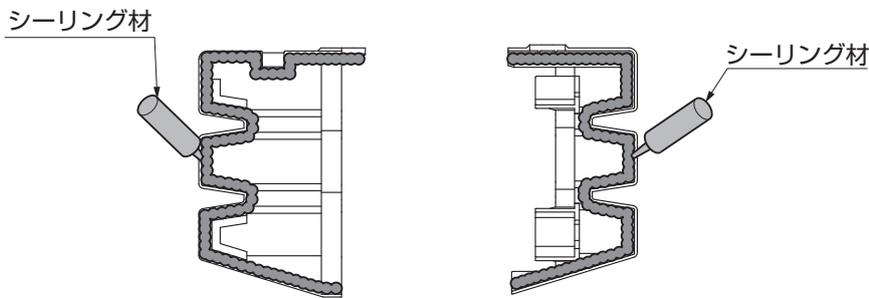


図10-19 前枠コーナーキャップ シーリング箇所

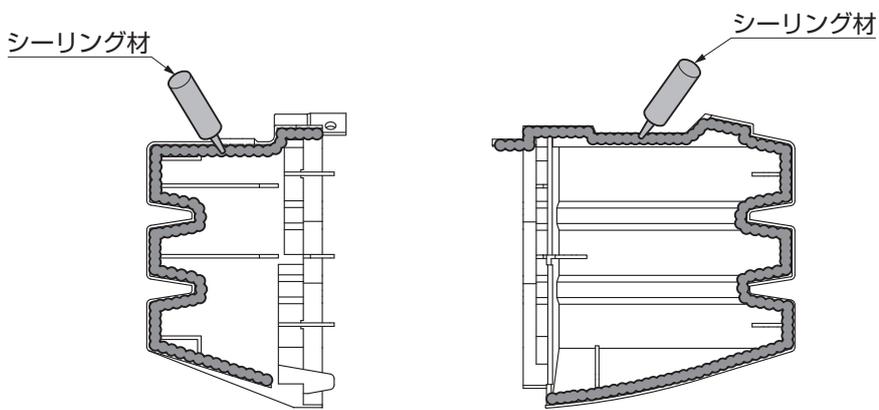


図10-20 後枠コーナーキャップ シーリング箇所

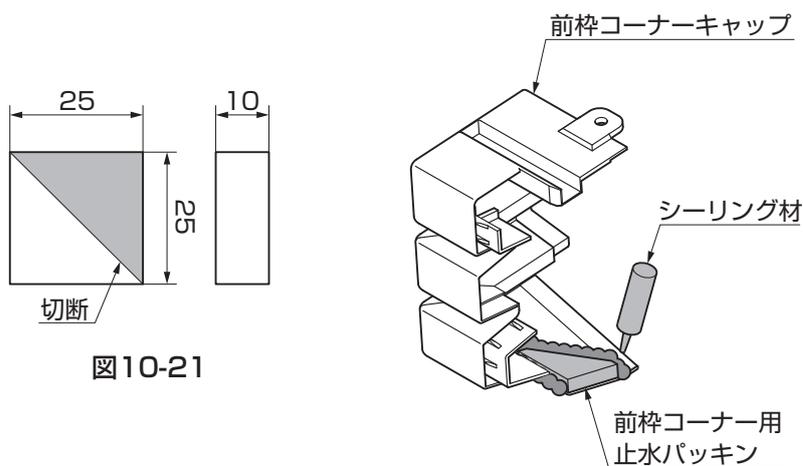
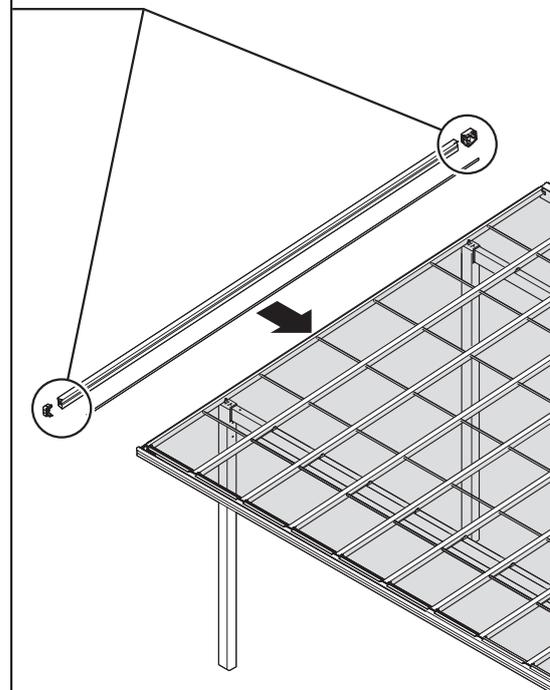
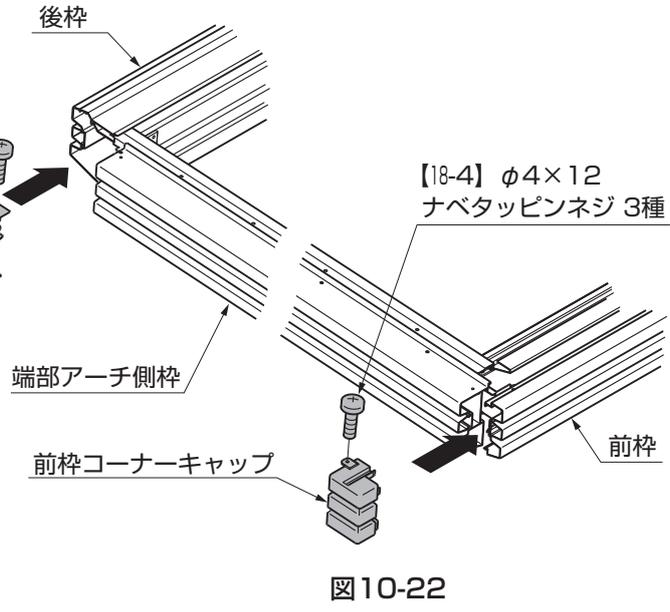
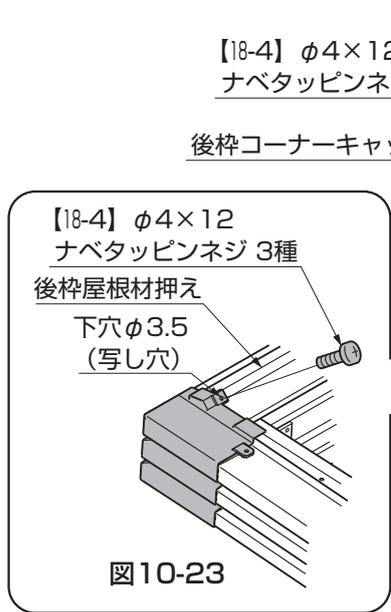


図10-21

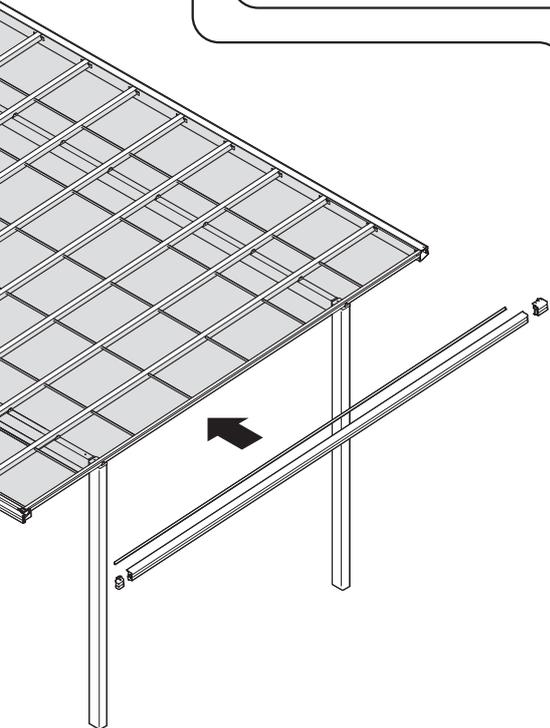
- ①前枠コーナーキャップと後枠コーナーキャップにシーリングをしてください。
- ②前枠コーナー用止水パッキンを切断して、前枠コーナーキャップに張付けてください。
- ③前枠コーナー用止水パッキンにシーリングをしてください。



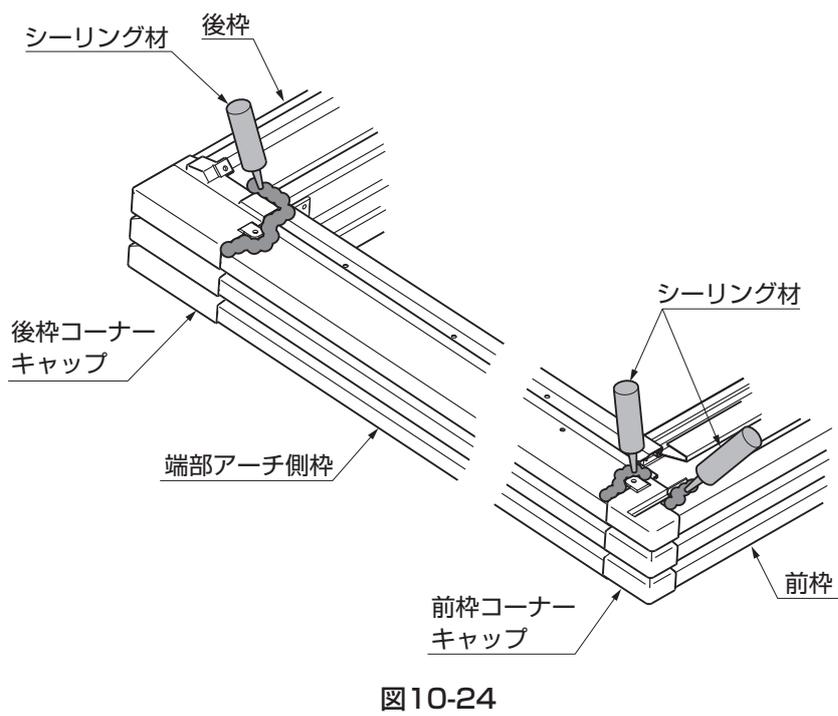
(4) つづき



- ④前枠コーナーキャップを端部アーチ側枠に【18-4】で固定してください。
- ⑤後枠コーナーキャップを端部アーチ側枠に【18-4】で固定してください。
- ⑥後枠、後枠屋根材押えに後枠コーナーキャップの穴から写し穴φ3.5の下穴をあけ、【18-4】で固定してください。(図10-23参照)



(5) 前枠・後枠コーナーキャップのシーリング

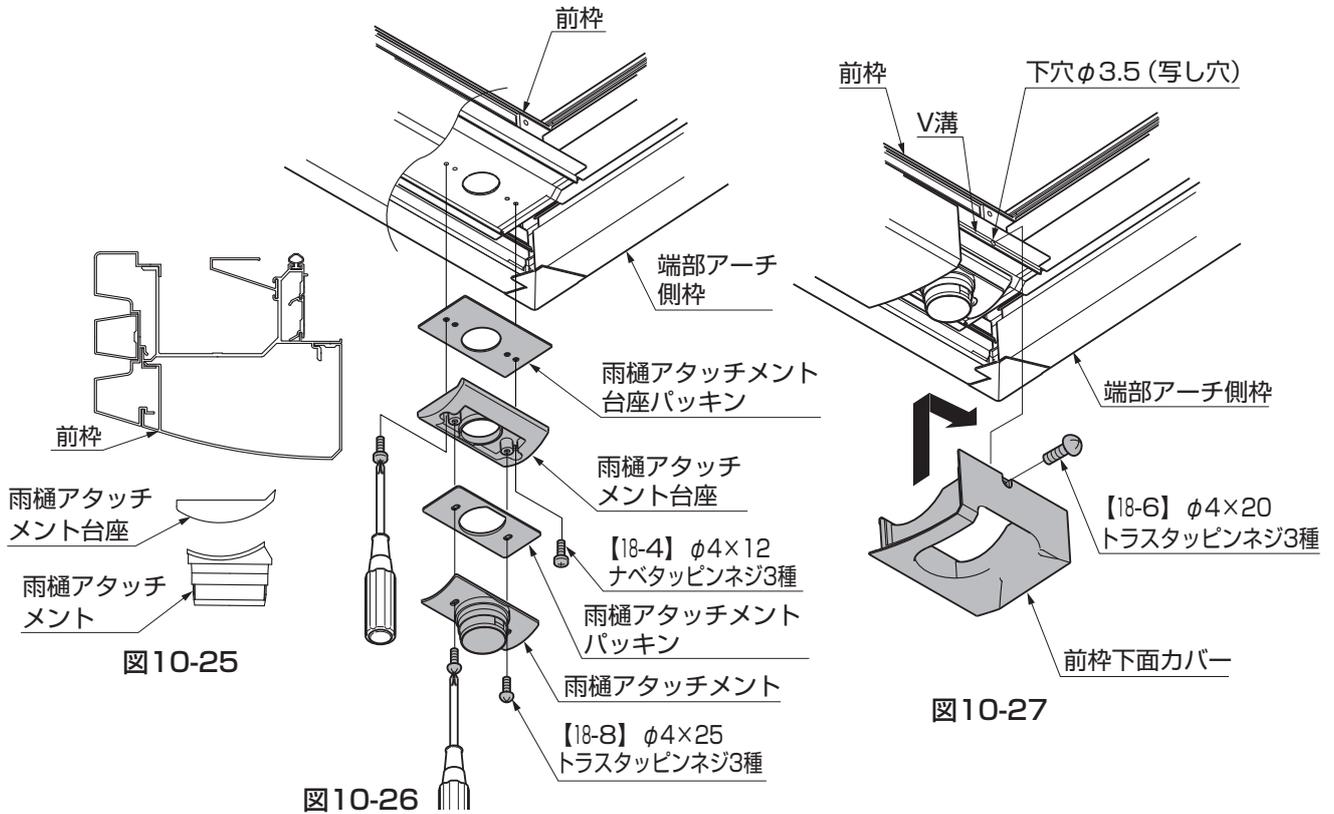


- ①前枠コーナーキャップ、後枠コーナーキャップにシーリングをしてください。

10. (つづき)

10-2 (つづき)

(6) 前枠下面カバーの取付け



- ①雨樋アタッチメント台座、雨樋アタッチメント台座パッキンを前枠に【18-4】で取付けてください。
- ②雨樋アタッチメント、雨樋アタッチメントパッキンを雨樋アタッチメント台座に【18-6】で取付けてください。

ポイント

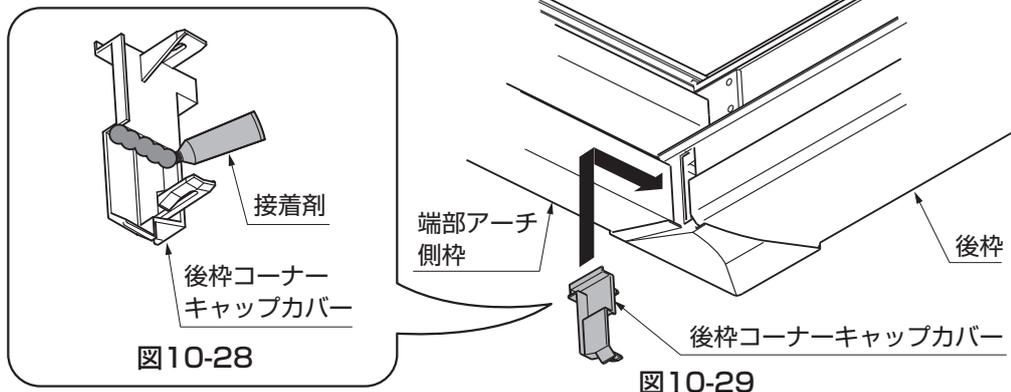
- 【18-4】、【18-8】のネジは、ハンドドライバーで取付けてください。

- ③下穴φ3.5の写し穴をあけ、前枠下面カバーを前枠のV溝の位置に【18-6】で取付けてください。

ポイント

- 前枠下面カバーは端部アーチ側枠側に突き当てて取付けてください。

(7) 後枠コーナーキャップカバーの取付け



- ①後枠コーナーキャップカバーに接着剤を塗ってください。(図10-28参照)
- ②後枠コーナーキャップカバーを端部アーチ側枠と後枠のすき間に取付けてください。

11. 縦樋の取付け

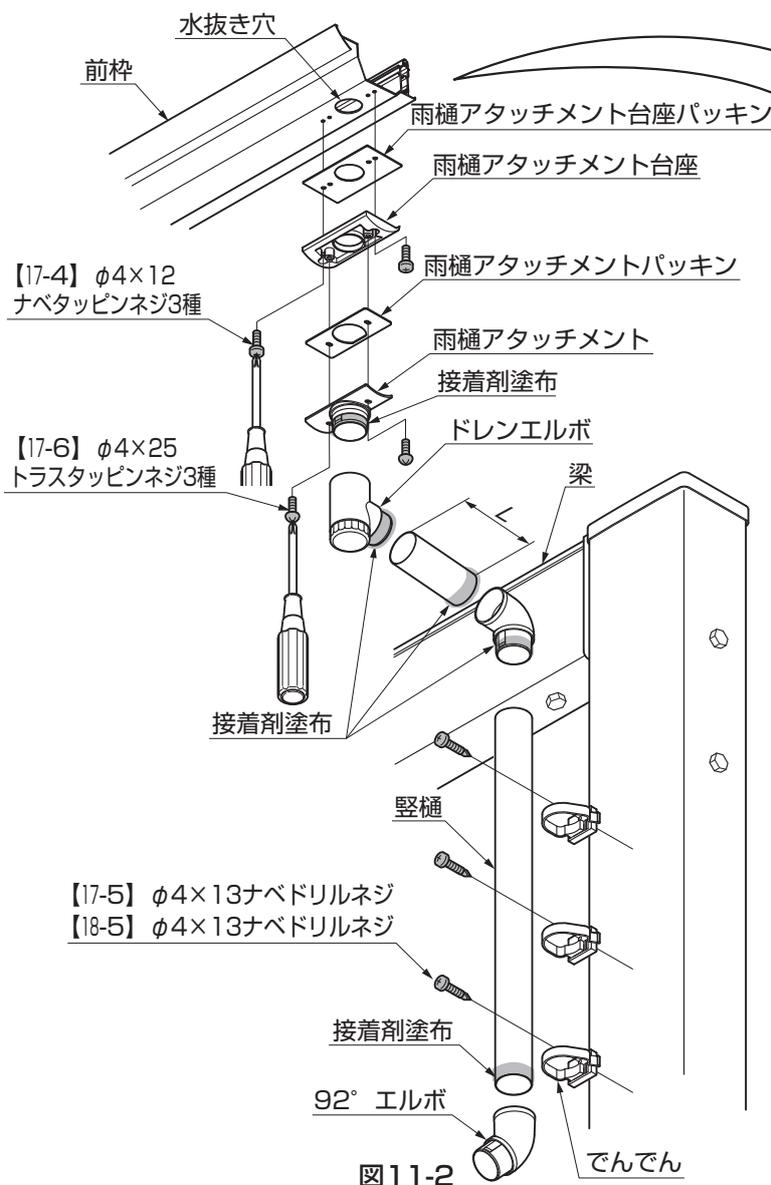


図11-2

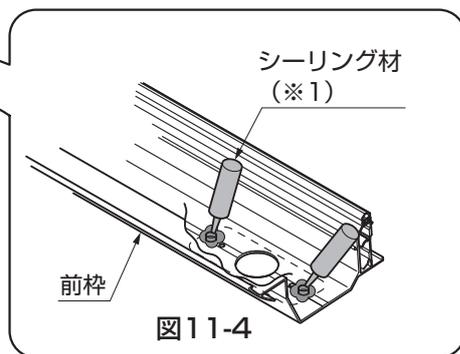
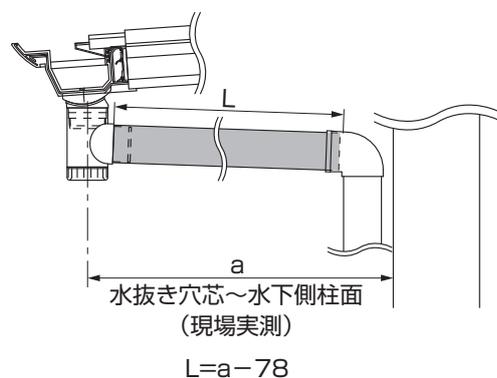


図11-4



$$L=a-78$$

図11-1

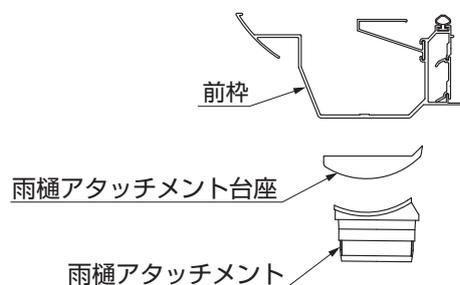


図11-3

① 縦樋を切断してください。(図11-1参照)

ポイント

● 雨樋アタッチメント台座、雨樋アタッチメントには取付ける向きがあります。(図11-3参照)

② 雨樋アタッチメント台座、雨樋アタッチメント台座パッキンを前枠両端の水抜き穴に【17-4】で取付けてください。

③ 雨樋アタッチメント、雨樋アタッチメントパッキンを雨樋アタッチメント台座に【17-6】で取付けてください。

ポイント

● 【17-4】、【17-6】のネジは、ハンドドライバーで取付けてください。

● プレミアムワイドの場合は雨樋アタッチメント台座、雨樋アタッチメント台座パッキン、雨樋アタッチメント、雨樋アタッチメントパッキンを【18-4】、【18-8】で既に取付けた状態です。

④ でんでんを【17-5】または【18-5】で、ドレンエルボ、縦樋、92°エルボを接着剤で取付けてください。

⑤ ネジ部にシーリングをしてください。(※1) (図11-4参照)

ポイント

● 屋根角度に応じてドレンエルボが地面に対しておよそ垂直になるよう【17-6】のねじを緩めて雨樋アタッチメントの取付け角度を調整してください。

5 ワイド延長梁の施工方法

1. 基礎の施工 ※図は水下延長の場合です。水上延長の場合は、水上側に延長梁の柱の基礎の位置出しをしてください。

1-1 基礎位置の墨出し

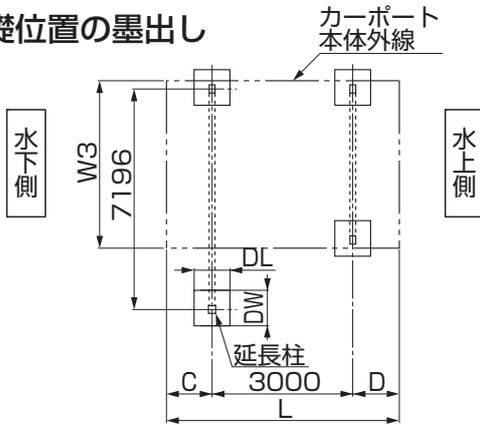


図1-1 54-50サイズ

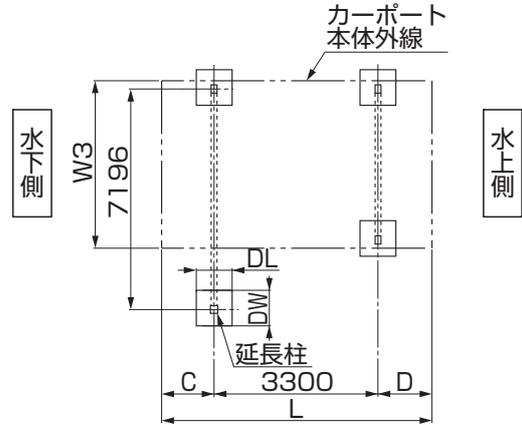


図1-2 54-57サイズ

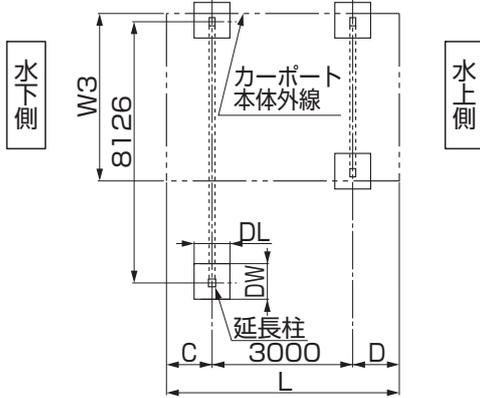


図1-3 60-50サイズ

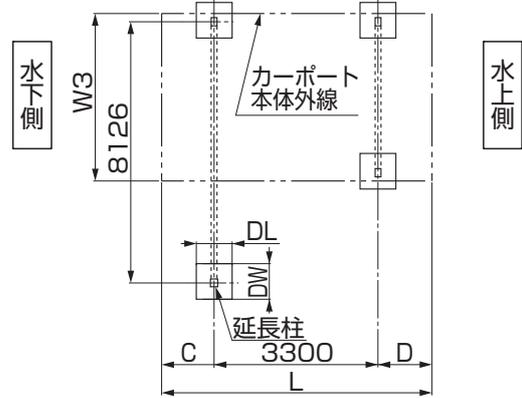


図1-4 60-57サイズ

表1-1 ワイドタイプ

サイズ	θ	W3		L	C	D	DW	DL
		W54	W60					
L70	4°	5441	6031	5019	1036	983	800	700
	5°			5012	1031	981		
	6°			5004	1025	979		
	7°			4994	1018	976		
	8°			4982	1009	973		
L80	4°	5441	6031	5723	1238	1185	800	800
	5°			5715	1233	1183		
	6°			5706	1226	1180		
	7°			5694	1217	1177		
	8°			5681	1208	1174		

表1-2 プレミアムワイドタイプ

サイズ	θ	W3		L	C	D	DW	DL
		W54	W60					
L70	4°	5438	6028	5058	1033	1025	800	700
	5°			5053	1028	1025		
	6°			5046	1022	1024		
	7°			5037	1014	1023		
	8°			5027	1006	1021		
L80	4°	5438	6028	5762	1235	1227	800	800
	5°			5756	1230	1226		
	6°			5748	1223	1225		
	7°			5738	1214	1224		
	8°			5726	1204	1122		

①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

注意

- 柱の移動は当社指定範囲内にしてください。

ポイント

- 構造計算書を添付して建築確認申請をおこなっている場合、構造計算書の基礎寸法で施工してください。

補足

- 柱の移動は±100mm以内ですが柱芯々寸法が±100mm以内になるようにしてください。

1-2 基礎寸法

(1) 偏芯基礎部材を使用の場合

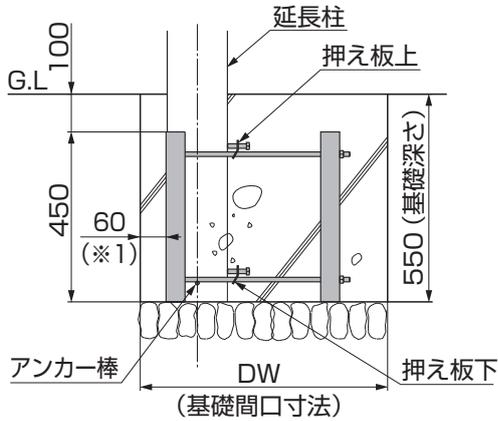


図1-3

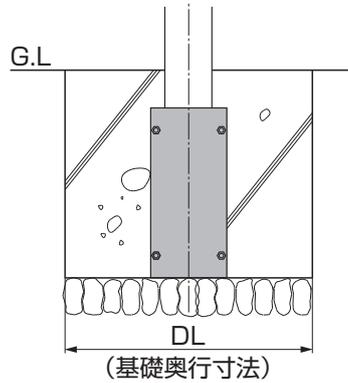


図1-4

表1-3

サイズ呼称	DW	DL
70・80	50	700
	57	800

ポイント

- タテ材Aの外側から基礎端面の寸法です。(※1)

(2) 土間コンクリート併用基礎を使用の場合

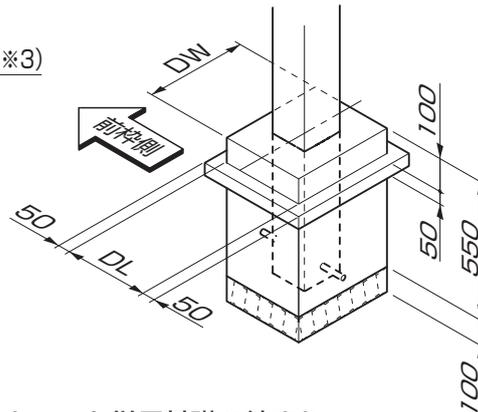
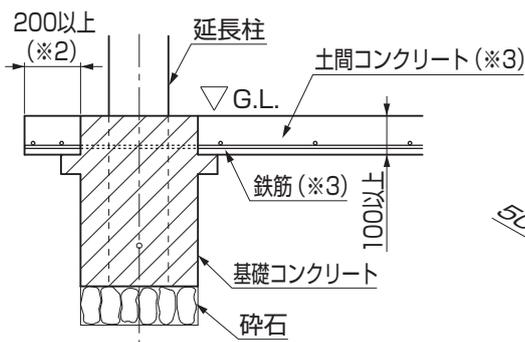


図1-5 土間コンクリート併用基礎の納まり

表1-4

サイズ呼称	DW	DL
50・57	400	350

ポイント

- 基礎上面と土間コンクリートの縁端距離は200mm以上になるようにしてください。(※2)
- 土間コンクリートには、鉄筋を敷設してください。(※3)
- 構造計算書を添付して建築確認申請をおこなっている場合、構造計算書の基礎寸法で施工してください。

補足

- 延長の場合を示します。主柱は「4 基本の施工方法 1. 基礎の施工 1-2 基礎寸法」を参照してください。

2. 延長梁の取付け

2-1 柱の建込み

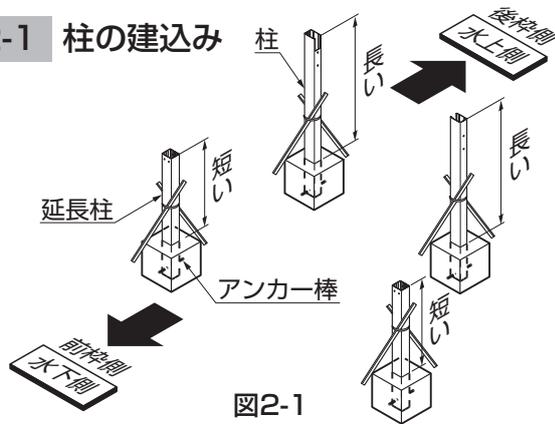


図2-1

①柱を基礎に建込んでください。

ポイント

- 柱が短い方が水下側、柱が長い方が水上側になるようにしてください。
- 図は水下延長の場合です。水上延長の場合は延長柱は水上側に建込んでください。
- 基礎固めは、柱に延長梁を取付けてから行ってください。

補足

- 図は延長柱を示します。標準の主柱は、「4 基本の施工方法 2. 柱の建込み」を参照してください。
- 延長柱を奥行き方向に移動する場合は、「4 基本の施工方法 2. 柱の建込み」を参照してください。

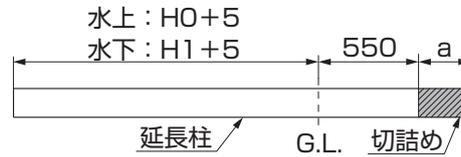


図2-2 柱の基礎埋込み寸法

2-2 梁スペーサー(上)、梁スペーサー(下)の取付け

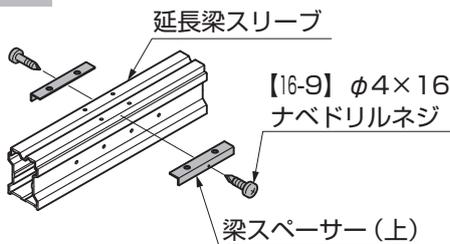


図2-3

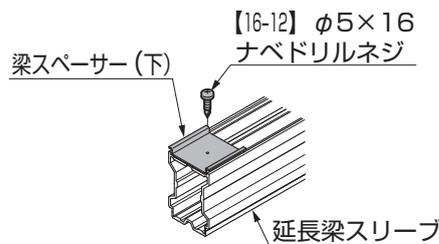


図2-4

①梁スペーサー(上)を延長梁スリーブに【16-9】で取付けてください。(図2-3参照)

注意

- 必ず延長梁スリーブに梁スペーサー(上)を取付けてください。強度低下・製品破損のおそれがあります。

ポイント

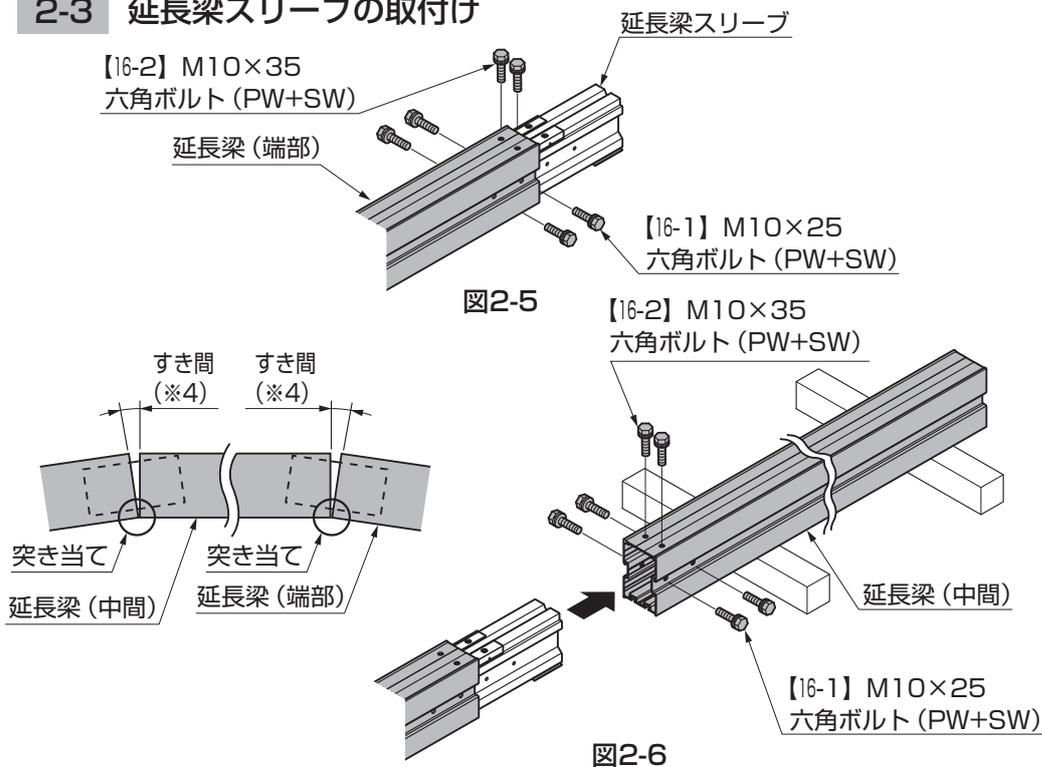
- 梁スペーサー(上)の穴と延長梁スリーブの穴が合うように取付けてください。
- 梁スペーサー(上)が浮かないように取付けてください。

②梁スペーサー(下)を延長梁スリーブに【16-12】で取付けてください。(図2-4参照)

ポイント

- 梁スペーサー(下)は延長梁スリーブの端部に合わせて取付けてください。

2-3 延長梁スリーブの取付け

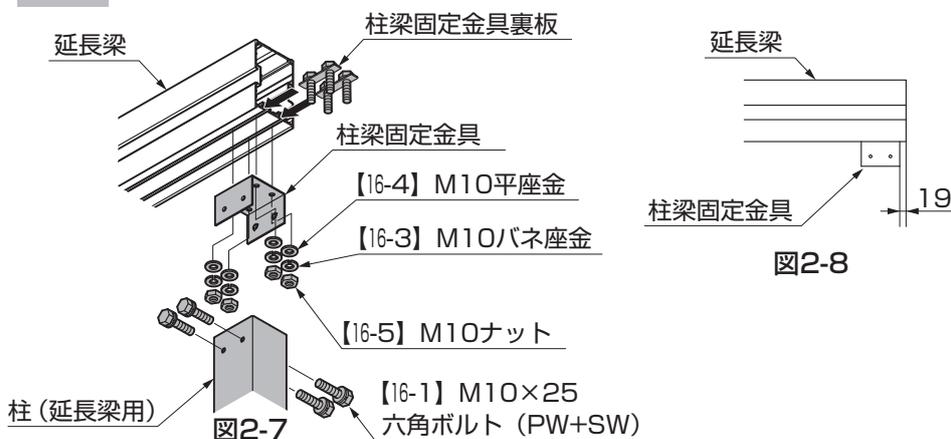


- ①延長梁スリーブを延長梁（端部）に【16-1】で取付けてください。（図2-5参照）
- ②延長梁（端部）を延長梁（中間）の両端に【16-1】、【16-2】で取付けてください。（図2-6参照）

ポイント

- 延長梁（中間）はタテ置きに置いてください。
- 延長梁（中間）の下に、かませもの（フカシ材）をしてください。
- 延長梁スリーブは先に延長梁（端部）に取付けた後、延長梁（中間）に取付けてください。
- 延長梁（端部）と延長梁（中間）の連結部分の上には若干すき間があきます。（※4）

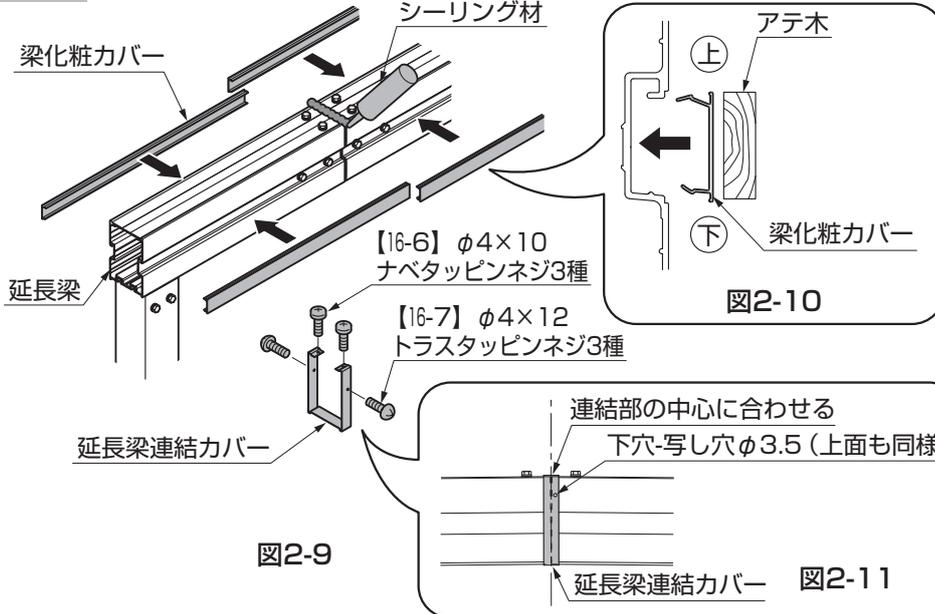
2-4 柱（延長梁用）の取付け



- ①延長梁のボルトホールに梁固定金具裏板を挿入し、柱梁固定金具を【16-3】、【16-4】、【16-5】で取付けてください。（図2-7参照）
- ②延長梁を柱に【16-1】で取付けてください。

2. (つづき)

2-5 梁化粧カバー、梁連結カバーの取付け

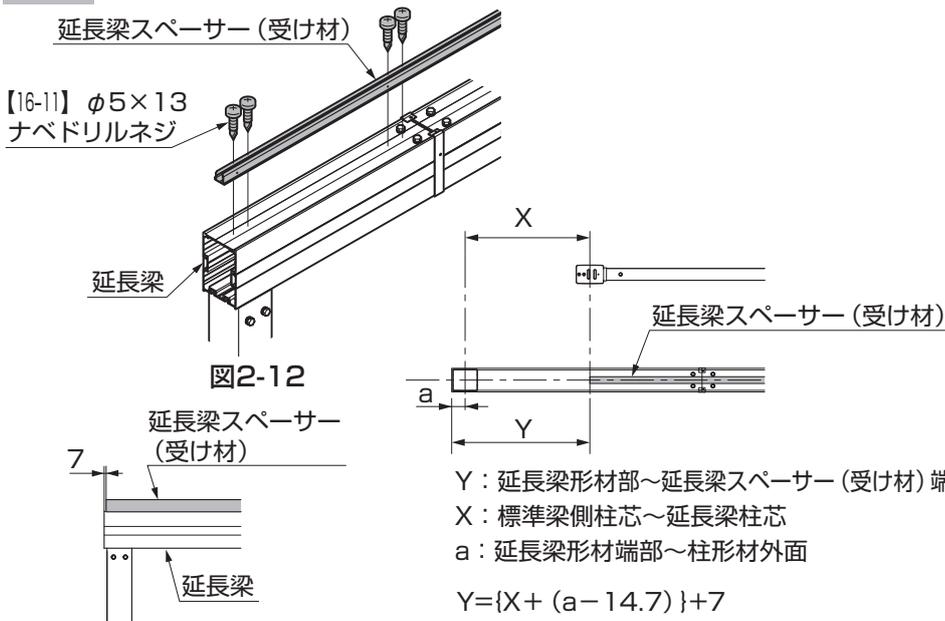


- ① 梁化粧カバーをアテ木をあてながら、延長梁に取付けてください。
- ② 連結部の上部に、シーリングをしてください。
- ③ 下穴φ3.5をあけ、延長梁連結カバーを梁連結部に【16-6】、【16-7】で取付けてください。

ポイント

- シーリングは延長梁連結カバーを取付ける前に行なってください。

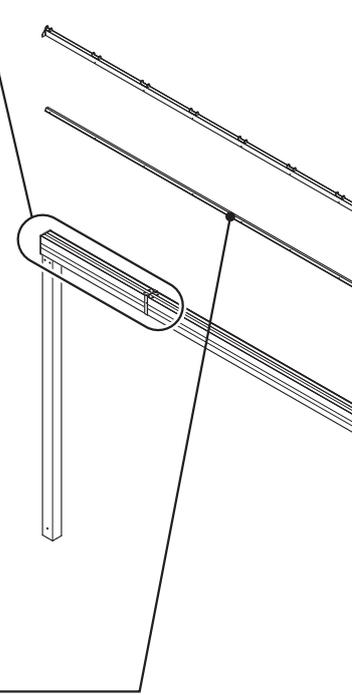
2-6 延長梁スペーサー（受け材）の取付け



Y : 延長梁形材部～延長梁スペーサー（受け材）端部
 X : 標準梁側柱芯～延長梁柱芯
 a : 延長梁形材端部～柱形材外面
 $Y = \{X + (a - 14.7)\} + 7$

延長梁が規定位置の場合の
 延長梁スペーサー（受け材）取付け位置
 柱移動または屋根部位置を移動する場合の
 延長梁スペーサー（受け材）の取付け位置 = Y

- ① 延長梁スペーサー（受け材）を延長梁に【16-11】で取付けてください。



2-7 延長梁スペーサー（上）の取付け

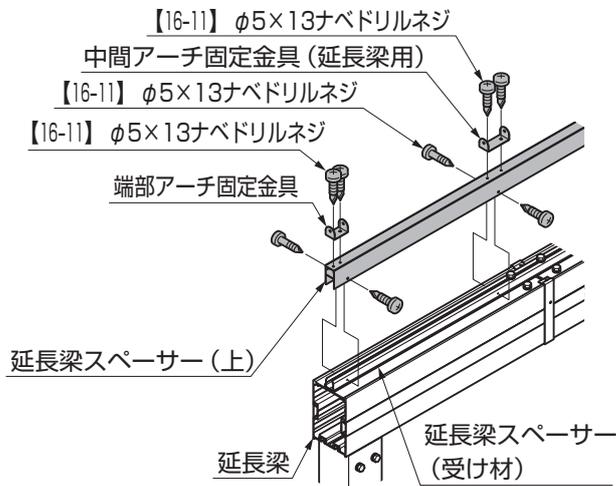


図2-15

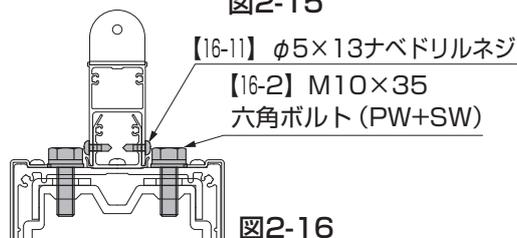


図2-16

①端部アーチ固定金具と中間アーチ固定金具（延長梁用）を延長梁スペーサー（上）に【16-11】で取付けてください。

②延長梁スペーサー（上）を延長梁スペーサー（受け材）に【16-11】で取付けてください。

ポイント

- 【16-11】を取付ける際に【16-2】が邪魔な個所は、一度【16-2】を外してから取付けるようにしてください。

2-8 端部キャップの取付け

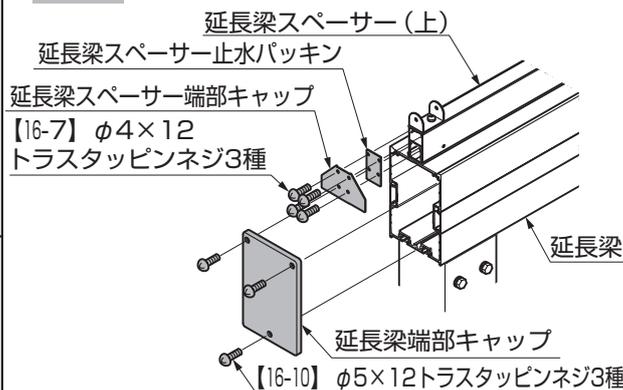


図2-17

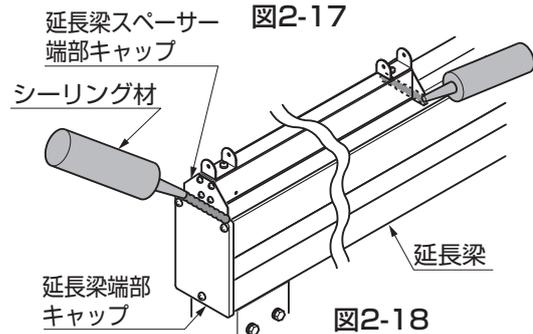


図2-18

①延長梁スペーサー端部キャップと延長梁スペーサー止水パッキンを延長梁スペーサー（上）に【16-7】で取付けてください。

②延長梁端部キャップを延長梁に【16-10】で取付けてください。

③両端の延長梁端部キャップと延長梁スペーサー端部キャップの際に、外側からシーリングをしてください。

※屋根部の取付けは「4 基本の施工方法」を参照してください。

※水下延長の場合の作業です。

※図は延長梁がはね出す側の取付け作業です。はね出さない側の取付けは「4 基本の施工方法 11. 縦樋の取付け」を参照してください。

3. 縦樋の取付け

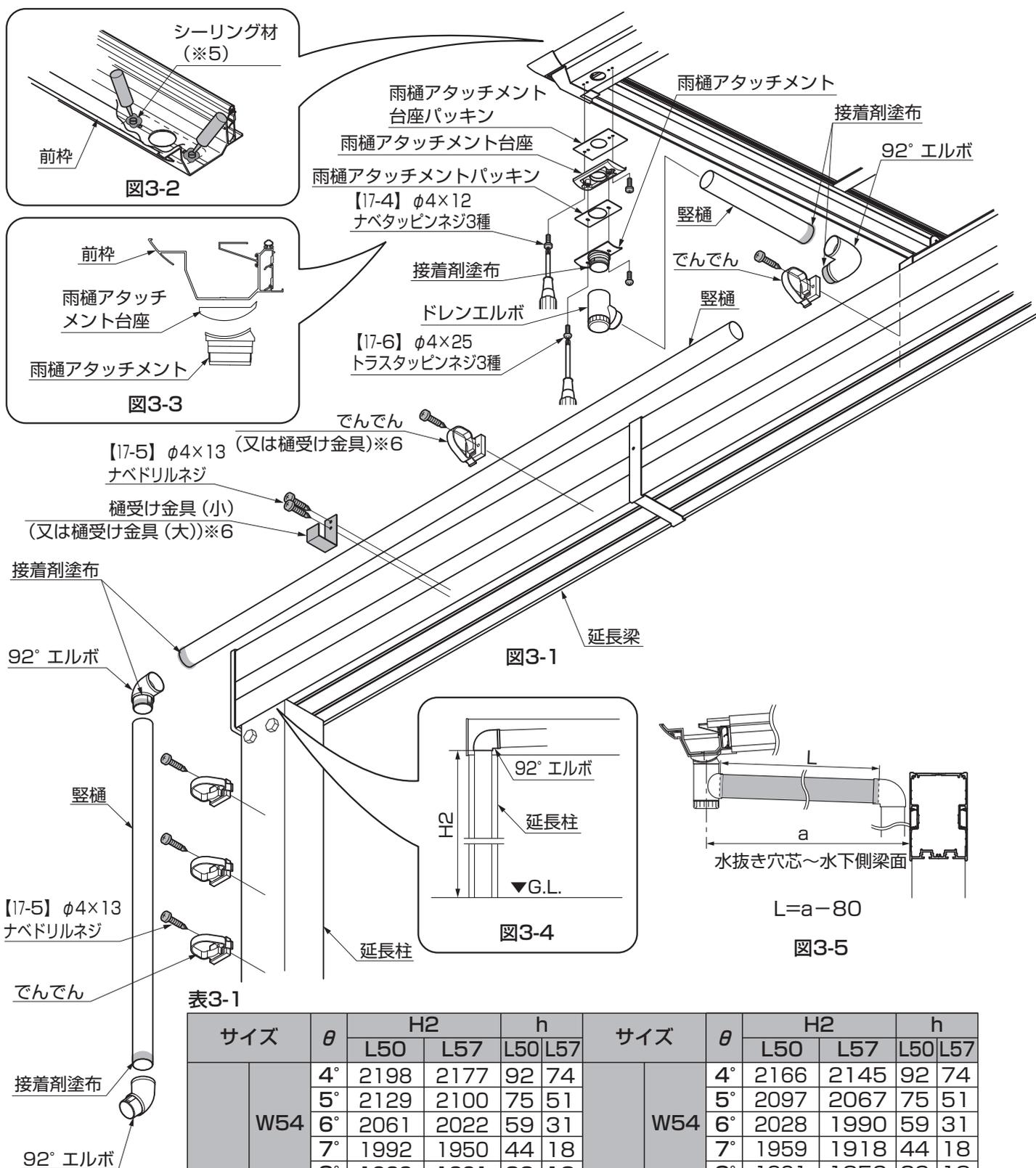
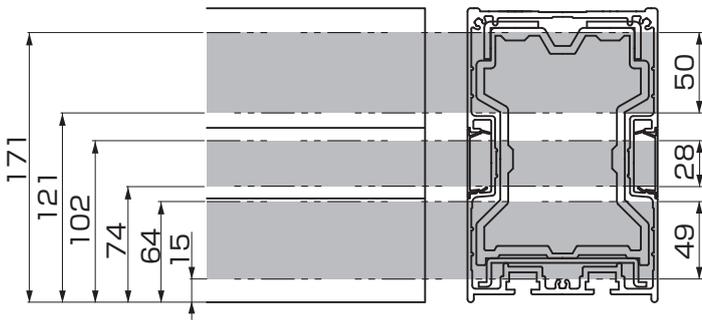


表3-1

サイズ	θ	H2		h		サイズ	θ	H2		h	
		L50	L57	L50	L57			L50	L57		
W54	4°	2198	2177	92	74	W54	4°	2166	2145	92	74
	5°	2129	2100	75	51		5°	2097	2067	75	51
	6°	2061	2022	59	31		6°	2028	1990	59	31
	7°	1992	1950	44	18		7°	1959	1918	44	18
	8°	1923	1891	29	18		8°	1891	1859	29	18
W70	4°	2219	2198	92	74	W80	4°	2187	2165	92	74
	5°	2150	2120	75	51		5°	2118	2088	75	51
	6°	2081	2043	59	31		6°	2049	2010	59	31
	7°	2013	1971	44	18		7°	1980	1938	44	18
W60	8°	1944	1912	29	18	8°	1912	1880	29	18	



■ ネジ打ち可: $15 \leq h \leq 64$, $74 \leq h \leq 102$, $121 \leq h \leq 171$
h → 梁下端～ネジ芯までの高さ

図3-6 延長梁ネジ取付け可能範囲

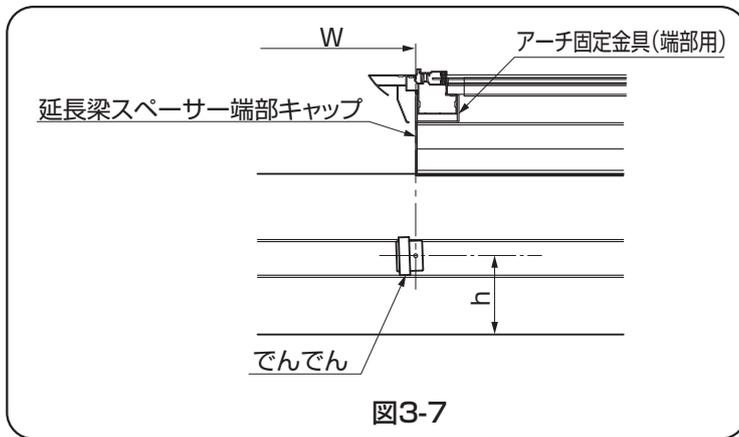


図3-7

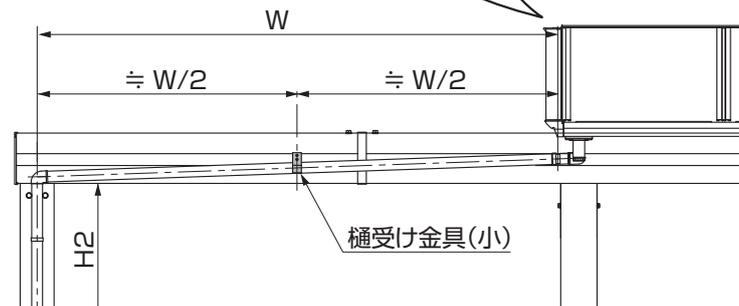


図3-8 W70の場合 でんでん・樋受け金具取付け位置

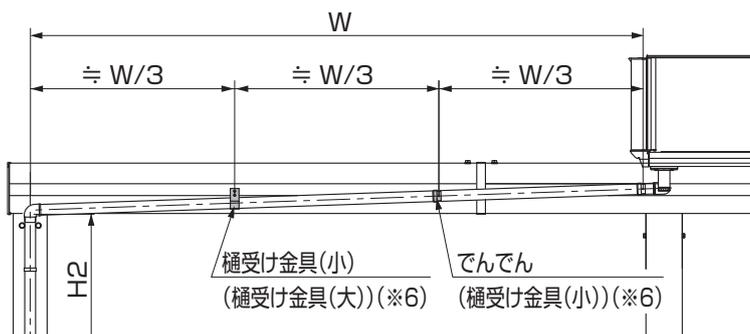


図3-9 W80の場合 でんでん・樋受け金具取付け位置

補足

● 図3-1はワイドの場合を示します。プレミアムワイドの場合は、雨樋アタッチメント台座パッキン～ドレンエルボまでの取付け、および前枠下面カバーの取付けは「4 基本の施工方法 10. 外枠、コーナーキャップ 10-2 プレミアムワイドの場合」を参照してください。

- ① 雨樋アタッチメント台座、雨樋アタッチメント台座パッキンを前枠の水抜き穴に【17-4】で取付けてください。
- ② 雨樋アタッチメント、雨樋アタッチメントパッキンを雨樋アタッチメント台座に【17-6】で取付けてください。
- ③ ネジ部にシーリングをしてください。(※5) (図3-2参照)

ポイント

- 雨樋アタッチメント台座、雨樋アタッチメントには取付ける向きがあります。(図3-3参照)
- 【17-4】、【17-6】のネジは、ハンドドライバーで取付けてください。

- ④ でんでんをhの高さに【17-5】で延長梁に取付けてください。(図3-7、表3-1参照)

ポイント

- 延長梁はネジ取付可能範囲が限られています。でんでん、樋受け金具の取付けの際は、ネジ取付可能範囲であることを確認して取付けてください。取付けできない範囲の場合は、取付け位置を左右にずらして取付け高さを調整してください。(図3-6参照)

- ⑤ およそH2の高さになるように、柱に縦樋、92°エルボ、でんでんを【17-5】、接着剤で取付けてください。(図3-4、表3-1参照)

- ⑥ 間口方向の縦樋、でんでん、樋受け金具を【17-5】で取付けてください。(図3-8、図3-9参照)

ポイント

- 間口方向のでんでん、樋受け金具は、縦樋が垂れずにまっすぐになる位置に合わせて高さを決め、取付けてください。
- 延長梁はネジ取付可能範囲が限られています。でんでん、樋受け金具の取付けの際は、ネジ取付可能範囲であることを確認して取付けてください。取付けできない範囲の場合は、取付け位置を左右にずらして取付け高さを調整してください。(図3-6参照)
- 両側延長の場合、延長寸法の短い方は金具の代わりにでんでんを取付けてください。
- 樋がでんでん又は樋受け金具で受けられない位置に取付く場合です。(※6) (図3-1、図3-8、図3-9参照)

- ⑦ ドレンエルボ、縦樋、92°エルボを接着剤で取付けてください。

ポイント

- 屋根角度に応じてドレンエルボが地面に対しておよそ垂直になるよう【17-6】のねじを緩めて雨樋アタッチメントの取付け角度を調整してください。

6 縦連棟の施工方法

1. 基礎の施工

1-1 基礎位置の墨出し

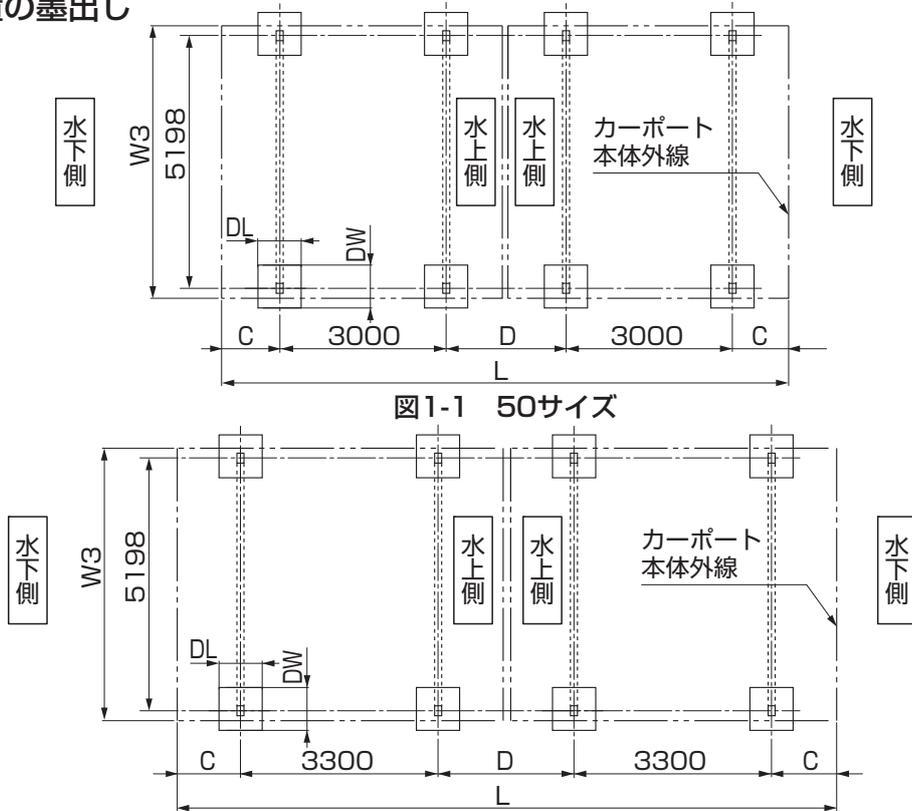


図1-1 50サイズ

図1-2 57サイズ

表1-1

サイズ	θ	W3	L	C	D	土間コンなし				土間コン	
						水上側		水下側		土間コン	
						DW	DL	DW	DL	DW	DL
L50 (W54)	4°	5441	10059	1036	1987	800	700	800	700	450	300
	5°		10047	1031	1984						
	6°		10031	1025	1981						
	7°		10013	1018	1978						
	8°		9992	1009	1974						
L57 (W60)	4°	6031	11468	1238	2391	800	800	800	800	450	300
	5°		11453	1233	2388						
	6°		11436	1226	2384						
	7°		11414	1217	2380						
	8°		11390	1208	2375						

①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

⚠ 注意

- 柱の移動は当社指定範囲内にしてください。

🔑 ポイント

- 奥行きサイズにより基礎穴の大きさが変わります。
- 構造計算書を添付して建築確認申請をおこなっている場合、構造計算書の基礎寸法で施工してください。

📝 補足

- 柱の移動は±100mm以内ですが柱芯々寸法が±100mm以内になるようにしてください。

2. 本体の組立て

2-1 取付け前の確認

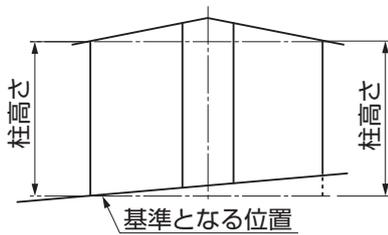


図2-1

表2-1 寸法表

θ	4°	5°	6°	7°	8°
a	21	23	24	26	28

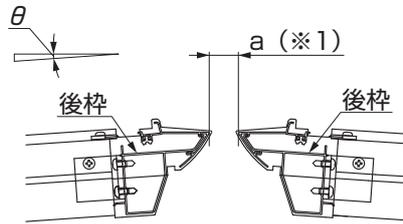


図2-2

ポイント

- 柱は基準となる位置から同じ高さとしてください。合掌棟木に水がたまり、漏水するおそれがあります。また合掌棟木の取付けに支障をきたす場合があります。(図2-1参照)

補足

- 後杵と後杵の間隔(※1)は表2-1を参照してください。

2-2 合掌取付材の取付け

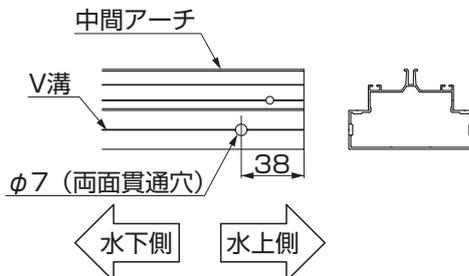


図2-3 中間アーチの穴加工

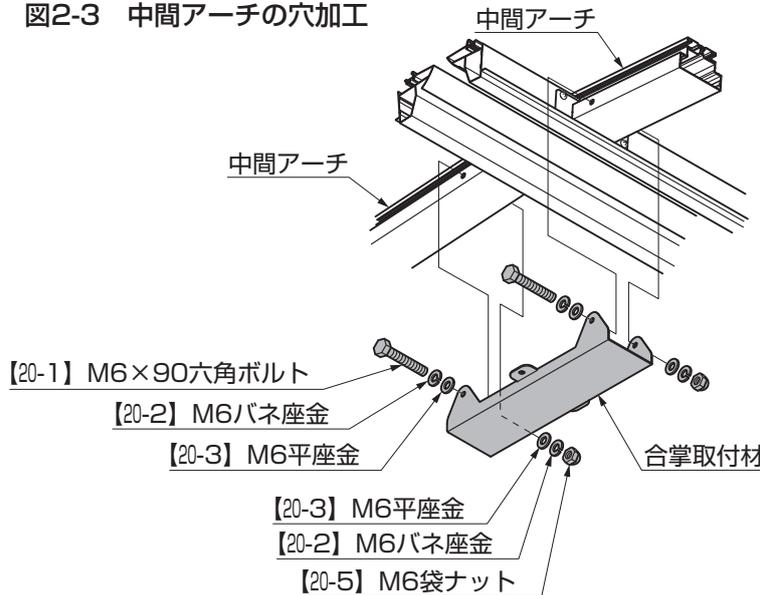


図2-4 合掌取付材の取付け

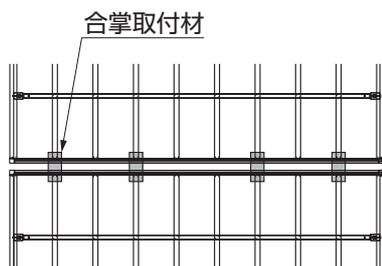


図2-5 W54サイズ

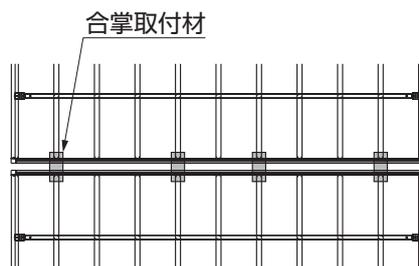


図2-6 W60サイズ

- ① 中間アーチにφ7の穴加工をしてください。(図2-3参照)

ポイント

- 合掌取付材を取付ける中間アーチのみの加工してください。(図2-5、図2-6参照)

- ② 合掌取付材を中間アーチに【20-1】、【20-2】、【20-3】、【20-5】で取付けてください。(図2-4参照)

補足

- 「4 基本の施工方法」を参照してください。

2. (つづき)

2-3 縦連棟棟木の組立て

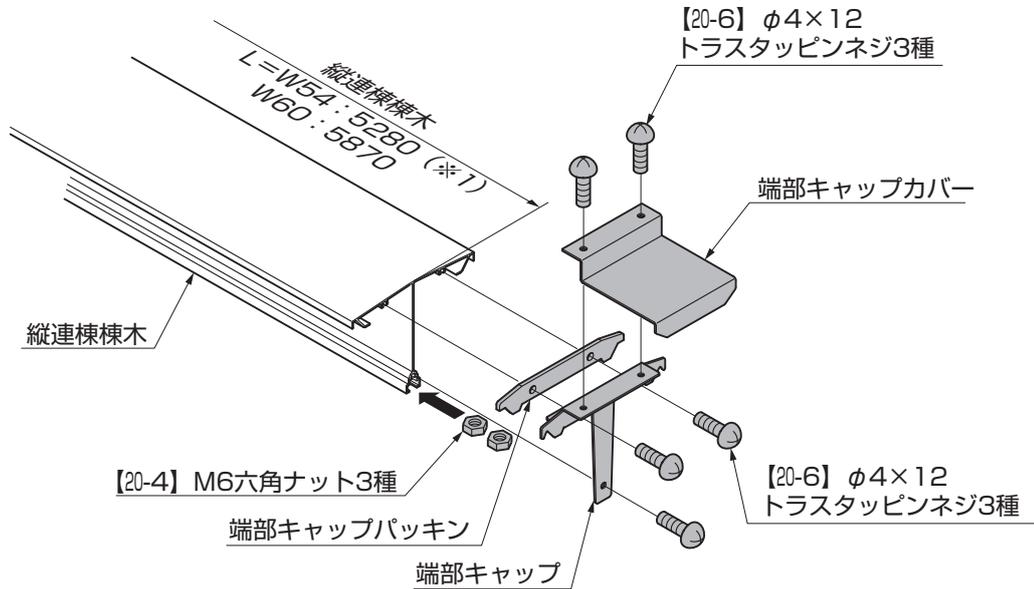


図2-7 縦連棟棟木の組立て

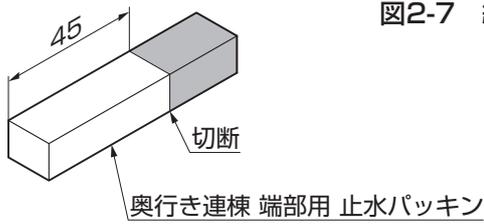


図2-8

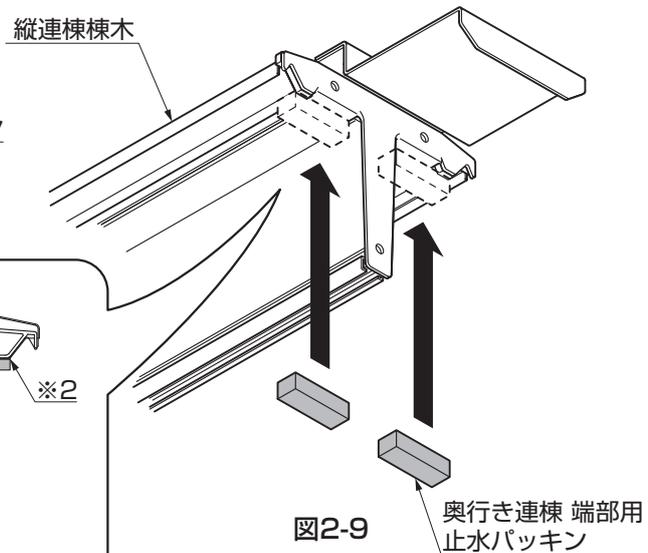


図2-9

ポイント

- W54の場合は縦連棟棟木を5280mmに切断してください。(※1)

- ①縦連棟棟木の下部の溝に【20-4】を8個挿入してください。
- ②縦連棟棟木に端部キャップパッキン、端部キャップを【20-6】で取付けてください。
- ③端部キャップカバーを端部キャップに【20-6】で取付けてください。
- ④奥行き連棟 端部用 止水パッキンを切断し、離ケイ紙をはがして、端部キャップに取付けてください。

ポイント

- 奥行き連棟 端部用 止水パッキンは縦連棟棟木の角(※2)に合わせて取付けてください。

2-4 縦連棟棟木の取付け

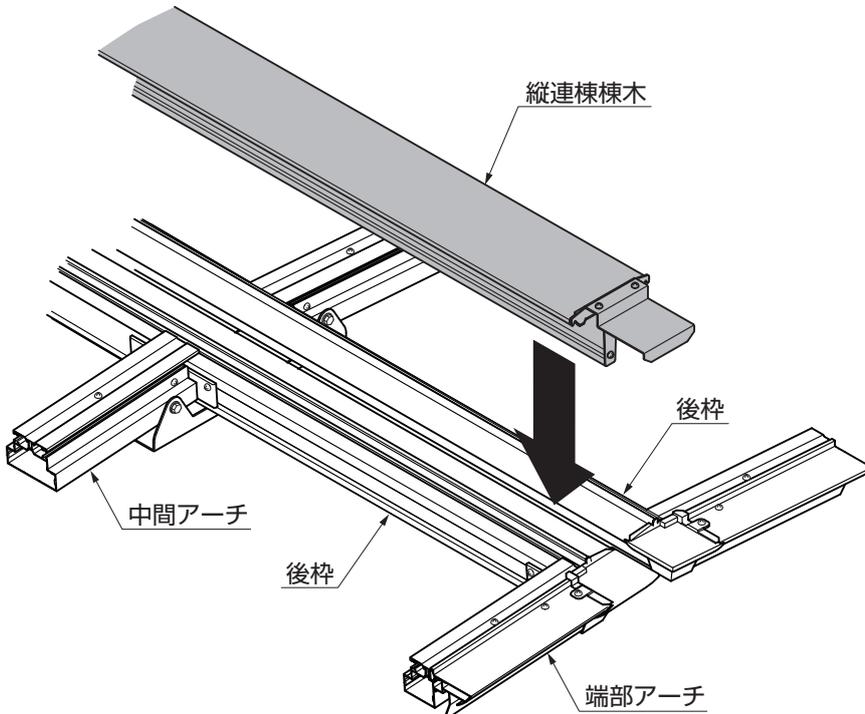


図2-10

- ① 縦連棟棟木を後枠と後枠の間に挿入してください。
(図2-10、図2-11参照)

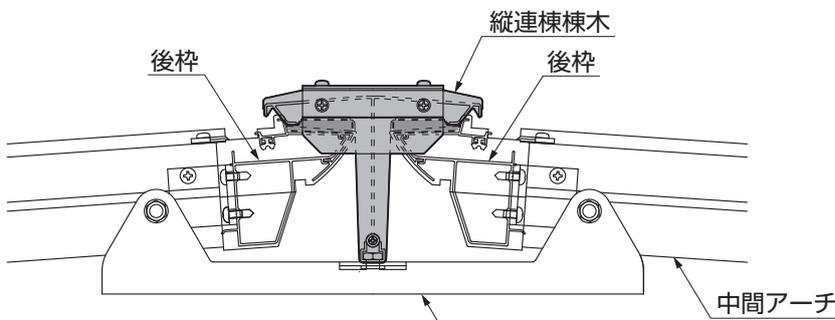


図2-11

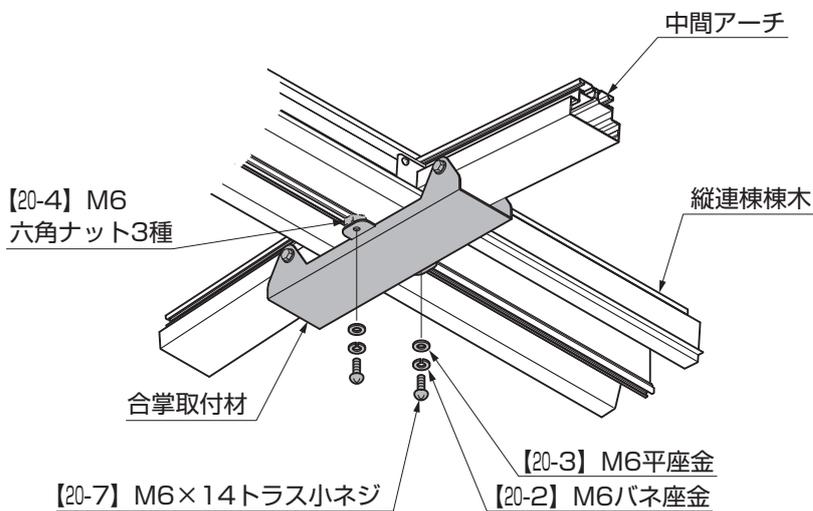


図2-12

- ② 合掌取付材を【20-2】、【20-3】、【20-7】で縦連棟棟木に挿入した【20-4】に取付けてください。
(図2-12参照)

7 シャッターひさしの取付け

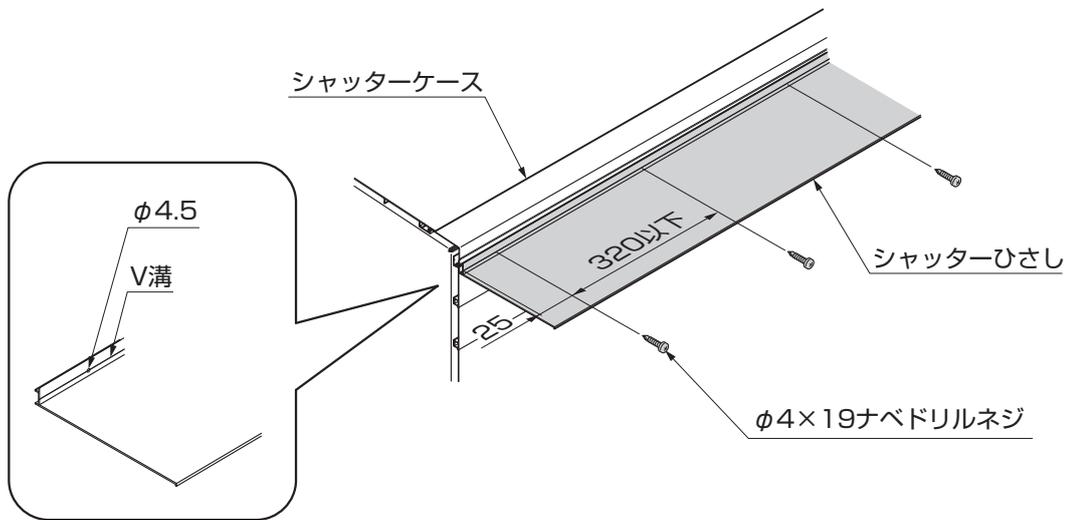


図 1-1

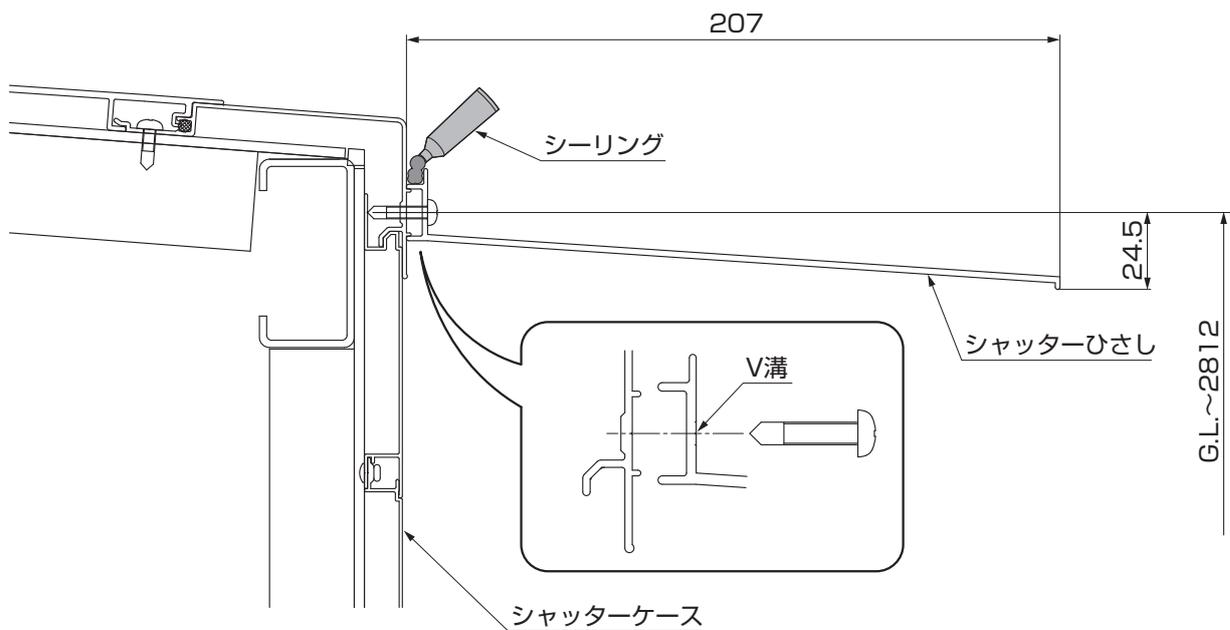


図 1-2 ワイドシャッターC・Fタイプ

ポイント

- シャッターケースとカーポート屋根部は100mm以上あけてください。メンテナンス作業ができなくなります。
- ワイドシャッターCタイプの場合は150mm以上あけてください。

- ①シャッターケースに合わせてシャッターひさしを切断してください。
- ②シャッターひさしのV溝に合わせてφ4.5の穴加工をしてください。(図1-1参照)
- ③シャッターひさしをシャッターケースにφ4×19ナベドリルネジで取付けてください。(図1-1参照)
- ④シャッターひさし上部に通してシーリング材を充てんしてください。(図1-2参照)